

## 目次

(1)学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況 .....	- 2 -
①学生の確保の見通し.....	- 2 -
ア 定員充足の見込み .....	- 2 -
1. 入学定員設定の考え方.....	- 2 -
2. 学校法人滋慶学園の定員未充足の学校における学生確保に向けた取組状況 .....	- 2 -
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要.....	- 3 -
1. 18歳人口推移と高等学校卒業者の大学進学者の動向と将来に向けた推移.....	- 3 -
2. 大学の校舎設置場所及び通学可能な地域 .....	- 3 -
3. 一都三県の高校卒業者の進路動向及び中高生人口による中長期的な学生の見通し.....	- 3 -
4. 当該分野【理・工学系】における入学志願動向 .....	- 5 -
5. 他大学同系列学部の志願状況及び定員充足状況.....	- 7 -
6. 専門の調査機関による本学設置に関するアンケート調査結果.....	- 7 -
7. アンケート実施における高等学校教員からの専門職大学に対する反応 .....	- 11 -
ウ 学生納付金の設定の考え方 .....	- 11 -
②学生確保に向けた具体的な取組状況.....	- 13 -
ア 本学の学生確保に向けた具体的な取組状況 .....	- 13 -
1. 公式サイトや公式 SNS など Web を使ったの情報配信とユーザーコンテンツの充実.....	- 13 -
2. 高等学校訪問及び専門職大学の広報活動、高校教員向け学校説明会 .....	- 14 -
3. 資料請求者に対する資料配布 .....	- 15 -
4. オープンキャンパス、学校説明会、保護者説明会 .....	- 15 -
5. 進路相談会(業者主催)の活用.....	- 15 -
6. 江戸川区との協力・連携による学校広報 .....	- 16 -
イ. 江戸川区の人材需給見通しを踏まえた計画 .....	- 16 -
(2)人材需要の動向等社会の要請.....	- 16 -
①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 .....	- 16 -
②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 .....	- 18 -
ア 社会的、地域的な人材需要の見通し.....	- 18 -
イ 事業者アンケートによる企業の採用動向 .....	- 21 -

## (1)学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### ①学生の確保の見通し

#### ア 定員充足の見込み

##### 1. 入学定員設定の考え方

東京情報デザイン専門職大学(以下、「本学」という。)は情報デザイン学部情報デザイン学科の定員設定に当たり、学校法人滋慶学園(以下、「本学園」という。)の「実学教育」「人間教育」「国際教育」の3つの教育理念に則り、本学園のミッションである「職業人教育を通して社会に貢献する」を基に、めまぐるしく変化する社会構造や企業が求める人材の多様化、デジタル化やテクノロジーを活用する社会へ対応できる人材を育成していくことが必要とされていることを鑑み、本学の設置を構想した。本学が目指す養成人材像は「情報に関する専門知識と情報技術を習得し、課題の要因を探り、解決策をデザインする思考法を備えた、ステークホルダーとの連携・協働によりシステムを開発できる情報技術者」であり、本学はこれを「情報デザインエンジニア」と呼称し、この「情報デザインエンジニア」を養成することで、これからの社会に貢献する人材の養成を考えている。その上で一人ひとりを大切にしたい教育研究効果の検証、一都三県の都内私立大学の入学者動向、一都三県の高校生・中学生の在籍者数や進路状況、本学学部と同分野の学部を設置している都内大学の過去5年間における志願状況や入学者数、定員充足状況を検討し、本学の情報デザイン学部の入学定員を160名と定めた。また、定員の充足については開学する年度対象の高校生より入学意識調査のアンケートを実施し、入学希望者が定員以上に達しており、客観的な確証も取れているため適切な入学定員の設定だと認識している。

##### 2. 学校法人滋慶学園の定員未充足の学校における学生確保に向けた取組状況

本学園は全国に34校の専門学校・各種学校を運営している。その中で、0.7倍未満の定員未充足の学校が27校75学科ある。そのうちまだ完成年度に達していない学科が25学科、既に募集を停止することが決定している学科が13学科、定員の削減を実施予定・検討している学科が10学科ある。また、既設の同分野の学科を有する専門学校で、かつ、定員未充足の学校が北海道に1校ある。まず、定員未充足の専門学校の学科については、社会的な背景や業界の成熟、新しい職種の誕生により、過去に受入れられていた学科でも現在は高校生の学びたいニーズや出口となる企業が求める人材像の変化で、募集が滞っているのが現状である。そのため、収容定員を減らす動きや、募集停止する方向で進めている。同時に各学校分野の業界に対してのマーケティングや求める人材の調査を行い、将来的なニーズのある新しい職種や他分野とを掛け合わせた学科の新設を進める動きを加速させ学校運営に取り組んでいる。今回、本学園が設置する専門学校の入学定員に対して定員充足率0.7倍未満の学科については【資料1】に掲載している学科で、北海道ハイテクノロジー専門学校以外は文化教養系の学科のため、今回設置構想中の学部(工学系)とは系列が異なり、学生確保に向けた取組対象となる高校生とも関係がないため、上記を取組内容として説明をまとめた。

本学部と同分野の学科を有する北海道ハイテクノロジー専門学校(工業分野)の宇宙・ロボット学科、AIスマートアグリ学科は定員超過率0.7倍未満の学科である。両学科ともに今回開学する学部について分野属性は同じものの、学生募集を取り巻く地域的な環境、特に高校生・中学生の人口数、大学への進学

者数が東京都と北海道とは異なるため、北海道ハイテクノロジー専門学校の未充足は本学部の学生募集に対して影響はないと認識している。ただ、法人としての定員未充足学科に対して対策を行わないわけではない。前年度の結果を受け、現在上記 2 学科は収容定員を減少させる変更手続きを進めている。なにより、両学科ともに設置後初の募集ということもあり、認可から募集までの時間の制約もあったため、入学対象の高校生への認知を十分に得ることができなかった。ただ、分野としては将来的にも必要とされる人材を養成する学科のため高校生・中学生にニーズはある。後述している通り(図 1)、理・工学系の志願倍率が増えていることから見て取ることができる。そのことから現在は認知度を高めるために Web を活用しての広報戦略を実施している。公式サイトのリニューアルや動画での訴求、SNS を使った学内の様子をわかりやすく、かつ、高校生にも身近に憧れを抱けるコンテンツで認知度を高めている。学生募集におけるオープンキャンパスでは来校者に対して教職員が丁寧に説明を行っているため進路志願者も増えていることから、昨年以上に時間をかけ、質の高い広報活動ができている。以上の取り組みにより、来年度の入学者は今年度以上の入学者数を確保できると考えている。

## イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### 1. 18 歳人口推移と高等学校卒業者の大学進学者の動向と将来に向けた推移

文部科学省の学校基本調査によると、18 歳人口が年々減少していく中、令和元年(2019 年)の高等教育機関への進学率は、82.8%と増加。大学・短大への進学率も年々増加傾向にあり、58.1%と過去最高を記録している【資料 2】。また、文部科学省将来構想部会「大学への進学者数等の将来推計について」【資料 3】によると、今後も大学への進学者数は 18 歳人口の推移と共に減ってくるものの、本学開学時の令和 5 年～完成年度令和 9 年(2023 年～2027 年)までは 60 万人を維持し、その後、緩やかな減少はみられるにせよ、一定の高等学校卒業者の大学進学者を確保できるものと考えられる。

### 2. 大学の校舎設置場所及び通学可能な地域

本学は東京都江戸川区小松川に校舎建築を予定しており、最寄りの駅は都営新宿線東大島駅、JR 総武線平井駅である。都営新宿線東大島駅は都内を東西にアクセスができ、都内はもちろん、神奈川県方面からは新宿駅や馬喰横山駅を経由することができ、千葉方面からは本八幡駅経由で通学が可能である。また、JR 総武線平井駅も埼玉県方面からは新宿駅、秋葉原駅経由のアクセスが良好で埼玉西部、千葉北部からも西船橋駅経由での通学が可能である。通学時間を 2 時間まで広げた場合、一都三県の主要都市を含む隣接した地域からも通学が可能となる【資料 4】。以上のように、本学は一都三県からの通学が可能な地域であり、学生募集の対象地域となると考える。

### 3. 一都三県の高校卒業者の進路動向及び中高生人口による中長期的な学生の見通し

上記 2 より、本学の学生募集対象地域は一都三県であることがわかる。これら地域の高校生数及び各都県の令和 2 年度(2020 年度)の大学への進学者数は 270,794 人、そのうち大学への進学者数は 166,900 人であり、進学率 61.6%と全国平均より高い進学者数と進学率を維持している(表 1)。過去 5 年間でみても 60%以上を維持しているため、一都三県の大学進学者数は【資料 2】の全国推移に対して減少は鈍化傾向であると考えられる。

(表1) 過去5年間の一都三県の高等学校生徒数及び大学進学者数 (人)

	年度	平成 28(2016)年	平成 29(2017)年	平成 30(2018)年	令和元(2019)年	令和 2(2020)年
合計	生徒数	271,827	275,318	274,140	274,318	270,794
	進学者数	166,899	168,413	166,222	166,381	166,900
	進学率	61.4%	61.2%	60.6%	60.7%	61.6%

(文部科学省「学校基本調査」より)

また、令和2年度(2020年度)における開学以降の募集対象となる、一都三県の高等学校・中学校の在籍者数はそれぞれ約27万人から29万人(表2)へと推移し人口減少はなくむしろ増加傾向にあり、今後も18歳人口の一定数は維持されるものと見込まれる。そして、中学校から高等学校への平均進学率98.9%(表3)が今後大幅に減るとすることは考えにくいいため、高等学校の在籍者数も中長期的に維持できると考えられる。

(表2) 一都三県の高等学校・中学校の在籍者数 (人)

	高校2年生	高校1年生	中学3年生	中学2年生	中学1年生
在籍者数合計	272,536	274,085	284,004	292,984	295,454

(文部科学省「学校基本調査」より)

(表3) 過去5年の一都三県の中学校から高等学校への進学率 (人)

	年度	平成 28(2016)年	平成 29(2017)年	平成 30(2018)年	令和元(2019)年	令和 2(2020)年
合計	生徒数	304,756	302,755	299,174	296,621	291,739
	進学者数	301,329	299,381	295,895	293,360	288,583
	進学率	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%

(文部科学省「学校基本調査」より)

さらに、東京都に隣接する神奈川県、埼玉県、千葉県の高専卒業生について、平成28年(2016年)は51,967人、令和2年(2020年)には53,064人と毎年5万人以上が東京都の大学へ進学しており年々増加傾向にある(表4)。進学率も30%以上を維持しているため、今後の都内の大学への進学者や割合が極端に減ることは想定しにくく、一定の割合で都内の大学への進学者数が見込める。全国の18歳人口は減少するものの、本学の設置する東京都及び対象の三県における人口と進学動向については今後も現状を維持しながら進むものとする。

(表4) 過去5年間の東京隣接三県の東京の大学への進学率 (人)

		平成 28(2016)年	平成 29(2017)年	平成 30(2018)年	令和元(2019)年	令和 2(2020)年
合計	生徒数	171,405	172,992	172,358	172,595	170,616
	進学者数	51,967	52,986	52,488	52,939	53,064
	進学率	30.3%	30.6%	30.5%	30.7%	31.1%

(文部科学省「学校基本調査」より)

次に、中長期的な学生確保の一環で対象として考えるべき、社会人や留学生等の多様な学生の確保について、現在のところ、積極的に社会人や留学生を募集対象として見込むことは考えてはいない。その理由は、①本学園として初の専門職大学を運営すること、②コロナ禍における社会情勢の変化によること、の2点である。

①については、開学年度から完成年度までは大学の運営基盤を固める期間、また、教育内容、大学環境の充実を図るための時期と位置づけをしていることから、社会人や留学生を募集対象として積極的に選抜を行い、コロナ禍の影響で仮に定員を下回った場合、その他で補填をすることが困難であると考えため、まずは高校生を対象として入学者の確保を考え、計画通りに遂行し、大学運営の収支バランスが整い次第、多様な学生確保のための入学者選抜を検討・実施するための整備を進めていく。

次に②については、コロナ禍において、社会情勢が不安定なため、企業が社員に対して学び直しにおけるリカレント教育を推進する制度が不十分(厚生労働省によると教育訓練休暇制度の導入は平成30年調査では1割未満)、会社を辞め大学に入り直すと考える方の減少(生活が不安定になるため)、日本語学校の在籍者数の減少(令和元年41,600人⇒令和2年24,253人／一般財団法人日本語教育振興会「日本語教育機関の調査・統計データ」より)、それに伴う日本の大学進学者の減少が顕著に表れているため、客観的な根拠を基にこれらの対象とした学生の確保について立証することが困難と考える。もちろん本学に対して上記に該当する志願者がいれば一般入試選抜において学ぶためのチャンスは準備し、留学生については入国管理局が基準とする書類を回収し、本学の定める規程に則り学ぶ機会を与えていく。

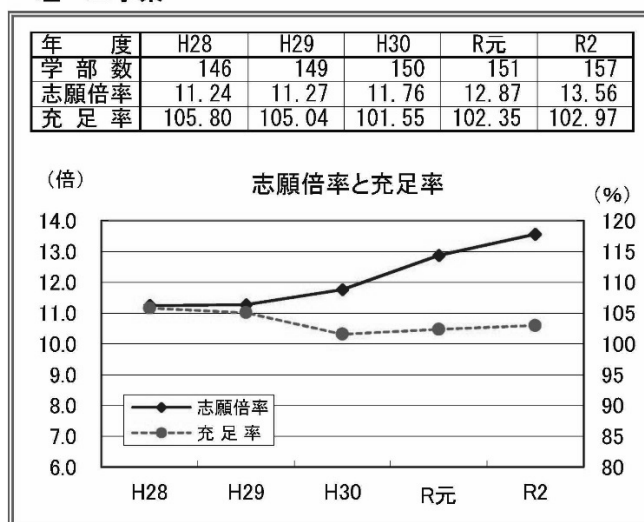
ただし、専門職大学設置基準第3条第2項に定める「実務の経験を有する者その他の入学者の多様性の確保に配慮した入学者選抜を行う」への対応が求められる。安定した学生確保を実行することで、4学年全てが揃う完成年度に収支バランスが整う財務計画を予定しており、それにより大学運営も安定すると考えている。また、その時期にはコロナの影響も改善され、留学生の入国制限等も緩和されることが想定できることから、上記①②の懸念事項も解消に向かうため、社会人を対象とした学者選抜や留学生向けの入学者選抜を設定し、積極的に実務の経験を有する者その他の入学者の多様性の確保に配慮した入学者選抜を実施したいと考えている。

以上の一都三県における18歳人口の動向や東京都内への大学志望者数を鑑み、開学後も中長期的に定員160名の学生を安定して確保できる見通しが立つと考える。

#### 4. 当該分野【理・工学系】における入学志願動向

18歳人口が減少傾向にある一方で、進学率に上昇がみられる中、本学が設置予定の学部についてどの程度の入学希望者がいるか、同系列学部を設置している大学の募集状況を日本私立学校振興・共済事業団による「私立大学・短期大学等入学志願動向」を基に考察して、(図1)より本学部が入学定員確保の見込みが立つかを分析した。理・工学系の分野については過去5年の倍率と入学定員の充足率をみて、倍率平均12.14%で志願倍率は増加傾向にある。定員充足率については平均103.54%で5年連続100%以上を記録していることから他系列学部に比べても志願者・志願倍率が高く、今後も継続して志願者・志願倍率を維持していく見込みであると考え。

理・工学系



(図 1) 過去 5 年間の理・工学系の入学志願動向(日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より)

さらに、理・工学系の中でも特に近い学部が工学部、理工学部、情報科学部、デザイン工学部であり、それらの学部のデータを(表 5)としてまとめた。ここからも上記記載と同じく志願倍率も 5 年前の 11.34 倍から 14.08 倍に増えており、充足率も 100%以上であるため、今後も増加もしくは維持していくと考えられる。

(表 5)理・工学系学部のうち工学部、理工学部、情報科学部、デザイン工学部の過去 5 年の動向

	年度	平成 28(2016)年	平成 29(2017)年	平成 30(2018)年	令和元(2019)年	令和 2(2020)年
工学部	学部数	52	51	49	49	48
	志願倍率 (倍)	8.78	8.90	9.73	11.15	12.05
	充足率 (%)	104.88	105.22	103.54	105.72	106.80
理工学部	学部数	29	30	30	29	30
	志願倍率 (倍)	14.39	13.93	14.20	14.94	15.73
	充足率 (%)	105.31	104.25	99.40	99.33	99.54
情報科学部	学部数	5	4	4	4	4
	志願倍率 (倍)	16.53	18.87	21.83	24.98	26.56
	充足率 (%)	107.72	108.89	102.77	107.65	108.60
デザイン工学部	学部数	4	4	4	4	4
	志願倍率 (倍)	14.37	13.24	13.19	14.86	14.93
	充足率 (%)	120.18	112.02	103.47	102.16	103.18
合計	学部数	90	89	87	86	86
	志願倍率 (倍)	11.34	11.32	12.01	13.18	14.08
	充足率 (%)	105.45	105.05	101.75	102.97	103.60

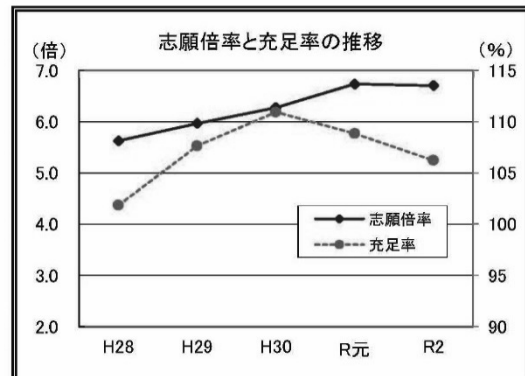
(日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より)

最後に本学は入学定員 160 名、総定員 640 名を想定しているが、東京都内の小規模大学の定員充足率についても分析した。(図 2)が示す通り、都内の大学は小規模大学としても倍率は 5.63 倍から 6.71 倍と増加し、充足率も 100%を超えている。このことから本学も同様の事例を当てはめることが可能と考える。以上の 18 歳人口の動向や工学系の進学動向、志望倍率、定員充足率の推移を総合的に鑑み、本学の入学定員である 160 名は定員充足が可能な設定であると考え。

【東京】

小規模大学（収容定員4000人未満）

年度	H28	H29	H30	R元	R2
学校数(校)	61	61	61	62	65
入学定員(人)	24,577	24,585	24,711	24,896	25,527
志願者(人)	138,295	146,756	155,110	167,877	171,405
受験者(人)	132,429	140,654	148,402	160,449	163,013
合格者(人)	54,031	54,122	54,664	55,212	58,913
入学者(人)	25,030	26,468	27,416	27,099	27,114
志願倍率(倍)	5.63	5.97	6.28	6.74	6.71
合格率(%)	40.80	38.48	36.84	34.41	36.14
歩留率(%)	46.33	48.90	50.15	49.08	46.02
充足率(%)	101.84	107.66	110.95	108.85	106.22



(図 2) 東京都の小規模大学における過去 5 年間の志願倍率と充足率の推移(日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」より)

5. 他大学同系列学部志願状況及び定員充足状況

本学と類似する学部を設置している都内大学の一般入試志願状況【資料 5】及び定員充足率【資料 6】を過去 3 年分まとめた。類似する学部を設置している大学については、工学・情報工学の同分野で学ぶカリキュラムや目指す就職先が同じ方面の学部であること、本学と同じく東京都に所在する、一都三県から通学可能な大学としている。その結果、志願者状況と入試倍率については【資料 5】で示している通り、各大学共に一定の倍率で志願者が受験をしている。理系大学では、20 倍以上の倍率の大学もある。類似する学部を設置している専門職大学についても 7.0 倍以上の倍率で志願者が受験をしている。次に定員充足率を過去 3 年でまとめた【資料 6】より、本学と同系列の理工学系大学の類似学部については、1.0 倍以上の充足率を維持している。一方で総合大学の類似学部については、1.0 倍を下回る学部があるものの、過去 3 年の推移で見ると、0.9 倍を下回ることも少なく、安定して入学者の確保ができています。また、専門職大学についても同様に開学以降 0.9 倍以上の充足率を維持している。【資料 5】の志願者数、合格者数をもみても入学定員以上の受験者数を確保できているため、定員充足率が 1.0 倍を下回ったのは、合格者の歩留まりが予想より若干下回ったためと推測できる。

上記の考察より、他大学の同系列学部の志願者状況及び定員充足状況より本学が設置予定の学部についても一定の志願者が受験し、定員を充足できると考える。

6. 専門の調査機関による本学設置に関するアンケート調査結果

専門職大学を設置するにあたり、本学の学生確保の見通しが客観的に担保できているかを確認するため、第三者機関の協力を得て、開設年度に入学対象の 2021 年度時点での高校 2 年生へアンケート調

査を実施。前述 2 で示した通り、対象地域は通学圏と考え一都三県(東京・神奈川・埼玉・千葉)に絞って実施した。実施にあたり、本学の学部学科、募集予定の入学定員、養成する人物像、設置場所、学生納付金、競合する大学・学部・学科の名称を記載したリーフレット【資料 7】も同時に配布しアンケート【資料 8】を実施した。概要は以下(表 6)の通り。

(表 6)アンケート概要

調査実施名	東京情報デザイン専門職大学(仮称)の設置に関するアンケート(無記名式)		
調査対象	高校 2 年生(開学時の入学対象学年)		
調査エリア	東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県		
調査方法	各高等学校教員にホームルームでの回答を依頼し、実施		
調査期間	令和 3 年 6 月 1 日～令和 3 年 7 月 31 日		
調査依頼高校数	183 校(回収校 108 校)	調査依頼生徒数	23,441 名
回収票数	13,047 名	回収率	55.7%
本学進学希望者	406 名 (定員 160 名に対して 2.54 倍の希望者)		
調査実施機関	一般財団法人 日本開発構想研究所		

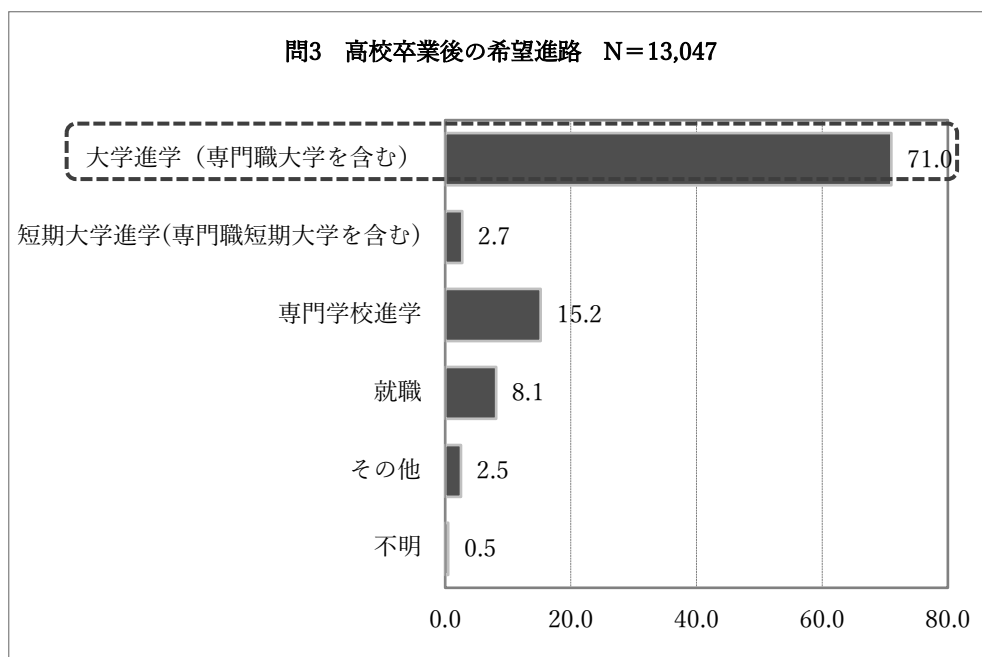
結果については、一般財団法人日本開発構想研究所による報告【資料 9】にまとめているが、リーフレットを見て、アンケート記載の養成する人物像を読んだ上で、「本学への進学を希望」とする学生数は 406 名となり定員予定の 160 名に対して 2.54 倍であった。さらに本学と同系列の理学・工学系と情報系を目指す第一希望者は併せて 3,075 名(26.5%)で最も多かった。このことから同系列の学部を目指す進学希望者が多いことも伺える。そして、本学進学を希望者と卒業後の希望進路との関連性を把握するため、問 6、問 7 のクロス集計を行った。その結果、406 名中、184 名(45.3%)が情報システム/SE 分野、60 名(14.8%)が AI/データ解析/データサイエンス分野、52 名(12.8%)が仮想空間/サイバーセキュリティ分野、100 名(24.6%)がゲーム/CG/デジタルエンターテインメント分野、10 名(2.5%)が不明であった。結果として本学への進学を希望する 97.5%の高校生が、本学が予定する卒業後の進路先を希望しているため、卒業後の進路との関連性が取れていると考える。

さらに客観的な視点から根拠を明示するため、問 3(希望進路)、問6(入学意向)の回答結果を改めてクロス集計及び分析を行った。まず、アンケート問 3 の希望進路における「大学進学(専門職大学を含む)」を選択した件数は 9,257 名であった(表 7、図 3)。



(表 7) 希望進路における大学進学(専門職大学を含む)を選択した件数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学(専門職大学を含む)	9,257	71.0
2	短期大学進学(専門職短期大学を含む)	355	2.7
3	専門学校進学	1,979	15.2
4	就職	1,062	8.1
5	その他	332	2.5
	不明	62	0.5
	N (%ベース)	13,047	100



(図 3) 希望進路における大学進学(専門職大学を含む)を選択した件数 (%)

次に「大学進学(専門職大学を含む)」9,257 件のうち、問 6 の本学へ「進学を希望する」の数を改めて集計した結果、「進学を希望する」が 351 名算出され、入学定員の 160 名に対して約 2.2 倍の見通しを立てられることが想定できた。(表 8)

(表 8) 問 6 情報デザイン学部情報デザイン学科(仮称)への進学希望×問 3 高校卒業後の希望進路

上段:度数		問6 情報デザイン学部情報デザイン学科(仮称)への進学希望					
下段:%		合計	進学を希望する	進学先の候補の1つとして検討する	進学を希望しない	わからない	不明
問3 高校卒業後の希望進路	全体	11,591	406	1,735	4,674	4,306	470
		100.0	3.5	15.0	40.3	37.1	4.1
	大学進学(専門職大学を含む)	9,257	351	1,431	3,648	3,464	363
		100.0	3.8	15.5	39.4	37.4	3.9
	短期大学進学(専門職短期大学を含む)	355	13	36	164	115	27
	100.0	3.7	10.1	46.2	32.4	7.6	
	専門学校進学	1,979	42	268	862	727	80
		100.0	2.1	13.5	43.6	36.7	4.0

さらに、より客観的な検証するために、本学が対象とする分野の希望者に絞って進学意向の集計作業を行った。

本学が設置を検討している学部系統の分野は「情報系」、「理学・工学系」に該当するため、各分野の希望者は、問 3 の 9,257 名の内、「情報系」は 1,133 名(表 9)、「理学・工学系」は 1,547 名(表 10)で合計 2,680 名であった。また、「情報系」1,133 名の内「本学に進学を希望する」が 131 名(表 9)おり、「理学・工学系」で「本学に進学を希望する」は 55 名(表 10)であった。結果、問 3(卒業後の進路)、問 5(志望分野)、問 6(入学意向)のクロス集計により、大学進学かつ、「情報系」もしくは「理学・工学系」分野を希望し、本学に進学を希望する人数は 186 名となった。これにより、定員 160 名以上の入学希望者が顕在的にいることが確認された。

次に、「情報系」に限定してさらに分析を深めた。その場合、「進学を希望する」が 131 名で定員には満たないが、「進学先の候補の1つとして検討する」が 407 名おり、候補として入学を検討している高校生が多く存在することが確認できた。また高校 2 年生の夏ということもあり進路について悩んでいる生徒が多いということがうかがえるため、今後、高校生が検討を重ねた結果、本学への「進学を希望する」という意向に変更する可能性もある。407 名の内 8%の 32 名が「進学を希望する」の意向に変更を示すことで、入学定員の 160 名以上の進学希望者を獲得できるため、引き続き高等学校訪問や高校生への広報活動スケジュール「開学に向けた広報スケジュール及び数値目標」【資料 10】を確実に実行することで、真(しん)に本学への進学を希望する学生の確保の見通しを立てることができる。以上より、本アンケート調査にて本学が設置する学部と定員設定にて学生の確保ができると推測する。

(表9) 情報系進路希望者の本学への進学調査結果

上段:度数 下段:%		情報系（情報学、情報工学、情報科学、コンピュータ、プログラミングなど）				
		小計	進学を希望する	進学先の候補の1つとして検討する	進学を希望しない	わからない
問3 高校卒業後の希望進路	全体	1328	141	494	239	454
		12.0	1.3	4.5	2.2	4.1
	大学進学（専門職大学を含む）	1133	131	407	207	388
		12.8	1.5	4.6	2.3	4.4
	短期大学進学(専門職短期大学を含む)	17	1	5	3	8
	5.2	0.3	1.5	0.9	2.4	
専門学校進学	178	9	82	29	58	
	9.5	0.5	4.4	1.5	3.1	

(表10) 理学・工学系進路希望者の本学への進学調査結果

上段:度数 下段:%		理学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学など）				
		小計	進学を希望する	進学先の候補の1つとして検討する	進学を希望しない	わからない
問3 高校卒業後の希望進路	全体	1652	59	319	617	657
		14.9	0.5	2.9	5.6	5.9
	大学進学（専門職大学を含む）	1547	55	296	581	615
		17.5	0.6	3.3	6.6	6.9
	短期大学進学(専門職短期大学を含む)	14	1	3	3	7
	4.3	0.3	0.9	0.9	2.1	
専門学校進学	91	3	20	33	35	
	4.8	0.2	1.1	1.8	1.9	

## 7. アンケート実施における高等学校教員からの専門職大学に対する反応

今回アンケート取得の際には、高等学校へ実施の依頼に直接伺い、その際に以下の声や反応があった。主には専門職大学という制度について、高等学校教育の現場でも生徒・保護者から進路先として質問をされるケースが増えてきているということから、制度の説明を希望する声が多く聞かれた。それ以外にも保護者から高等学校の教員へ「大学と専門学校の中間的な学校」といった声が上がっていることや、卒業生がいないことから、「進路先として実績がないので生徒へ勧めにくい」といった教育現場の生の声を聴くことで専門職大学の実情を知ることができた。大学・専門学校と比べて制度自体がまだ教育現場や保護者の認知を得ていないことも分かった。今回の訪問で専門職大学の制度を高等学校現場へ認知させることが若干でもできたことは、本学を開学していくためにも有意義な高校訪問とすることができたと考える。

## ウ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金について、専門職大学の運営を維持するための財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を重視しつつ、開学後の施設・設備の維持・改善・刷新、近隣

他大学の類似学部学科における学生納付金の設定状況、大学の運営上における人件費及び教育研究費、管理運営を含めた経常経費の支出等を踏まえ、収支予測による実質的な採算分岐点を勘案した結果に基づき(表 11)の通り設定している。

(表 11) 本学の初年度学生納付金

(千円)

入学金	授業料	施設費	教育充実費	実習費	合計
100	1,200	150	200	100	1,750

近隣他大学の類似学部学科における学生納付金の設定状況を【資料 11】にまとめ比較した。対象大学については本学の学びの内容に類似する学部で都内に位置する大学を選定した。理工学系の大学と比較すると平均の 1,650(千円)より若干高く、総合大学の平均学費 1,666(千円)と比較しても高い。同じ専門職大学と比較した場合はほぼ同額の学費である。全体として本学より学費の高い大学もありつつも、本学の初年度の学生納付金の設定はやや高い状況にある。ただ、財務的に大学として運営に支障がない学費設定としている理由は以下の通りである。

具体的な設定理由としては、まず、教職員等の人件費が挙げられる。1 クラス 40 名以下のクラス運営のため、必修科目においては 4 クラス同一内容の授業を行うため、他大学と比較すると授業数が増え、その分にかかる人件費も増える。また、学生一人ひとりを大切に学生サポートをするため、職員は事務的な学生管理だけではなく、積極的に学生に関わる人数確保をしているため人件費の負担が多い傾向にある。

さらに、本学は情報や情報技術を使った、社会やビジネスに新しい仕組みをデザインする教育を展開するため、大学の教育環境・生活環境はスマートキャンパス構想で学びと創造力を促進させるシステムを導入している。学びについては、学生に学びの予習を促す教材開発室を準備し映像を制作できる環境がある。次に、復習をしやすくするため各教室には収録機材を完備し、録画により各授業をアーカイブ化するシステムを導入予定であり、学生にはいつでも授業映像を閲覧し復習ができる環境を整備する。また、災害・感染症でも授業が止まることのないようリモートやオンデマンドに対応できるシステムも準備している。さらに、情報系の授業も多いことから、大学内全域に強固な Wi-Fi 環境も展開して、これらを維持するためのサーバー等のインフラも整備する。緑の多いキャンパス内で落ち着いた自然の雰囲気を感じられる環境で学生の創造力を掻き立てるように充実したキャンパスライフを演出する。これらの学内環境を維持管理・保守だけではなく、常に新しいものが出てくるデジタルやテクノロジーを学ぶ学校であるため、常に設備を改善・刷新していく必要がある。

以上のように、質の高い教育を展開し、その教育をさらに加速させるための教育環境を維持、改善していくための教育研究機器備品に学費を活用する。他大学の平均より高い学費であること理由を入学前の学生・保護者へ誠意をもって説明することで理解を仰ぎ、学生募集を行っていく。

上記の学費の設定により完成年度における大学運営のシミュレーションを行った結果、収支差額で黒字になる想定をしており、教育的観点からも、経営的観点からも健全に運営をしていくことができるため、適切な学生納付金の設定であると考えている。

## ②学生確保に向けた具体的な取組状況

### ア 本学の学生確保に向けた具体的な取組状況

本学園では、東京情報デザイン専門職大学の開学に向けて「学校法人滋慶学園 専門職大学開設準備室」を設置し、開学後の仕組みや専門職大学申請に関する書類作成だけではなく、広報・PR 活動を設置の手引きに則る形で同時に行っている。学生確保に向けた具体的な取組みについては【資料10】の開学までの広報・学生募集スケジュールにまとめた。Web や印刷物、媒体を使って効率的に募集をするとともに、学校説明はオンライン、オフライン両方を活用し志望者に適した対応を行っていく。

#### 1. 公式サイトや公式 SNS など Web を使ったの情報配信とユーザーコンテンツの充実

入学希望者アンケート取得時期と同じくして、高校生が Web を使って本学を理解しやすくするために、公式サイト(<https://www.jikeicom.jp/pu/>)を令和 3 年(2021 年)6 月より開設している。構想中である学部名(仮称)や定員数、本学が養成を目指す人物像やそのために必要な「情報デザインエンジニア」の説明、専門職大学としての特徴、目指すことができる将来の分野、実施予定のカリキュラム抜粋、開学予定地と高校生が進路選択するために必要な情報を公開している。また、公式サイトは今後開学に向けて決まってく、教員や臨地実務実習先の企業を公開していきながら、高校生の進路選択するための有意義な情報を随時更新していく。

さらに、高校生が情報を取得する際に SNS を使用することが主流となっているため(図4)、本学も SNS 公式サイトを開設した。本学は、(図4)で示している SNS 上位 3 つ(LINE、Twitter、Instagram)を選択し高校生が本学の情報収集をリアルタイムに行えるようにしている。そして、地域連携の情報、企業とのタイアップ企画、校舎建築の様子、オープンキャンパスの情報、オンライン講座開講、教授予定者インタビューなどのコンテンツを充実させ興味を持ってもらえる施策を展開していく。また、YouTube を使った動画チャンネルも開設し、本学に興味を持った高校生に、より理解度を高めるための動画をオンデマンド型で公開していく。学校説明動画だけではなく、教授予定者と業界人の対談や、本学に関連するキーワードの説明、進路選択アドバイスなど情報工学系の進路・就職を目指す高校生にとって有益となる動画を更新していく。各 SNS のフォロワーは令和 3 年(2021 年)9 月 24 日現在 1 桁台のためクロスメディアの効果を使い印刷物や進路媒体、同学校法人の姉妹校に協力を仰ぎフォロワーを増やしていく。

#### < SNS 公式サイト一覧 >

- ・LINE <https://lin.ee/pqKie9e>
- ・Twitter [https://twitter.com/jikei\\_tpu\\_id](https://twitter.com/jikei_tpu_id)
- ・Instagram [https://www.instagram.com/jikei\\_tpu\\_id/?hl=ja](https://www.instagram.com/jikei_tpu_id/?hl=ja)
- ・YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCwYdGkdgYb2fQy11Bo809Vg>

【令和元年度】主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率(全年代・年代別)

	全年代(N=1500)	10代(N=142)	20代(N=211)	30代(N=253)	40代(N=326)	50代(N=278)	60代(N=290)	男性(N=758)	女性(N=742)
LINE	86.9%	94.4%	95.7%	94.9%	89.3%	86.8%	67.9%	85.1%	88.8%
Twitter	38.7%	69.0%	69.7%	47.8%	33.4%	28.1%	9.3%	41.8%	35.4%
Facebook	32.7%	28.9%	39.3%	48.2%	35.9%	33.5%	12.1%	33.4%	32.1%
Instagram	37.8%	63.4%	64.0%	48.6%	32.5%	30.9%	9.3%	31.9%	43.8%
mixi	4.1%	1.4%	6.6%	5.1%	4.0%	4.7%	2.1%	4.0%	4.2%
GREE	2.1%	1.4%	4.3%	1.2%	3.7%	1.1%	0.7%	2.5%	1.6%
Mobage	4.2%	7.7%	8.1%	4.7%	3.7%	2.2%	1.7%	5.9%	2.4%
Snapchat	2.9%	12.7%	2.8%	3.2%	1.8%	0.7%	1.4%	3.0%	2.8%
TikTok	12.5%	47.9%	20.4%	12.6%	5.5%	6.5%	2.8%	11.3%	13.6%
YouTube	76.4%	93.7%	91.5%	85.4%	81.3%	75.2%	44.8%	79.7%	73.0%
ニコニコ動画	17.4%	30.3%	33.2%	20.6%	12.3%	14.4%	5.5%	20.4%	14.3%

(図4) 年代別 SNS の利用率(総務省情報通信政策研究所「令和元年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書<概要>」より)

## 2. 高等学校訪問及び専門職大学の広報活動、高校教員向け学校説明会

先の入学希望者アンケート取得の際、事前に一都三県の高等学校へアポイントを取り、直接訪問し、本学のリーフレットを用いて専門職大学制度や、本学について説明をした。前述の高等学校教員の反応で述べた通り、制度が施行されてからまだ3年という短い期間ということもあり、十分に理解をされている教員は少なく、今後も高等学校の教育現場に足を運びながら専門職大学の制度、本学についての理解度を深めていく必要があると考える。そのため、以下の日程で高校訪問(表12)と高等学校教職員向けの説明会を(表13)開催し、啓発に努め、高等学校の教育現場からも専門職大学を進路先の1つとして勧めていただけるように教員と信頼関係を築いていく。コロナ禍における状況の場合リモートにおける実施も併せて考えていく。

(表12) 今後の高校訪問スケジュールと内容

日程	訪問内容
令和3(2021)年11月	アンケート実施のお礼、申請書提出の報告と新冊子の配布
令和4(2022)年2月	申請状況報告、春のオープンキャンパス情報提供
令和4(2022)年6月	申請状況報告、夏のオープンキャンパス情報提供
令和4(2022)年9月	認可報告、入試概要説明、募集要項案内、
令和5(2023)年1月	年内入試合格者・不合格者報告

(表13) 今後の高等学校教職員向けの説明会

日程	対象地域
令和3(2021)年12月	東京都、神奈川県・埼玉県・千葉県の一部(1回)
令和4(2022)年3月	神奈川県(1回)、埼玉県(1回)、千葉県(1回)
令和4(2022)年7~8月	東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県(各1回)

### 3. 資料請求者に対する資料配布

本学の公式ホームページより、本学に興味のある方向けに学校情報冊子の発送を随時行っていく。まず、本学の入学希望アンケート実施時に制作した【資料 7】を配布した。その後、すべての配布が完了したため、バージョン 2 を制作し【資料 12】。学校のキーカラーやロゴ、校舎のイメージパース図の点数を増やし、本学の目指す「情報デザインエンジニア」の説明をより分かりやすく、教育モデルの図をよりイメージしやすく変更し、令和 3 年(2021 年)7 月 21 日より配布を開始している。今後は本学の名称にも入っている「情報デザイン」について高校生や保護者にわかりやすく説明し、理解していただくための冊子や校舎パース図をまとめて、学ぶ環境を示した校舎完成イメージ冊子を制作し、資料請求者へ発送をしていく。また、定期的にオープンキャンパスや学校説明会開催のお知らせダイレクトメール(以下、DM)の発送を予定。認可後には学校の特色や学部のカリキュラム、教員の紹介、協力企業等を掲載したより詳しい学校パンフレット及び募集要項の配布を予定して制作を進めている。

### 4. オープンキャンパス、学校説明会、保護者説明会

高校生とその保護者を対象としたオープンキャンパス、学校説明会、保護者説明会を積極的に開催することで、本学の理解を深め進学先としての志望者を募ることを考えている。校舎建設中のため、オープンキャンパスは東京都内に設置している本学園のいずれかの専門学校教室を間借りして開催を予定している。本学園の概要と実績を説明し、本学の求める人物像や教育内容を説明する。また、高校生にいままでの授業との違いと学ぶ領域を理解してもらうため、教員予定者の体験授業を開催し、入学後にどのようなことを学ぶかを体験してもらう。それにより、実際とイメージとのギャップを埋め入学後に「イメージと違う」という理由で退学しないようにも努める。さらに、校舎建設が進んだ際には開学予定地の見学も予定している。また、体験授業内での同時開催で保護者会を開催し、学長・副学長・学部長から本学・教育プログラムやカリキュラムの説明と同時に、業界についての説明と、事務局長からは、事務的な学費や奨学金、入学に関する事項について説明し、保護者の理解と安心安全な学校であることの信頼を得られるように努める。このような取組みは申請後の 10 月より月 1 回の開催を予定している。

学校説明会については対面式とリモートでの個別対応、動画を使ってのオンデマンド対応での実施を予定している。対面式については高校生が保護者同伴をしやすいように土曜日・日曜日・祝日に開催する。リモートでの説明会については平日の夕方や土曜日に開催し、高校生がつながりやすく選びやすい時間で対応をしていく。

いずれも、本学の資料請求者へ DM での告知、SNS・Web 広告を使っての告知、高校訪問による告知を通じて訴求していく。

### 5. 進路相談会(企業主催)の活用

高校生向けの進路選択支援を行っている民間企業と提携し、各社が主催する、高等学校内での進学説明会や公共施設等で開催される会場型の進学説明会に参加し、高校生に本学について直接説明をする機会も設ける。高校生に本学について直接 PR ができるため、本学への志望につなげることが期待できる。

## 6. 江戸川区との協力・連携による学校広報

本学の所在地である江戸川区と包括的連携に関する協定書【資料 13】を締結し、「教育・研究に関する人的・知的資源の交流に関すること」を江戸川区と共に行っていくことから、江戸川区に所在する小学校・中学校・高等学校における情報デザイン学を中心とした教育支援、主には各学校へ教員を派遣して実施する課外授業やプログラミングの実技を身につけるためのワークショップ、職業観を身につけるためのデザイン思考に関するワークショップなどの実施を検討している。その取組みを江戸川区とも共有し、江戸川区の広報誌や Web サイトを通じて本学の取組みについての情報を発信していただく予定である。

以上 1～6 の取組みを確実に実行していくためにスケジュールを立て【資料 10】行っていく。特に昨今の社会的な感染症問題もあるため、Web やデジタルを活用した広報を積極的に展開する。そのことで本学が情報工学系の最先端の分野の大学であること、将来的に目指すデジタル人材や IT 人材、如いては DX 人材の育成をしていることへの理解にもつながり、入学前の広報活動を通じて志望者・入学生一人ひとりの進路や将来をデザインしていくことで、本学のブランディング向上を目指す。

### イ. 江戸川区の人材需給見通しを踏まえた計画

先にも述べた通り、江戸川区と包括的連携に関する協定書において「教育・研究に関する人的・知的資源の交流に関すること」について締結していることからわかるように区としても専門職大学設置に期待を寄せている。また、教育課程連携協議会では、地域の代表として江戸川区産業経済部産業経済課課長にも入っていただき、区内企業とりわけ中小企業の課題についても定期的に提起いただく形となっている。その上で事前の聴き取り調査にて【資料 14】、いまだ江戸川区の中小企業についてはデジタル化や IT 化が著しく遅れており、社会変革から取り残されていくことを危惧されていた。そのような状況の中で本学が養成するような人材が江戸川区内で、しかも大学から輩出されていくことは、地域の活性化にもつながるため、区としても期待をしているといった言葉もいただいている。

## (2)人材需要の動向等社会の要請

### ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

本学情報デザイン学部(以下、「本学部」という。)の教育目的は、幼少期からスマートフォンを活用しデジタルに触れて育ってきた、いわゆる「Z 世代」の高校生を対象に、「情報デザインエンジニア」の養成を主としている。

我が国ではデジタル化社会の中で Society5.0 として、先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れることで、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会の構築を目標としている。その中で本学が養成するのは情報技術者である。

本学が養成する情報技術者は情報サービス業を中心として、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業等の情報技術を活用したビジネスを行っている企業で活躍することを想定している。情報技術を活用したビジネスとは、情報技術による製品やサービスの設計、開発・製造、保守・運用や、情報技術を活用して行う業務上の各フェーズを指す。これらをまとめて IT 関連産業とする。



そして、日本経済界および IT 関連産業界において求められている共通項として、「社会の需要に応える」ことが挙げられる。「ニーズ対応力」、「付加価値を生み出す」等の表現で述べられているが、企業は社会の需要に応えること、商品やサービスに求められている付加価値を生み出すことで成長、存続ができる。

このような社会に求められる人材を養成すべく、本学学部の目的を次のように定める。

#### 【情報デザイン学部の目的】

情報に関する専門知識や情報技術を社会の需要につなげるために実践的かつ創造的に活用できる能力を身につけた人材を養成し、社会に貢献することを目的とする。

情報デザイン学部の目的は社会の要請であり、社会的背景から導き出された情報技術者が実践すべき使命である。研究者等が見出した新たな技術、技法を社会の需要を満たすために社会実装することを目的とする情報技術者を養成することが、専門職大学で養成すべき方向性と定めた。

情報デザイン学部の目的で示した「実践的かつ創造的な能力」について、「実践」とは単に“システムを開発すること”ではなく、社会やビジネス、あるいは業務内の需要を満たすために、情報や情報技術を使ってシステムを開発し、活用することであり、「創造」とは、その元となる情報を、情報技術を使って価値ある状態にすることである。この情報への価値創造を「情報デザイン」と定義する。

#### 【情報デザインの定義】

情報技術を利用して情報に新たな価値を付加すること。

本学での「情報デザイン」は「情報と情報技術を利用して情報を扱えるように構想し、設計し、構築すること」である。そして本学が目指す養成人材像は、単に“システムを開発する”人材ではなく、社会等の需要に応えるために、「情報デザイン」という創造性を実践できる情報技術者であり、これを「情報デザインエンジニア」と呼称する。

#### 【情報デザインエンジニア】の定義

情報に関する専門知識と情報技術を習得し、課題の要因を探り、解決策をデザインする思考法を備えた、ステークホルダーとの連携・協働によりシステムを開発できる情報技術者

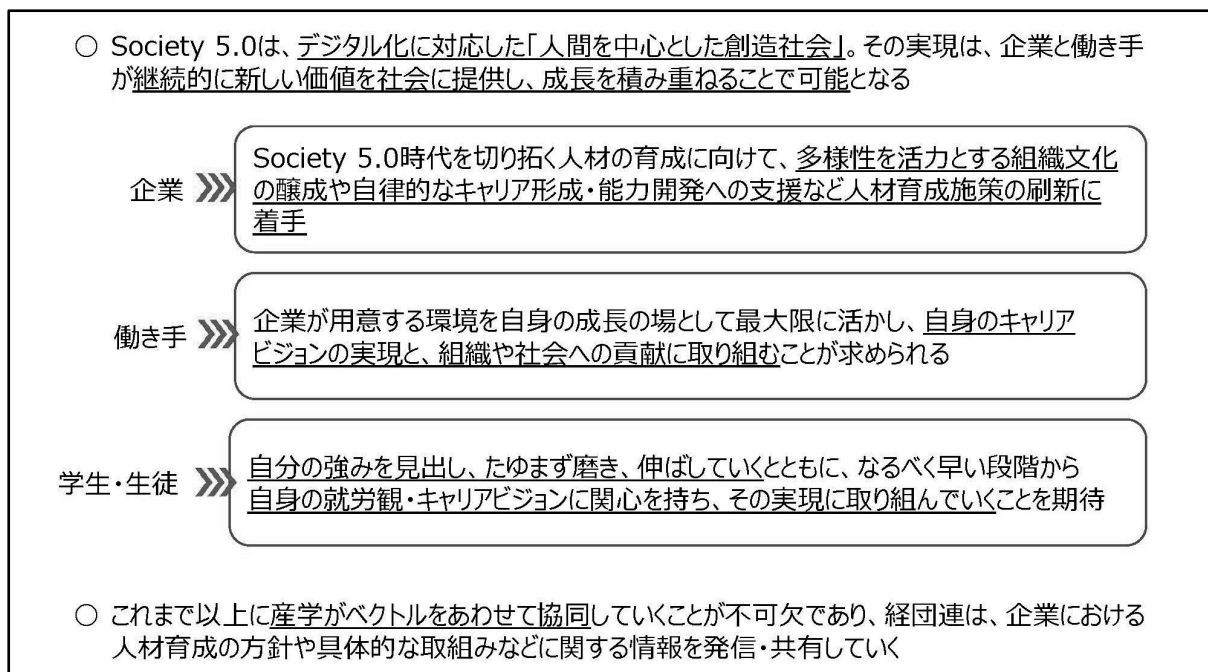
以上の社会的な目標や要請を背景に本学部の目的を達成し、「情報デザインエンジニア」を養成することで社会に寄与できると考える。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア 社会的、地域的な人材需要の見通し

内閣府や経済産業省は「サイバー(仮想)空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)」として Society 5.0 を提唱し実現を目指している。この新しい社会を構成していくためには、社会やビジネスの IT によるデジタル化だけではなく、5G、AI、IoT、ICT、クラウド、セキュリティなど、社会やビジネスがデジタル化していく上で必要な全てを統合していく仕組みをデザインすることが求められている。

一般社団法人 日本経済団体連合会(以下、「経団連」という。)の「Society 5.0 時代を切り拓く人材の育成—企業と働き手の成長に向けて—(概要)」【資料 15】では、Society 5.0 の実現には、デジタル技術の強みを活かしながら、新しい価値を創出できる人材が重要と指摘している。また、企業が DX で新たな価値創造を図るには、働き手が、ビジネスの知識・経験、デジタルに関するスキル・リテラシーやデザイン思考等を身につけて、従来の枠にとらわれない独創的な構想力を磨いていくことが不可欠としている。そして、最後に企業・働き手以外に、学ぶ学生・生徒についても「自分の強みを見出し、たゆまず磨き、伸ばしていくとともに、なるべく早い段階から自身の就労観・キャリアビジョンに関心を持ち、その実現に取り組んでいくことを期待」と記している(図 5)。



(図 5) 一般社団法人日本経済団体連合「Society 5.0 時代を切り拓く人材の育成—企業と働き手の成長に向けて—(概要)より

また、「設置の趣旨等を記載した書類」の「1.2.2 産業界から求められる人材像」でも述べた通り、本学部の目的、養成人材像は産業界を 1.日本経済全体、2.DX・IT 人材、3.組み込み・IoT 人材、4.データ・AI 人材、5.サイバーセキュリティ人材、6.映像分野 IT 人材、7.エンターテインメント系 IT 人材に分けて考察し、その共通項として抽出したものである。

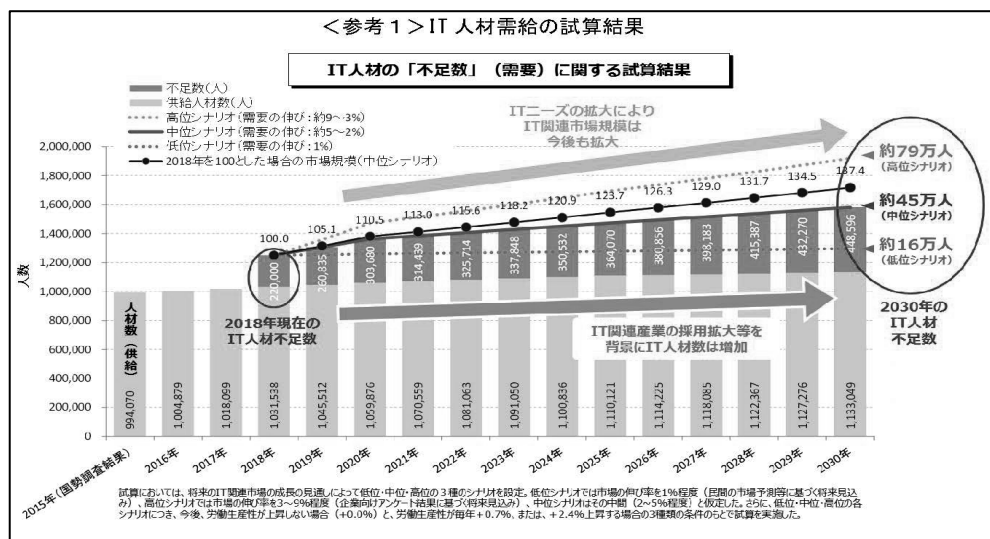
各カテゴリーと抽出した共通要素を（表 14）に示す。

（表 14）産業界カテゴリーと求められる能力の共通要素

カテゴリー	共通要素	使用されていた用語	参考資料
日本経済全体	需要に応える	※新たな価値創造と同様	「提言『新しい時代に対応した大学教育改革の推進－主体的な学修を通じた多様な人材の育成に向けて－』<概要版>」（経団連） 「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」（経団連）
	新たな価値創造	新たな価値を創造	
	課題解決力	課題設定・解決能力	
	連携・協働力	多様な他者と協働	
	自立性（自己研鑽）	学び続ける力	
DX・IT人材	需要に応える	顧客の真のニーズを捉えて	「DX白書2021」（独立行政法人情報処理推進機構）「『IT人材白書2020』概要」（一般社団法人日本経済団体連合会）
	新たな価値創造	新しい価値提供をする	
	課題解決力	デザイン思考	
	連携・協働力	組織的文化的にも連携する	
	自立性（自己研鑽）	自立して業務を遂行できる	
組み込み・IoT人材	需要に応える	ニーズ対応力	「組み込み/IoTに関する動向調査 調査報告書」（独立行政法人 情報処理推進機構）
	新たな価値創造	新たな製品・サービスの創出	
	課題解決力	※需要に応えると同様	
	連携・協働力	他社との連携	
	自立性（自己研鑽）	技術はすぐに変わってしまう	
データ・AI人材	需要に応える	※新たな価値創造と同様	「データ人材フレームワークの設計」（政府CIO補佐官等ディスカッションペーパー）
	新たな価値創造	データの持つ価値を十分に引き出せていない	
	課題解決力	課題解決能力	
	連携・協働力	チームの一員	
	自立性（自己研鑽）	※業界として人材育成の仕組みがないことが課題	
セキュリティ人材	需要に応える	※セキュリティ対策のできる人材自体が必要	「セキュリティ人材の能力評価を巡る現状と課題」（経済産業省） 「サイバーセキュリティ2021」（内閣サイバーセキュリティセンター）
	新たな価値創造	※解決策として新たな手法が求められている	
	課題解決力	面的な見地から課題を明確にし、解決策を見出す	
	連携・協働力	多様な主体が相互に連携していくことが重要	
	自立性（自己研鑽）	常に自身のスキルを更新していかなければならない	
映像分野IT人材	需要に応える	アーティストが仕事に集中できる環境を整備する	CGWORLD Entry.jp ( <a href="https://entry.cgworld.jp/column/post/201702-types-of-job.html">https://entry.cgworld.jp/column/post/201702-types-of-job.html</a> )
	新たな価値創造	会社の価値や独自性を左右する	
	課題解決力	問題解決のための思考法	
	連携・協働力	コミュニケーション力	
	自立性（自己研鑽）	最新技術や研究事例をリサーチする能力	
コンテンツ分野IT人材	需要に応える	ゲームユーザーの立場を常に意識する	「ゲーム産業における開発者人材育成事業報告書」（一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会）
	新たな価値創造	新たなビジネスモデル	
	課題解決力	※需要に応えると同様	
	連携・協働力	コミュニケーション能力	
	自立性（自己研鑽）	スキルを継続的に勉強し続ける	

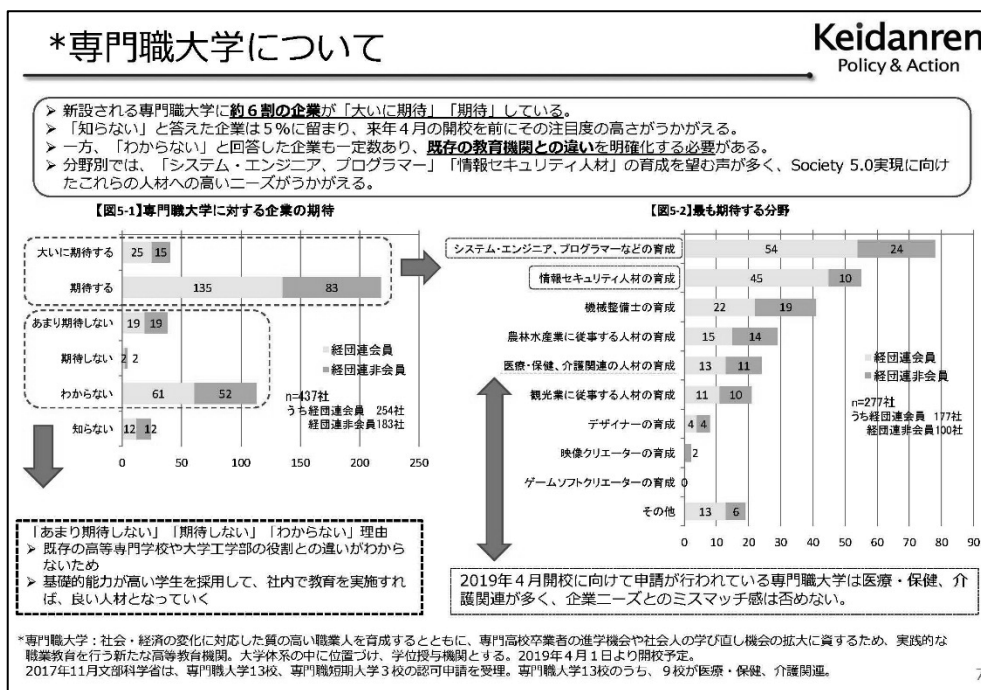
さらに、経済産業省情報技術利用促進課「IT 人材受給に関する調査(概要)」によると IT 人材の不足数は平成 30 年(2018 年)時点で 22 万人と出ており、そこを 100 として、令和 12 年(2030 年)には高位シナリオで 79 万人、中位シナリオでも 45 万人の IT 人材不足と予想され(図 6)、今後の人材の需要はさ

らに必要とされていくと推測できる。



(図6) 経済産業省情報技術利用促進課「IT人材需給に関する調査(概要)」より

最後に経団連がまとめた「高等教育に関するアンケート」において、専門職大学について調査結果がある(図7)。これによると6割の企業が専門職大学について「大いに期待している」「期待している」と回答。さらに、そのうちの企業の約3割が「システム・エンジニア、プログラマーなどの育成」を期待しており1位。また、2位には「情報セキュリティ人材の育成」とある。どちらも本学で修学しスキルを修得することが可能で、社会や企業の求める人材と本学が養成する人材像が一致しているため、本学卒業後の人材需要はあると考察できる。(図7は平成30年(2018年)の資料のため4年の間が空いているが、次章に記載している第三者機関によるアンケート調査から、専門職大学についての期待と分野のニーズはさらに高まっていると考えられる。)



(図7)一般社団法人 日本経済団体連合会「高等教育に関するアンケート」より

### イ 事業者アンケートによる企業の採用動向

本学が養成する「情報デザインエンジニア」が企業より将来的な採用のニーズがあるかについて、一般財団法人日本開発構想研究所の協力の下、理工学系大学の卒業生を採用している東京都内の企業を調査選定し、アンケートを実施した【資料 16】。また、本学の臨地実務実習先として協力が得られている事業所についてもアンケートを実施した結果、147社の事業所より回収をすることができた。詳細については【資料 17】にて結果を示したが、全体の68%に当たる100社が「安定的に採用を行う」と回答し、25.9%の38社が、「ある程度安定的に採用をしていく」と回答していることから、今後も安定した採用を行っていくことが推測される。さらに、本学が養成する人物像を示し、社会的な必要性について回答を求めた結果、79.6%に当たる117社が「社会的必要性が高い分野である」と回答し、「必要性はない」との回答は0社であることから、今後本学が養成する人材に対して将来的に社会ニーズはあるものと考えられる。一方で本学の卒業生を採用したいかについての問いに対しては、35.4%の52社が「採用したい」、57.1%の84社が「採用を検討したい」との結果であった。両回答の136社の企業に毎年の採用人数を尋ねたところ、合計採用予定人数が286人となり、入学定員の160名を上回る結果となり、卒業生の進路は確保できるものと推察する。また、業界からの意見として募った自由回答の意見・要望には、「いい人がいれば何人でも採用したい」や「開学を心待ちにしている」、「優秀な人材の養成に大いに期待しています」といった本学の開学や本学の人材養成に対して期待している記述も見られた【資料 17(P.85-86)】。

これら業界からの期待の声に応えるべく、教育の質の向上に研鑽し、学生生活満足度を高め、進路指導を充実させ、業界、企業、社会から信頼される大学運営を目指したいと考える。

## 目次

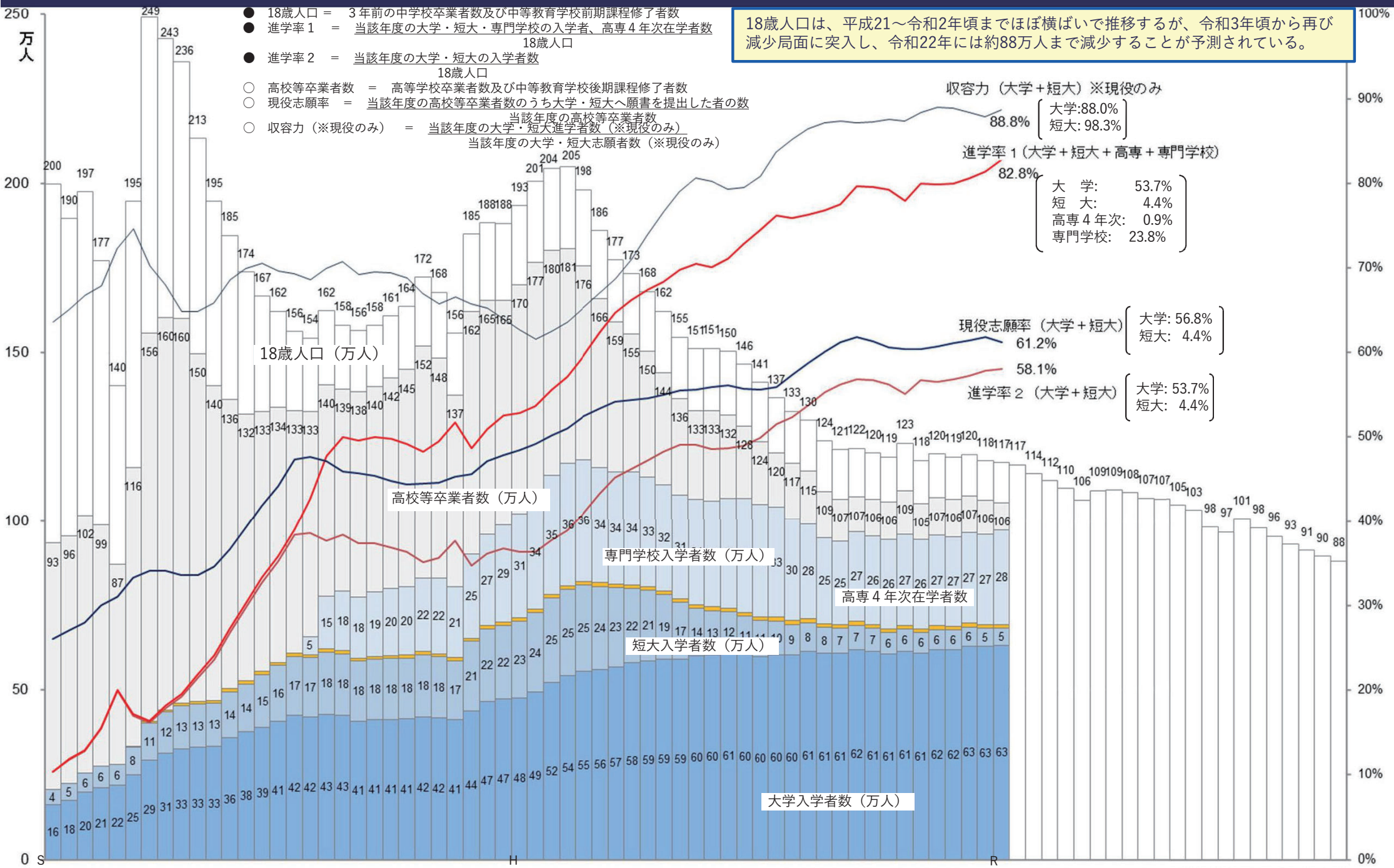
【資料 1】学校法人滋慶学園の既設の学科の定員超過率0.7倍未満の学科一覧	2
【資料 2】18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移	3
【資料 3】大学進学者数等の将来推計について	4
【資料 4】東大島駅・平井駅からの通学時間目安	5
【資料 5】類似する大学の一般入試倍率	6
【資料 6】類似する大学の入学者定員充足率	7
【資料 7】入学対象者アンケート添付リーフレット	8
【資料 8】入学対象者アンケート	12
【資料 9】入学意向に関するアンケート調査報告書	14
【資料 10】開学に向けた広報スケジュール及び数値目標	50
【資料 11】類似する大学の学費	52
【資料 12】資料請求者向け配布リーフレットバージョン2	53
【資料 13】江戸川区と学校法人滋慶学園との包括的連携に関する協定書	57
【資料 14】江戸川区 産業経済部 産業経済課 報告記録	58
【資料 15】「Society 5.0 時代を切り拓く人材の育成 ー企業と働き手の成長に向けてー(概要)」<抜粋>	60
【資料 16】卒業生に対する事業所アンケート	64
【資料 17】卒業生に対する事業所の採用意向調査報告書	66

【資料1】学校法人滋慶学園の既設の学科の定員超過率0.7倍未満の学科一覧

No	学校名	学部・学科	入学定員	収容定員	入学者の入学定員に対する割合	備考	設置学部の分野に 関係するかの有無
			(人)	(人)	(倍)		
1	東京医薬専門学校	医療事務科	60	60	0.61	令和4年度入学定員変更 80→40	×
2		歯科衛生士科Ⅱ部	40	120	0.65	令和4年度生より募集停止令和4年度で廃止予定	×
3	東京コミュニケーションアート専門学校	eエンターテインメント科昼間部一	120	360	0.61		×
4		eエンターテインメント科昼間部二	120	360	0.55		×
5		スーパークリエイター科昼間部一	40	160	0.53		×
6		自動車デザイン科	20	120	0.48	令和2年度生より入学定員変更40→20	×
7	東京福祉専門学校	国際福祉ビジネス科	40	40	0.17		×
8	東京スポーツ・レクリエーション専門学校	スポーツトレーナーズベシヤリスト科	40	160	0.25		×
9		スポーツアナリスト科	40	160	0.32		×
10		アスレティックトレーナー養成科土日部	40	80	0.41		×
11	東京スクールオブミュージック＆ダンス専門学校	音楽テクノロジー科昼間部二	60	120	0.65		×
12		音楽テクノロジー科昼間部二	20	60	0.00		×
13		プロミュージシャン科昼間部二	40	80	0.45		×
14		ダンス&アクターズ科昼間部二	40	80	0.50		×
15		スーパーeエンターテインメント科昼間部二	40	160	0.36		×
16		TSM研究科昼間部二	20	20	0.65		×
17	札幌ベルエポック製菓調理ウェディング専門学校	製菓・製パン・ショコラ科	80	160	0.52		×
18		製菓・調理師科	80	160	0.50		×
19		カフェ科	40	80	0.31	令和4年度生より募集停止令和4年度で廃止予定	×
20		ウェディング科	40	80	0.40	令和4年度生より募集停止令和5年度で廃止予定	×
21	東京スクールオブミュージック専門学校渋谷	音楽テクノロジー科昼間部一	80	160	0.43	令和4年度入学定員変更 80→40	×
22		スーパーeエンターテインメント科昼間部二	40	160	0.25		×
23	東京俳優・映画&放送専門学校	総合芸術科昼間部一	36	144	0.12		×
24		総合芸術科昼間部一	36	72	0.00		×
25		映画俳優科昼間部一	36	108	0.69		×
26		映画俳優科昼間部二	36	108	0.67		×
27	福岡ベルエポック美容専門学校	ブライダルコーディネーター科	40	80	0.32		×
28	札幌ベルエポック美容専門学校	トータルビューティー科	80	160	0.64	令和4年度入学定員変更80→40	×
29	東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校	ダンス&アクターズ科昼間部一	120	240	0.61	令和4年度入学定員変更120→80	×
30		スーパーダンス科昼間部二	40	120	0.05		×
31	東京ベルエポック製菓調理専門学校	パティシエ実践科	40	112	0.67	令和3年度入学定員変更72→40	×
32		カフェビジネス科	40	80	0.67		×
33	東京アニメ・声優&eスポーツ専門学校	アニメ総合制作科昼間部一	40	80	0.52		×
34		スーパーテクノロジー科昼間部一	20	80	0.35	令和4年度入学定員変更20→40	×
35	東葉言語学院	進学2年コース		200	0.20	各科目の入学率の入学定員に対する割合は、収容人数の収容定員に対する割合で記載	×
36		進学1年9か月コース		140	0.26		×
37		進学1年6か月コース		160	0.18		×
38		進学1年3か月コース		80	0.15		×
39		進学1年コース		120	0.00		×
40	東京ウェディング・ホテル専門学校	国際ウェディングホテル科	40	40	0.00		×
41	北海道ハイテクノロジー専門学校	宇宙・ロボット学科	40	120	0.10	令和4年度入学定員変更40→30	○
42		AIスマートアグリ学科	40	120	0.30	令和4年度入学定員変更40→30	○
43		義肢装具士学科	30	90	0.43		×
44		柔道整復師学科	60	180	0.45	令和4年度入学定員変更60→30	×
45		鍼灸師学科	30	90	0.56		×
46		スポーツトレーナー学科	40	90	0.40		×
47	北海道エコ・コミュニケーション専門学校	動物看護師学科	40	120	0.60		×
48	福岡スクールオブミュージック＆ダンス専門学校	音楽プロデューサー科	40	120	0.28		×
49		プロミュージシャン科	80	160	0.56		×
50		ダンス&アクターズ科昼間Ⅱ部	40	80	0.55		×
51		スーパーeエンターテインメント科	20	80	0.50		×
52	福岡医健・スポーツ専門学校	作業療法科	40	160	0.47		×
53		薬業科	40	80	0.53		×
54		研究科	40	40	0.25		×
55	福岡ECO動物海洋専門学校	動物コミュニケーション科	40	120	0.41		×
56	仙台医健・スポーツ専門学校	視能訓練科	40	120	0.48	令和4年度入学定員変更40→30	×
57		こども保育科	40	120	0.18	令和4年度生より募集停止令和5年度で廃止予定	×
58	福岡キャリアナリー製菓調理専門学校	カフェ総合科昼間Ⅰ部	20	40	0.00	令和4年度生より募集停止令和4年度で廃止予定	×
59		食&マネジメント科	20	60	0.15	令和4年度生より募集停止令和5年度で廃止予定	×
60		研究科	20	20	0.05	令和4年度で廃止予定令和3年度で廃止予定	×
61	福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校	ブライダル総合科昼間Ⅱ部	40	80	0.18	令和4年度生より募集停止令和4年度で廃止予定	×
62		エアライン科昼間Ⅰ部	40	80	0.32	令和4年度生より募集停止令和4年度で廃止予定	×
63		エアライン科昼間Ⅱ部	40	80	0.11	令和4年度生より募集停止令和4年度で廃止予定	×
64		IR・ホテル&リゾート科	40	120	0.35	令和4年度生より募集停止令和5年度で廃止予定	×
65		ホスピタリティ科	20	40	0.22	令和4年度生より募集停止令和4年度で廃止予定	×
66		ホスピタリティマネジメント科	20	80	0.05		×
67	福岡スクールオブミュージック高等専修学校	総合音楽科昼間Ⅱ部	40	120	0.35		×
68	仙台ECO動物海洋専門学校	動物海洋ECO学科昼間Ⅱ部	20	60	0.00	令和4年度生より募集停止令和4年度で廃止予定	×
69	東京ホテル・ウェディング&IR専門学校	IR・MICEマネジメント科	40	160	0.35		×
70		IR・ホテル&リゾート科昼間部一	40	120	0.35		×
71		IR・ホテル&リゾート科昼間部二	40	120	0.30		×
72		キャリアナリー&レストラン科昼間部一	40	120	0.25		×
73		キャリアナリー&レストラン科昼間部二	40	120	0.00		×
74		IR・エアライン科	40	80	0.22		×
75	TCA東京ECO動物海洋専門学校	エコ・イノベーション科	40	160	0.10		×

令和3年9月現在

# 【資料2】18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

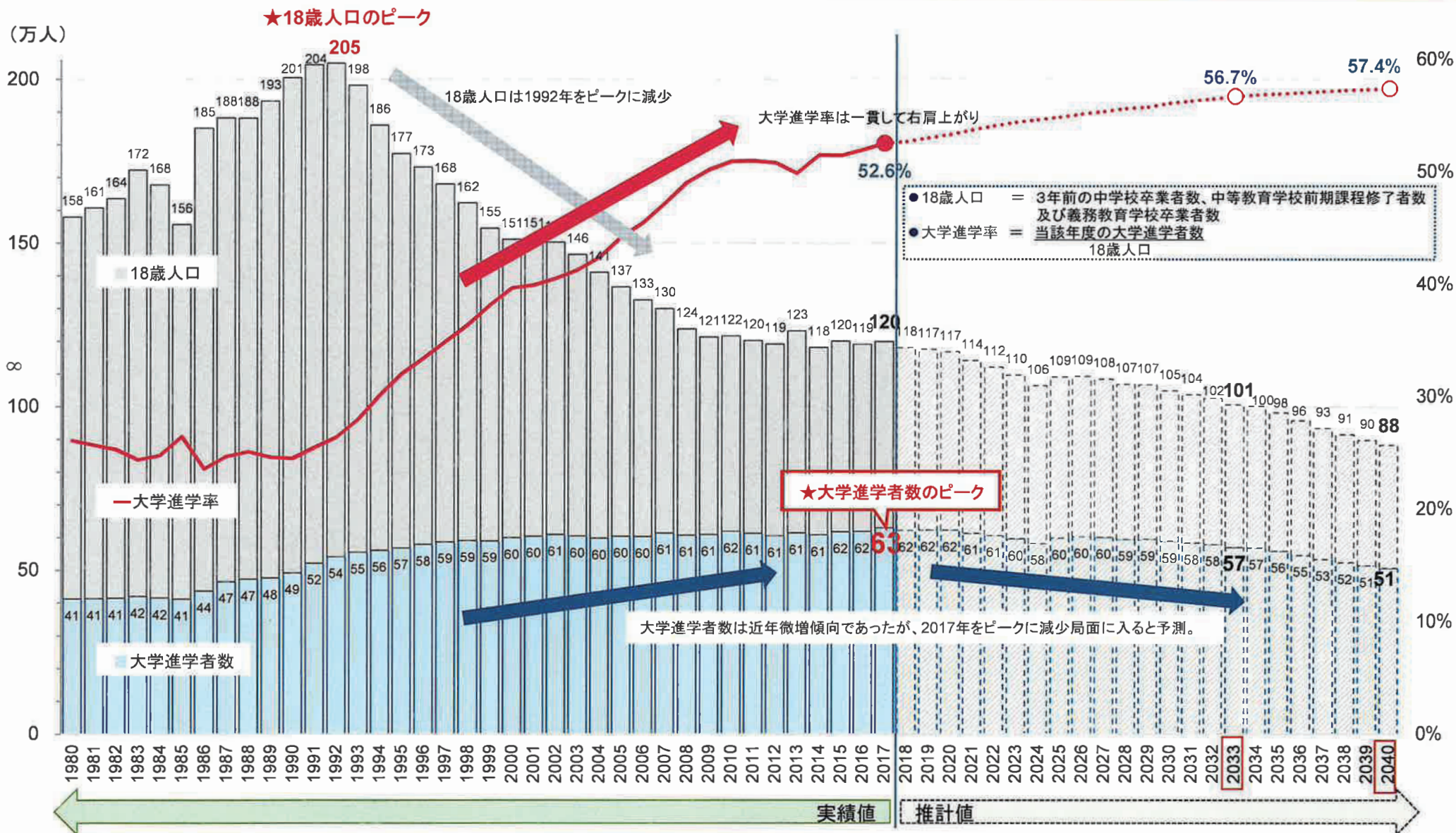


【出典】文部科学省「学校基本統計」令和14年～22年度については国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)(出生中位・死亡中位)」を元に作成  
 ※進学率、現役志願率については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。



# 【資料3】大学進学者数等の将来推計について

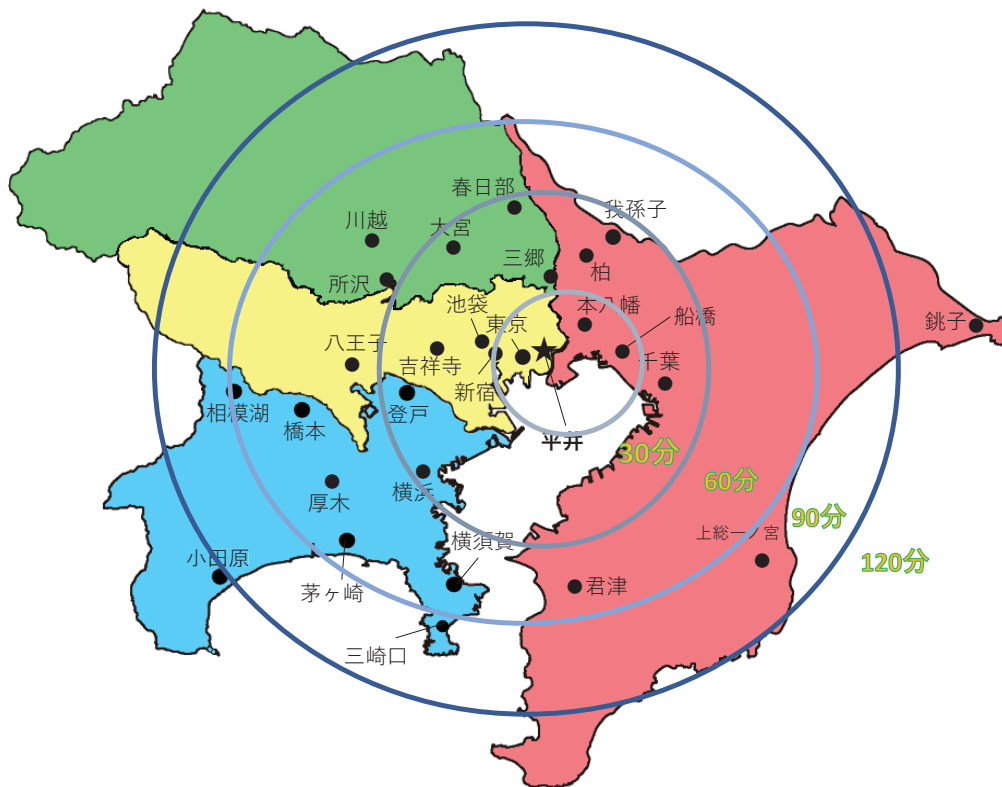
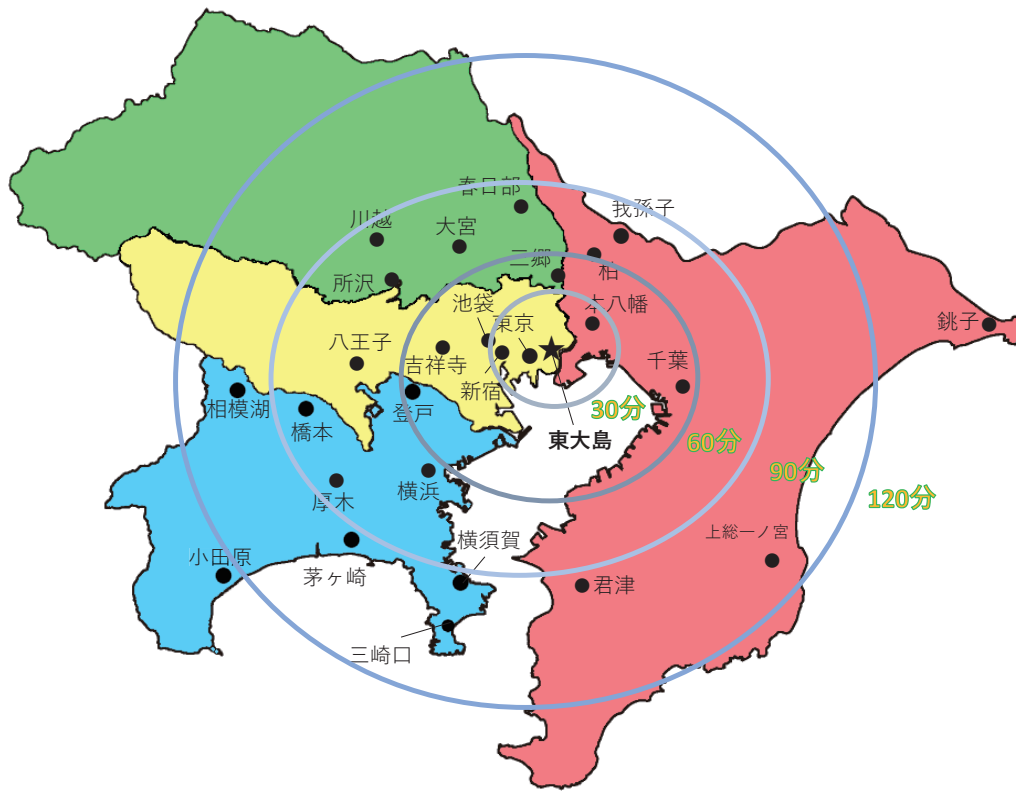
● 18歳人口が減少し続ける中でも、大学進学率は一貫して上昇し、大学進学者数も増加傾向にあったが、2018年以降は18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少局面に入ると予測される。



【出典】○18歳人口：①1980年～2017年…文部科学省「学校基本統計」、②2018年～2029年…文部科学省「学校基本統計」を元に推計、③2030～2034年…厚生労働省「人口動態統計」の出生数に生存率を乗じて推計、④2035～2040年については国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)(出生中位・死亡中位)」を元に作成(2034年の都道府県比率で案分)

○大学進学者数及び大学進学率：①1980～2017年…文部科学省「学校基本統計」、②2018年～2040年…文部科学省による推計

【資料4】東大島駅・平井駅からの通学時間目安



【資料5】類似する大学の一般入試倍率

大学	学部	年度	令和2年(2020)	令和元年(2019)	平成30年(2018)
早稲田大学	基幹理工学部	志願者数	4,733	4,612	4,784
		合格者数	937	1,011	953
		倍率	14.8	14.4	15.0
慶応義塾大学	理工学部	志願者数	8,230	8,643	9,050
		合格者数	2,444	2,411	2,532
		倍率	12.7	13.3	13.9
東京理科大学	工学部	志願者数	12,154	12,662	13,050
		合格者数	2,870	2,892	2,616
		倍率	31.6	32.9	33.4
明治大学	理工学部	志願者数	19,151	19,446	21,934
		合格者数	4,983	5,016	4,824
		倍率	25.7	26.1	28.9
中央大学	理工学部	志願者数	17,926	18,097	18,924
		合格者数	3,085	3,286	18,097
		倍率	23.1	23.0	24.0
青山学院大学	理工学部	志願者数	10,036	9,480	9,418
		合格者数	2,005	1,975	1,966
		倍率	19.3	17.7	17.5
工学院大学	情報学部	志願者数	5,945	5,709	4,765
		合格者数	810	721	610
		倍率	23.4	22.4	18.8
東京電機大学	システムデザイン工学部	志願者数	4,475	4,428	3,631
		合格者数	645	521	552
		倍率	21.3	21.1	18.2
芝浦工業大学	デザイン工学部	志願者数	2,819	3,421	3,208
		合格者数	754	733	623
		倍率	19.6	23.8	22.3
東京工科大学	コンピューターサイエンス学部	志願者数	3,879	2,126	2,305
		合格者数	631	596	482
		倍率	22.8	12.5	13.6
日本大学	工学部	志願者数	4,290	3,366	3,495
		合格者数	2,485	2,362	2,216
		倍率	7.0	5.5	5.7
東洋大学	情報連携学部	志願者数	4,854	5,665	4,974
		合格者数	1,391	1,244	994
		倍率	14.1	18.3	16.0
創価大学	理工学部	志願者数	706	744	747
		合格者数	290	352	293
		倍率	8.2	8.7	8.7
玉川大学	工学部	志願者数	2,134	1,755	1,581
		合格者数	190	293	497
		倍率	12.2	10.0	9.0
東海大学	情報通信学部	志願者数	4,411	4,763	3,326
		合格者数	525	580	564
		倍率	23.5	25.3	18.3
帝京大学	理工学部	志願者数	1,544	1,012	965
		合格者数	659	535	550
		倍率	8.3	6.2	5.9
東京工芸大学	工学部	志願者数	2,432	1,744	1,430
		合格者数	944	906	999
		倍率	10.3	7.5	5.9
情報経営イノベーション専門職大学	情報経営イノベーション学部	志願者数	136	-	-
		合格者数	55	-	-
		倍率	2.3	-	-
東京国際工科専門職大学	情報工学部	志願者数	260	-	-
		合格者数	44	-	-
		倍率	7.6	-	-

出典:旺文社パスナビ(<https://passnavi.evidus.com/>)より引用

出典:各大学公式ホームページより引用

【資料6】類似する大学の入学者定員充足率

大学	学部	年度	令和3年(2021)	令和2年(2020)	令和元年(2019)	平成30年(2018)
早稲田大学	基幹理工学部	入学者	-	598	608	605
		入学定員	-	595	595	595
		定員充足率	-	1.01	1.02	1.02
慶応義塾大学	理工学部	入学者	974	974	965	969
		入学定員	932	932	932	932
		定員充足率	1.05	1.05	1.04	1.04
東京理科大学	工学部	入学者	544	510	522	464
		入学定員	550	550	550	550
		定員充足率	0.99	0.93	0.95	0.84
明治大学	理工学部	入学者	-	939	1,066	933
		入学定員	-	1,065	1,065	1,065
		定員充足率	-	0.88	1.00	0.88
中央大学	理工学部	入学者	931	861	1,063	1,033
		入学定員	1,020	1,020	1,020	1,020
		定員充足率	0.91	0.84	1.04	1.01
青山学院大学	理工学部	入学者	672	619	633	634
		入学定員	680	650	650	650
		定員充足率	0.99	0.95	0.97	0.98
工学院大学	情報学部	入学者	337	314	312	309
		入学定員	310	310	310	310
		定員充足率	1.09	1.01	1.01	1.00
東京電機大学	システムデザイン工学部	入学者	282	262	259	272
		入学定員	240	240	240	240
		定員充足率	1.18	1.09	1.08	1.13
芝浦工業大学	デザイン工学部	入学者	168	157	168	171
		入学定員	160	160	160	160
		定員充足率	1.05	0.98	1.05	1.07
東京工科大学	コンピューターサイエンス学部	入学者	318	300	316	303
		入学定員	290	290	290	290
		定員充足率	1.10	1.03	1.09	1.04
日本大学	工学部	入学者	-	1,046	1,034	1,061
		入学定員	-	1,030	1,030	1,030
		定員充足率	-	1.02	1.00	1.03
東洋大学	情報連携学部	入学者	-	387	395	394
		入学定員	-	400	400	400
		定員充足率	-	0.97	0.99	0.99
創価大学	理工学部	入学者	-	179	187	185
		入学定員	-	180	180	180
		定員充足率	-	0.99	1.04	1.03
東海大学	情報通信学部	入学者	326	316	323	369
		入学定員	320	320	320	320
		定員充足率	1.02	0.99	1.01	1.15
帝京大学	理工学部	入学者	-	229	232	260
		入学定員	-	265	265	265
		定員充足率	-	0.86	0.88	0.98
東京工芸大学	工学部	入学者	-	437	475	472
		入学定員	-	400	400	400
		定員充足率	-	1.09	1.19	1.18
東京国際工科専門職大学	情報工学部	入学者	119	129	-	-
		入学定員	120	120	-	-
		定員充足率	0.99	1.08	-	-

出典：旺文社パスナビ(<https://passnavi.evidus.com/>)より引用

出典：各大学公式ホームページより引用

豊かな創造力とグローバル人材



**TID**

2023年4月開学予定

学校法人 滋慶学園 **東京情報デザイン専門職大学**

(大学名仮称・設置構想中)

**Tokyo Professional University of Information Design**

※設置構想中のため、大学名や掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

情報と情報技術で、新しい価値を創造する

# 東京情報デザイン専門職大学 (大学名仮称・設置構想中)

[工学] 情報デザイン学部 (仮称) / 情報デザイン学科 (仮称)

【修業年限】4年 【定員】160名

## 地域とともに発展する 江戸川区初の4年制大学が誕生



2023年4月に江戸川区の豊かな環境に、新しい大学の開校が予定されています。  
本学は情報と情報技術によって、事業をデザイン(企画・立案・設計)し、  
ビジネス・産業・社会における新しい価値の創造に貢献できる人材を育成します。

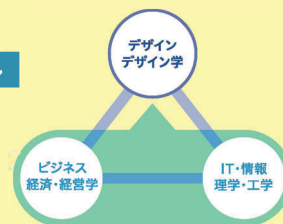
## DX新時代に求められる「情報デザインエンジニア」へ

### 情報デザインエンジニアとは?

情報技術分野での情報の収集・蓄積し、技術の理解・開発と共に、事業に必要な情報技術化を促進し、他領域の情報とも連携させ、新しい産業や社会をデザイン(設計)し、新しい価値の創造をおこなう技術者、工学者のことを意味します。

#### 本学の教育モデル

情報・情報技術と  
ビジネスを統合し、  
社会のDX化を  
実現する



### 専門職大学としての教育の特徴

#### 1 実践的で質の高い職業教育

職業を重視した実践的な教育で、理論(学術)と実践(ビジネス)の双方をバランスよく学習。社会・産業における課題を発見し、解決する力を高めます。

#### 2 豊かな創造力を磨ける環境と校舎

工学系に特化した最先端の分野を、充実した設備の心地よい新校舎で学ぶことができます。一人ひとりの感性が刺激され、創造力を養える環境です。

#### 3 企業の現場で働く「臨地実務実習」

本学が定める分野の企業で、1人あたり600時間以上のインターンシップを行います。実施期間は3年次、4年次の2回に分けて設定されます。

#### 4 経験豊富な教授陣の学修サポート

情報・情報技術の分野に精通した実務家の教員が、ビジネスデザイン展開できる学びをサポート。学生のコミュニケーションスキルも磨きます。

## 「情報デザインエンジニア」に求められる力

産業・ビジネスに必要な情報学の知識・技術を主体的に獲得する力

情報学の専門性と創造力を活かし、ビジネスへの適用を追究する力

自律的なキャリア意識を持ち、他の組織や人材と連携・協力できる力



### 類似する大学及び学費

東京情報デザイン専門職大学(仮称)	【初年度合計】 1,750,000円	東京国際工科専門職大学 情報工学部・情報工学科	【初年度合計】 1,740,000円
明治大学 理工学部	【初年度合計】 1,806,000円	青山学院大学 理工学部 情報テクノロジー学科	【初年度合計】 1,849,000円



### 医療 × Information & IT

スマートフォンを利用した健康管理アプリの開発や、過疎地に住む高齢者へのオンライン診療サービスの提供など。先進のメソッドで、人びとの健康に貢献します。



### 農業 × Information & IT

AIアプリが作物の形状や色から成長度合いを解析し、収穫時期を判断。収穫はロボットが行うなどのテクノロジーで、農家の作業の省力・軽労化を実現します。



### 金融 × Information & IT

事業に共感する出資者をWEB上で募るクラウドファンディングなどがビジネスの可能性を上げ、スマートペイメントや仮想通貨が人間生活の利便性を高めます。



### スポーツ × Information & IT

タイムや距離などの情報をリアルタイムに確認するデバイスが競技者をサポートし、VR等を応用した技術が自宅での臨場感溢れるスポーツ観戦体験を提供します。



### 教育 × Information & IT

タブレットの導入による教科書のデジタル化や、ビッグデータを活用して個々の学生に最適な学習内容を提示するアダプティブラーニングなどが教育を進化させます。



### エンタメ × Information & IT

ARやVRを活用したライブイベント、来場者のアクションに反応するインタラクティブ・ビジュアルコンテンツなどが、エンターテインメントの新たな可能性を上げます。

## 本学で学び将来活躍できる職種



#### 情報システム / SE

業務のIT化、IoTを使った新しいサービスの企画・設計・提案



#### AI、データ解析 / データサイエンス

AIを活用した業務の自動化、業務改善の企画・設計・提案



#### 仮想空間 / サイバーセキュリティ

企業や組織の情報を守るセキュリティの企画・設計・提案



#### ゲーム、CG / デジタルエンターテインメント

ゲーム・CG・アート等のプログラミングやデザインの企画・設計・提案

## 情報・情報技術、デザイン、ビジネスの3本柱で、高度な実践力と豊かな創造力を育む

### 専門科目

プログラミング	ヒューマンインタフェース	ゲーム情報学	データベース
アーキテクチャ	AI、機械学習	制御システム	セキュリティ
オペレーションシステム	データサイエンス	ロボティクス	情報デザイン演習
インターネット	コンピュータグラフィクス	システム設計	情報デザイン実習
Web技術	ゲームデザイン	クラウド	デザインシンキング
			デザインスプリント

### 臨地実務実習 (インターンシップ)

### 展開科目

事業戦略	会計	人材資源と組織	オペレーションマネジメント
IT市場論	財務	知財戦略	プロジェクトマネジメント
イノベーション	マーケティング	デジタルマーケティング	ビジネスプランニング

### 基礎科目

数学 (線型代数、微積分、統計)  
 社会情報学  
 産業・社会とIT  
 物理 (力学)  
 現代社会学  
 キャリアデザイン  
 電子回路  
 科学技術史  
 企業経営のための経済学基礎  
 論理学  
 技術英語/会話

### 総合科目 (ビジネスデザイン)

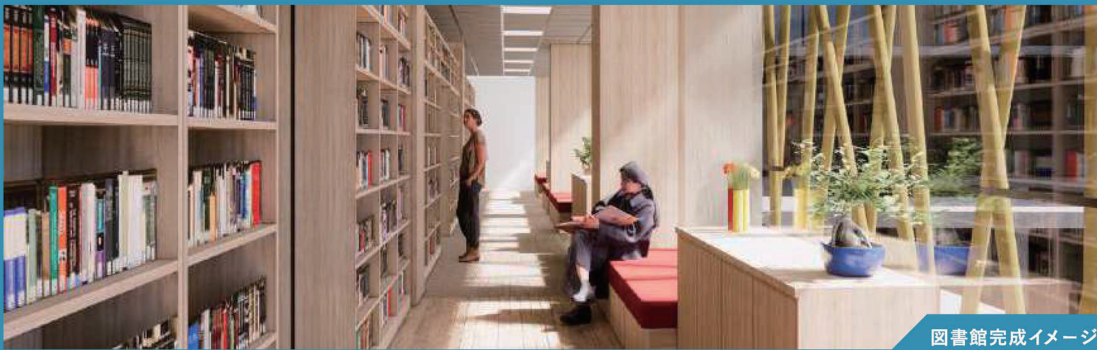
単に「プログラムができる」「ツールが使える」だけではなく、バックボーンとなる基礎科目 (数学・物理、回路・通信) や展開科目 (ビジネス、サービスと技術の位置づけ) を理解し、活用できる学術と実践をバランス良く学ぶ。

## 専門職大学とは

豊かな創造力と高度な実践力を併せ持つ人材の育成を目的に、  
約55年ぶりに新設された大学制度。  
従来の大学が行う学問的色彩の強い教育と、  
専門学校が行う実践的教育の双方を兼ね備えた特徴がある。



校舎完成イメージ



図書館完成イメージ



カフェテリア空間完成イメージ



開学予定地

学校法人 滋慶学園

## 東京情報デザイン専門職大学

〔開学予定地〕 〒132-0034 東京都江戸川区小松川2-7

〔設立準備室〕 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-3-13  
東京ホテル・ウェディング&IR専門学校内

Tel: 03-6808-3201 Mail: tid@jikeicom.jp

# DESIGN A BETTER FUTURE



## 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート（無記名式）

学校法人滋慶学園では、令和5年4月に、新たに「東京情報デザイン専門職大学（仮称）」の開設を予定しております。

このアンケートは、無記名式で、高校生の皆さんの高校卒業後の進路などについてお聞きし、新大学設置のための基礎資料とするものです。回答にあたっては、別紙のリーフレット及び以下の「養成する人物像」をご覧ください。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。回答した内容によって、将来の選択について制限されることはありません。

回答は設問の順に該当する番号を回答欄に直接記入してください。一部の設問では回答を直接記入してください。

また、概要については現在構想中であり、変更される場合があります。

- ◆ 開設予定大学 : 東京情報デザイン専門職大学（仮称）  
情報デザイン学部 情報デザイン学科 （入学定員 160名）
- ◆ 開設予定時期 : 令和5年4月
- ◆ 養成する人物像 : 情報・情報技術（IT）によって、ビジネス・社会の仕組みをデザイン（企画・立案・設計）し、新しい価値の創造に貢献できる人材を育成します。

-----以下の設問にお答えください（裏面にも設問があります）-----

問1 あなたの性別についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

【回答欄】

- 1 男性
- 2 女性
- 3 回答しない

問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- |        |              |
|--------|--------------|
| 1 東京都  | 4 埼玉県        |
| 2 千葉県  | 5 茨城県        |
| 3 神奈川県 | 6 その他（具体的に ) |

問3 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

- 1 大学進学  
(専門職大学を含む)
- 2 短期大学進学  
(専門職短期大学を含む)
- 3 専門学校進学

} 問4以下へ  
お進みください。

- 4 就職
- 5 その他

} これでアンケートは終了です。  
ご協力ありがとうございました。

【問3で「1, 2, 3」を選択された方は問4に進んでください。「4, 5」を選択された方は、アンケートは終わりになります。】

問4 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から2つまで選んでください。

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1 学部・学科の専攻分野       | 7 学費（入学金・授業料）                            |
| 2 学校の所在地（交通の利便の良さ） | 8 学校の伝統・知名度                              |
| 3 資格を取得できる         | 9 入試難易度・入試科目                             |
| 4 就職実績             | 10 周囲の意見                                 |
| 5 設置形態（国・公・私立）     | 11 クラブ活動・学生生活の充実度                        |
| 6 校舎・施設・設備等の教育研究環境 | 12 その他（                                ） |


問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 情報系（情報学、情報工学、情報科学、コンピュータ、プログラミングなど）
- 2 理学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学など）
- 3 人文科学系（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）
- 4 社会科学系（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学など）
- 5 教育学・教員養成系（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）
- 6 家政学系（生活科学、食物学、住居学、被服学など）
- 7 農学系（農学、水産学、農業経済学、林学、酪農・畜産学など）
- 8 芸術系（音楽、美術、芸術など）
- 9 体育系（スポーツ、健康科学など）
- 10 医学・歯学・薬学系
- 11 保健衛生学系（看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、放射線など）
- 12 その他（具体的に                                ）

第1希望

--

第2希望

--

問6以降は、設置構想中の「東京情報デザイン専門職大学（仮称）」についておたずねします。  
アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

問6 あなたは東京情報デザイン専門職大学（仮称）を受験して合格した場合、情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- |                    |                                     |
|--------------------|-------------------------------------|
| 1 進学を希望する          | } 問7へお進みください。                       |
| 2 進学先の候補の1つとして検討する |                                     |
| 3 進学を希望しない         | } これでアンケートは終了です。<br>ご協力ありがとうございました。 |
| 4 わからない            |                                     |

--

問7 問6で「1 進学を希望する」「2 進学先の候補の1つとして検討する」を選択された方におたずねします。

東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）では、卒業後の進路として以下の進路を想定しています。あなたが興味のある進路はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。

- 1 情報システム/SE
- 2 AI、データ解析/データサイエンス
- 3 仮想空間/サイバーセキュリティ
- 4 ゲーム、CG/デジタルエンターテインメント

第1希望

--

第2希望

--

\*\*\* 以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*

東京情報デザイン専門職大学（仮称）への  
入学意向に関するアンケート調査報告書

【 高校生対象 】

令和3年8月

一般財団法人 日本開発構想研究所

## 目 次

<アンケート調査概要> .....	1
<アンケート調査結果要旨> .....	3
<アンケート回収表> .....	7
<アンケート集計結果> .....	13
○ クロス集計表（問6×問7） .....	28
○ 進学意向の高校内訳 .....	29
<アンケート調査票・リーフレット> .....	33

## <アンケート調査概要>

### 1. アンケート調査の目的

本調査は、学校法人滋慶学園において、令和 5 年 4 月に東京情報デザイン専門職大学（仮称）の開設を目指し、入学意向を把握することを目的とする。

### 2. 調査対象

東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県の 1 都 3 県に所在する高等学校を選定し、高校 2 年生を対象に、アンケート調査を実施した。（回収表は P. 9～P. 11 参照）

### 3. 調査実施

令和 3 年 6 月～8 月

### 4. 調査方法

学校法人滋慶学園が高校を選定し、アンケート実施の承諾が得られた 108 校にアンケート調査票を郵送した。調査票の配布・回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。

### 5. 回収状況

回収数 108 校 13,047 票（回収状況は P. 9～11 を参照）

## <アンケート調査結果要旨>

### 【問1：性別（男女）】

回答者の性別は、男性が 6,469 人（49.6%）、女性が 6,529 人（50%）の構成であった。

### 【問2：現住所（都道府県）】

回答者の現住所について、4,722 人（36.2%）が「東京都」に居住し、以下、「千葉県」が 4,586 人（35.1%）、「神奈川県」が 2,187 人（16.8%）、「埼玉県」が 1,383 人（10.6%）、「茨城県」が 102 人（0.8%）と続いている。

### 【問3：高校卒業後の希望進路】

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 9,257 人（71.0%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 1,979 人（15.2%）、「短期大学進学（専門職短期大学を含む）」が 355 人（2.7%）の順に続いている。なお、進学以外では「就職」が 1,062 人（8.1%）、「その他」が 332 人（2.5%）となっている。

（問4以降は、問3で「1 大学進学（専門職大学を含む）」、「2 短期大学進学（専門職短期大学を含む）」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者（11,591 人）に対する設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

### 【問4：進路決定時の重視項目】

回答者が進路決定時に重視する事柄については、「学部・学科の専攻分野」が 7,233 人（62.4%）と最も多く、「資格を取得できる」が 3,069 人（26.5%）、「学校の所在地（交通の利便の良さ）」が 2,699 人（23.3%）と続いている。

### 【問5：志望分野】

回答者の卒業後の進学希望分野については、希望順位別に集計を行い、以下の通りとなった。

第1希望について、「理学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電

子工学、建築学など)」が 1,706 人 (14.7%) と最も多く、「社会科学系 (経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学など)」が 1,556 人 (13.4%)、「人文科学系 (文学、史学、哲学、心理学、外国語など)」が 1,455 人 (12.6%)、「情報系 (情報学、情報工学、情報科学、コンピュータ、プログラミングなど)」が 1,369 人 (11.8%) と続いている。

第 2 希望については、「理学・工学系 (数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学など)」が 1,403 人 (12.1%)、「情報系 (情報学、情報工学、情報科学、コンピュータ、プログラミングなど)」が 1,390 人 (12.0%)、「人文科学系 (文学、史学、哲学、心理学、外国語など)」が 1,375 人 (11.9%) と続いている。

#### 【問 6：情報デザイン学部情報デザイン学科への進学希望】

情報デザイン学部情報デザイン学科 (仮称) への進学希望については、「進学を希望する」が 406 人 (3.5%)、「進学先の候補の 1 つとして検討する」が 1,735 人 (15.0%) の結果となった。「進学を希望する」と回答した学生に限定しても、入学定員 160 名に対し、2.5 倍をも上回る進学意向は把握することができた。

【問 7 は、問 6 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の 1 つとして検討する」のいずれかの回答者 (2,141 人) に対する設問。】

#### 【問 7：卒業後の希望進路】

問 6 で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の 1 つとして検討する」のいずれかを選択した回答者 (2,141 人) のうち、興味を示した専門職大学卒業後の想定進路について希望順位別に集計を行った。

第 1 希望について「ゲーム、CG/デジタルエンターテイメント」に興味を示した学生が最も多く、865 人 (40.4%)、次いで「情報システム/SE」が 621 人 (29.0%)、「AI、データ解析/データサイエンス」は 319 人 (14.9%)、「仮想空間/サイバーセキュリティ」が 316 (14.8%) と続いている。

第 2 希望について、「仮想空間/サイバーセキュリティ」に興味を示した学生が最も多く、690 人 (32.2%)、「ゲーム、CG/デジタルエンターテイメント」は、507 人 (23.7%)、「AI、データ解析/データサイエンス」は、491 人 (22.9%)、「情報システム/SE」は、365 人 (17.0) と続いている。

【 問 6×問 7 のクロス集計表 】

問 6（情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の進学希望）と、問 7（卒業後の希望進路）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

問 6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望

× 問 7-1 卒業後の進路で興味のある進路 第 1 希望

上段:度数		問 7-1 卒業後の進路で興味のある進路 第 1 希望					
		合計	情報システム/SE	AI、データ解析/データサイエンス	仮想空間/サイバーセキュリティ	ゲーム、CG/デジタルエンターテインメント	不明
下段:%							
問 6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望	全体	2,141	621	319	316	865	20
		100.0	29.0	14.9	14.8	40.4	0.9
	進学を希望する	406	184	60	52	100	10
		100.0	45.3	14.8	12.8	24.6	2.5
	進学先の候補の 1 つとして検討する	1,735	437	259	264	765	10
		100.0	25.2	14.9	15.2	44.1	0.6

問 6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望

× 問 7-2 卒業後の進路で興味のある進路 第 2 希望

上段:度数		問 7-2 卒業後の進路で興味のある進路 第 2 希望					
		合計	情報システム/SE	AI、データ解析/データサイエンス	仮想空間/サイバーセキュリティ	ゲーム、CG/デジタルエンターテインメント	不明
下段:%							
問 6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望	全体	2,141	365	491	690	507	88
		100.0	17.0	22.9	32.2	23.7	4.1
	進学を希望する	406	55	136	82	93	40
		100.0	13.5	33.5	20.2	22.9	9.9
	進学先の候補の 1 つとして検討する	1,735	310	355	608	414	48
		100.0	17.9	20.5	35.0	23.9	2.8



<アンケート回収表>

東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 回収表

高校 Code	都道 府県	高校名	ナンバリング		回収数	回収日
1	東京都	大智学園高等学校 東京校（学習センター）	2,770	2,861	92	7.2
2	東京都	あずさ第一高等学校 立川キャンパス	6,972	6,999	28	7.12
3	東京都	淑徳S C高等部	384	422	39	6.24
4	東京都	日本航空高等学校 東京目黒サテライト （通信制課程）	3,535	3,540	6	7.7
5	千葉県	わせがく高等学校 稲毛海岸学習センター	8,712	8,717	6	7.20
6	千葉県	あずさ第一高等学校 野田本校	543	578	36	6.24
7	千葉県	K T Cおおぞら高等学院 千葉キャンパス	1,904	1,932	29	6.29、 6.30
			2,747	2,769	23	
8	神奈川県	東海大学付属相模高等学校	10,003	10,321	319	7.27
9	埼玉県	埼玉栄高等学校	9,406	9,483	78	7.21
10	東京都	城西大学附属城西高等学校	3,757	3,835	79	7.7
11	千葉県	千葉県立銚子商業高等学校	4,262	4,488	227	7.8
12	千葉県	麗澤高等学校	8,718	8,779	62	7.20
13	東京都	昭和第一高等学校	1,301	1,366	66	6.25
14	東京都	安田学園高等学校	151	222	72	6.22
15	埼玉県	浦和学院高等学校	1,933	2,009	77	6.29
16	東京都	東京成徳大学高等学校 高等部	2,569	2,629	61	6.30
17	千葉県	日出学園高等学校	1,538	1,604	67	6.29
18	東京都	立正大学付属立正高等学校	1	71	71	6.21
19	東京都	工学院大学附属高等学校	1,605	1,864	260	6.29
20	東京都	京華女子高等学校	4,122	4,261	140	7.8
21	千葉県	千葉敬愛高等学校	6,371	6,471	101	7.16
22	東京都	杉並学院高等学校	72	110	39	6.21
23	神奈川県	横浜市立東高等学校	11,545	11,584	40	7.27
24	千葉県	八千代松陰高等学校	7,000	7,042	43	7.20
25	東京都	足立学園高等学校	9,122	9,405	284	7.21
26	神奈川県	神奈川県立七里が浜高等学校	2,010	2,088	79	6.29
27	東京都	東京電機大学高等学校	3,666	3,756	91	7.7
28	東京都	二松学舎大学附属高等学校	2,862	3,035	174	7.2
29	千葉県	千葉英和高等学校	7,043	7,155	113	7.20
30	東京都	上野学園高等学校	1,367	1,537	171	6.29
31	千葉県	中央学院高等学校	4,658	4,925	268	7.13
32	東京都	神田女学園高等学校	5,033	5,132	100	7.13
33	東京都	渋谷教育学園渋谷高等学校	12,801	12,888	88	7.30
34	神奈川県	向上高等学校	3,964	4,043	80	7.8
35	東京都	潤徳女子高等学校	6,472	6,549	78	7.16
36	東京都	東京都立広尾高等学校	8,435	8,622	188	7.20
37	埼玉県	浦和実業学園高等学校	2,630	2,746	117	6.30
38	埼玉県	埼玉県立大宮南高等学校	8,623	8,711	89	7.20
39	東京都	北豊島高等学校	12,713	12,800	88	7.30

高校 Code	都道 府県	高校名	ナパ リンク*		回収数	回収日
40	千葉県	敬愛学園高等学校	223	383	161	6.22
41	東京都	啓明学園高等学校	6,550	6,609	60	7.16
42	神奈川県	横浜商科大学高等学校	12,394	12,712	319	7.28
43	東京都	京華商業高等学校	1,131	1,277	147	6.24
44	千葉県	東京学館高等学校	3,541	3,665	125	7.7
45	東京都	正則学園高等学校	3,349	3,534	186	7.5
46	神奈川県	神奈川県立荏田高等学校	7,411	7,716	306	7.20
47	千葉県	日本体育大学柏高等学校	8,122	8,179	58	7.20
48	東京都	東京都立晴海総合高等学校	11,780	12,029	250	7.27
49	千葉県	千葉県立柏の葉高等学校	11,494	11,532	39	7.27
50	千葉県	千葉県立君津高等学校	11,585	11,779	195	7.27
51	神奈川県	鎌倉学園高等学校	3,036	3,115	80	7.2
52	千葉県	東京学館浦安高等学校	5,495	5,676	182	7.15
53	神奈川県	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	3,906	3,963	58	7.8
54	埼玉県	山村国際高等学校	7,890	8,121	232	7.20
55	千葉県	千葉経済大学附属高等学校	8,887	9,121	235	7.21
56	東京都	貞静学園高等学校	1,278	1,300	23	6.25
57	東京都	共栄学園高等学校	111	150	40	6.21
58	千葉県	千葉県立松戸高等学校	6,610	6,685	76	7.16
59	神奈川県	川崎市立川崎総合科学高等学校	12,030	12,242	213	7.27
60	東京都	岩倉高等学校	5,677	5,797	121	7.15
61	神奈川県	神奈川県立相模原総合高等学校	4,044	4,121	78	7.8
62	千葉県	東京学館船橋高等学校	6,057	6,303	247	7.15
63	千葉県	拓殖大学紅陵高等学校	2,267	2,568	302	6.29
64	東京都	東京都立足立東高等学校	9,798	9,931	134	7.21
65	千葉県	我孫子二階堂高等学校	7,753	7,889	137	7.20
66	千葉県	木更津総合高等学校	579	1,130	552	6.24
67	千葉県	桜林高等学校	12,243	12,393	151	7.28
68	千葉県	鴨川令徳高等学校	8,180	8,212	33	7.20
69	東京都	大東学園高等学校	8,859	8,886	28	7.21
70	千葉県	千葉県立野田中央高等学校	1,865	1,903	39	6.29
71	千葉県	千葉聖心高等学校	9,484	9,626	143	7.21
72	埼玉県	埼玉県立鷺宮高等学校	5,798	6,056	259	7.15
73	千葉県	千葉県立一宮商業高等学校	5,133	5,284	152	7.15
74	東京都	東京都立東高等学校	10,895	11,124	230	7.27
75	東京都	修徳高等学校	3,116	3,348	233	7.2
76	東京都	安部学院高等学校	423	542	120	6.24
77	千葉県	千葉県立船橋古和釜高等学校	11,283	11,493	211	7.27
78	千葉県	千葉県立千葉工業高等学校	3,874	3,905	32	7.8
79	千葉県	千葉県立木更津東高等学校	8,213	8,363	151	7.20
80	千葉県	千葉県立市川工業高等学校	9,932	10,002	71	7.26
81	埼玉県	埼玉県立浦和工業高等学校	8,364	8,434	71	7.20
82	東京都	江戸川女子高等学校	4,489	4,524	36	7.12

高校 Code	都道 府県	高校名	ナパ <sup>®</sup> リンク <sup>®</sup>		回収数	回収日
83	東京都	東京表現高等学校 MIICA	13,036	13,047	12	8.5
84	神奈川県	神奈川県立釜利谷高等学校	12,889	13,035	147	7.30
85	埼玉県	埼玉県立三郷工業技術高等学校	9,627	9,653	27	7.21
86	千葉県	千葉県立成田西陵高等学校	2,089	2,266	178	6.29
87	千葉県	柏市立柏高等学校	9,726	9,765	40	7.21
88	千葉県	専修大学松戸高等学校	9,766	9,797	32	7.21
89	千葉県	東海大学附属浦安高等学校	11,533	11,544	12	7.27
90	神奈川県	相洋高等学校	10,627	10,742	116	7.27
91	東京都	日本女子体育大学附属二階堂高等学校	4,926	5,032	107	7.13
92	東京都	藤村女子高等学校	4,525	4,657	133	7.12
93	東京都	東京都立飛鳥高等学校	3,836	3,873	38	7.8
94	東京都	東星学園高等学校	6,686	6,707	22	7.16
95	東京都	和光高等学校	7,156	7,217	62	7.21
96	東京都	東京家政学院高等学校	9,654	9,725	72	7.21
97	東京都	和洋九段女子高等学校	8,780	8,858	79	7.20
98	東京都	東京立正高等学校	11,125	11,282	158	7.27
99	東京都	国士館高等学校	5,285	5,323	39	7.15
100	東京都	下北沢成徳高等学校	5,324	5,417	94	7.15
101	東京都	麹町学園女子高等学校	10,743	10,894	152	7.27
102	東京都	東京高等学校	10,322	10,626	305	7.27
103	東京都	関東国際高等学校	5,418	5,494	77	7.15
104	東京都	東洋女子高等学校	7,218	7,319	102	7.21
105	東京都	東京都立向丘高等学校	7,717	7,752	36	7.20
106	東京都	八雲学園高等学校	7,320	7,410	91	7.21
107	東京都	東京都立成瀬高等学校	6,708	6,971	264	7.16
108	東京都	桐朋女子高等学校	6,304	6,370	67	7.16
			計		13,047	108

#### 回収状況

高校所在地	回収校数	回収票数
東京都	53校	5,733票
千葉県	35校	4,529票
神奈川県	12校	1,835票
埼玉県	8校	950票
計	108校	13,047票

<アンケート集計結果>

## 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート 集計

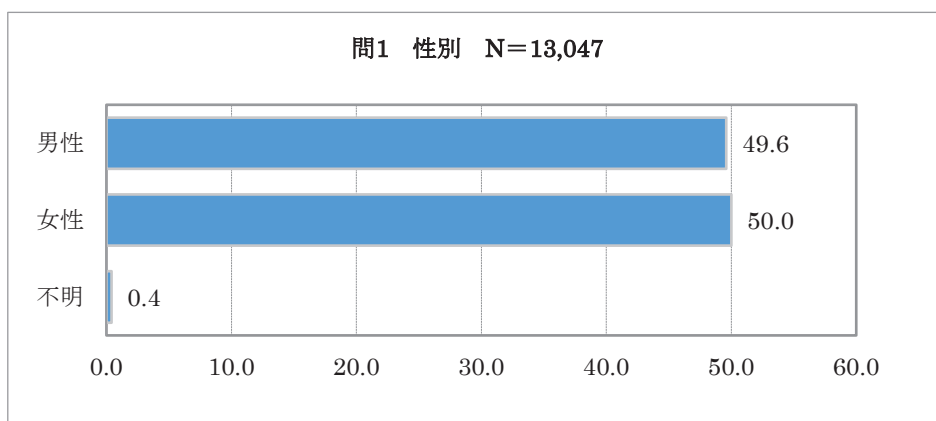
[有効回答票：13,047 票]

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

### 問1 あなたの性別についておたずねします。

回答者の性別は、男性が6,469人（49.6%）、女性が6,529人（50%）の構成であった。

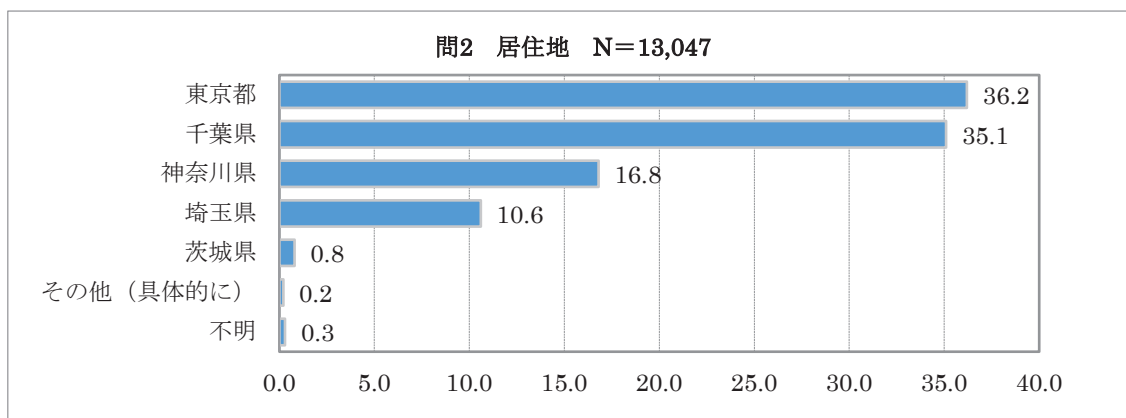
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	6,469	49.6
2	女性	6,529	50
	不明	49	0.4
	N（ベース）	13,047	100



## 問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。

回答者の現住所について、4,722人（36.2%）が「東京都」に居住し、以下、「千葉県」が4,586人（35.1%）、「神奈川県」が2,187人（16.8%）、「埼玉県」が1,383人（10.6%）、「茨城県」が102人（0.8%）と続いている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	東京都	4,722	36.2
2	千葉県	4,586	35.1
3	神奈川県	2,187	16.8
4	埼玉県	1,383	10.6
5	茨城県	102	0.8
6	その他（具体的に）	28	0.2
	不明	39	0.3
	N（％へ - ス）	13,047	100



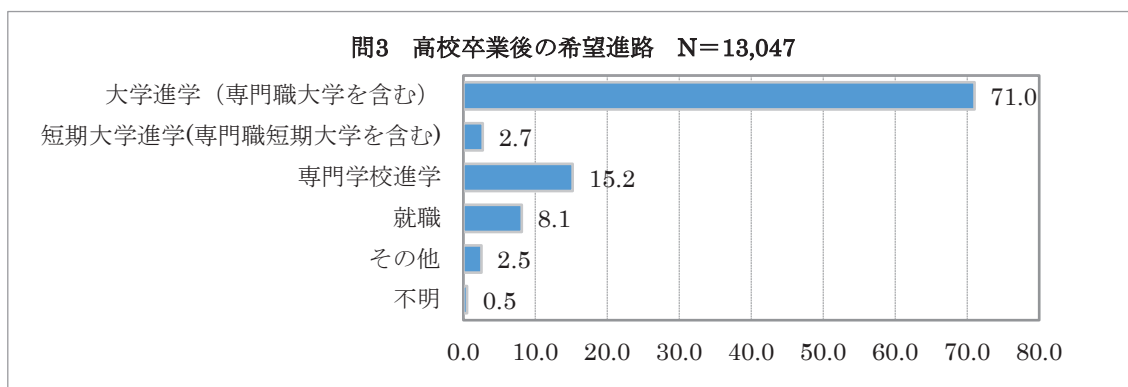
（「6 その他」の回答）

愛知県	大阪府	岡山県
鹿児島県	静岡県	栃木県
福井県	北海道	山梨県
和歌山県		

**問3 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。**

回答者の希望進路については、進学先としては「大学進学（専門職大学を含む）」が 9,257 人（71.0%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 1,979 人（15.2%）、「短期大学進学（専門職短期大学を含む）」が 355 人（2.7%）の順が続いている。なお、進学以外では「就職」が 1,062 人（8.1%）、「その他」が 332 人（2.5%）となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学（専門職大学を含む）	9,257	71.0
2	短期大学進学(専門職短期大学を含む)	355	2.7
3	専門学校進学	1,979	15.2
4	就職	1,062	8.1
5	その他	332	2.5
	不明	62	0.5
	N（％ <sup>^</sup> - <sub>ス</sub> ）	13,047	100





(問4以降は、問3で「1 大学進学(専門職大学を含む)」、「2 短期大学進学(専門職短期大学を含む)」、「3 専門学校進学」のいずれかの回答者(11,591人)に対する設問で、「4. 就職」「5. その他」を除く。

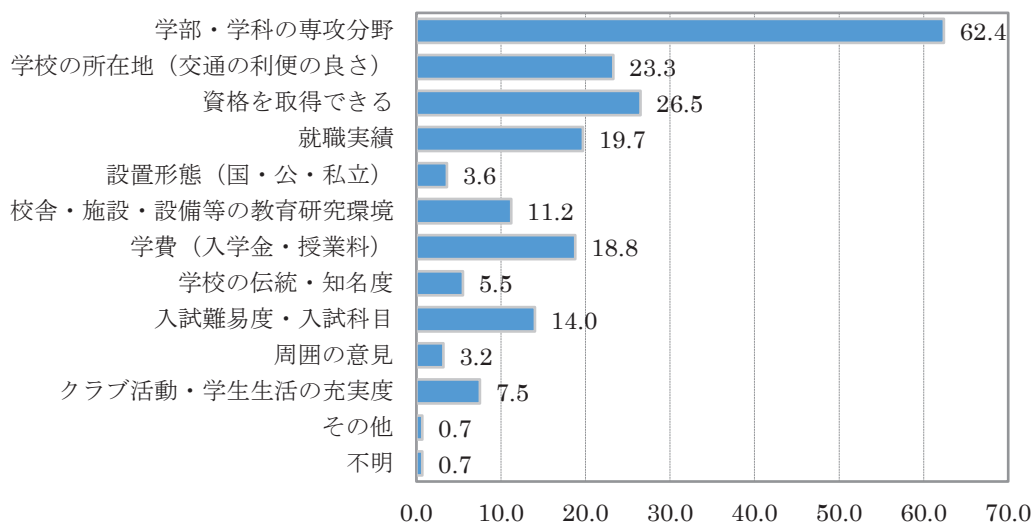
#### 問4 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。(複数回答)

回答者が進路決定時に重視する事柄については、「学部・学科の専攻分野」が7,233人(62.4%)と最も多く、「資格を取得できる」が3,069人(26.5%)、「学校の所在地(交通の利便の良さ)」が2,699人(23.3%)と続いている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学部・学科の専攻分野	7,233	62.4
2	学校の所在地(交通の利便の良さ)	2,699	23.3
3	資格を取得できる	3,069	26.5
4	就職実績	2,279	19.7
5	設置形態(国・公・私立)	412	3.6
6	校舎・施設・設備等の教育研究環境	1,296	11.2
7	学費(入学金・授業料)	2,183	18.8
8	学校の伝統・知名度	641	5.5
9	入試難易度・入試科目	1,617	14.0
10	周囲の意見	374	3.2
11	クラブ活動・学生生活の充実度	875	7.5
12	その他	84	0.7
	不明	84	0.7
	N (% <sup>^</sup> -)	11,591	100

※複数回答のため、合計は11,591(100%)にならない。

問4 進学先を決定する際に重視する事柄 N=11,591



（「12 その他」の回答）

家からの距離	面白いこと	親の意見
学食	教授	国家試験の合格率
サークルしながらバイトができる	自分の夢に近いかどうか	自分にあっているか
自分の興味	自分のしたいことをできる	将来職につながる
女性率	好きなこと	生徒、先生の良さ
楽しそうか	男女比	場所
早く受験の合格がわかる	雰囲気	留学

**問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から第2希望まで選んでください。**

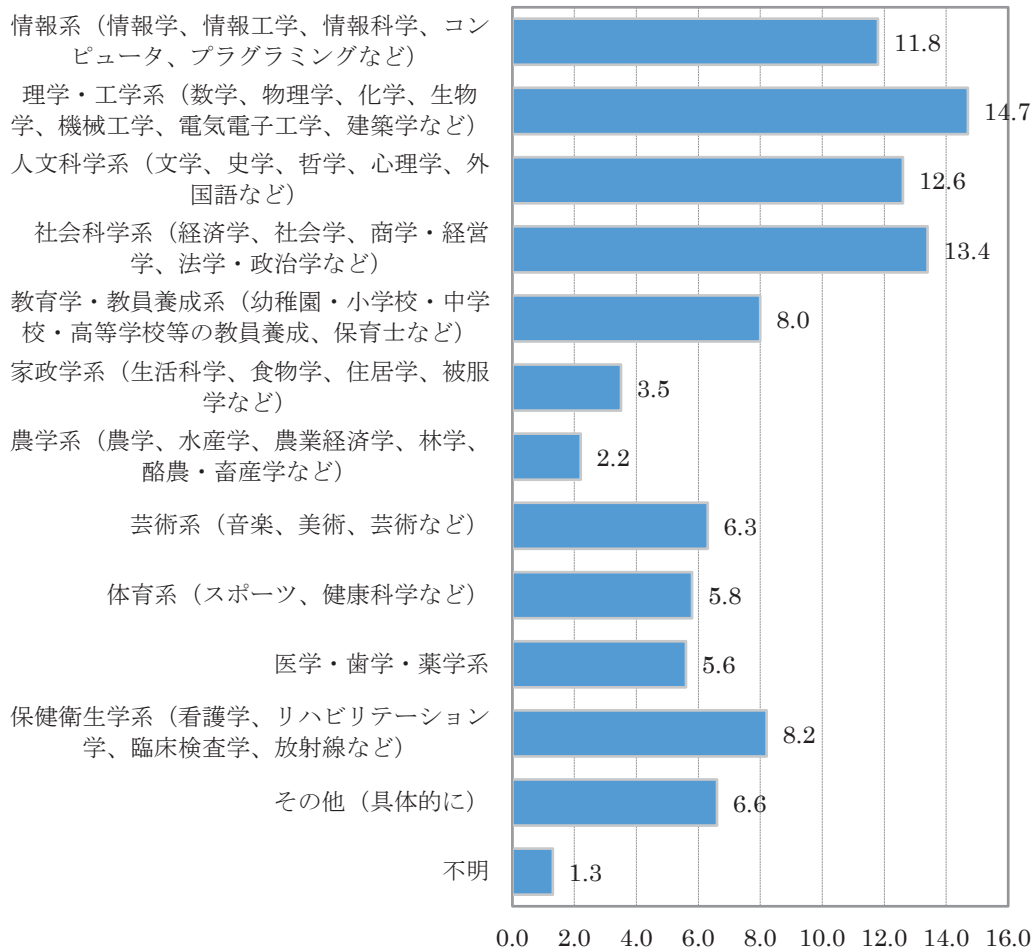
回答者の卒業後の進学希望分野については、希望順位別に集計を行い、以下の通りとなった。

第1希望について、「理学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学など）」が1,706人（14.7%）と最も多く、「社会科学系（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学など）」が1,556人（13.4%）、「人文科学系（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が1,455人（12.6%）、「情報系（情報学、情報工学、情報科学、コンピュータ、プログラミングなど）」が1,369人（11.8%）と続いている。

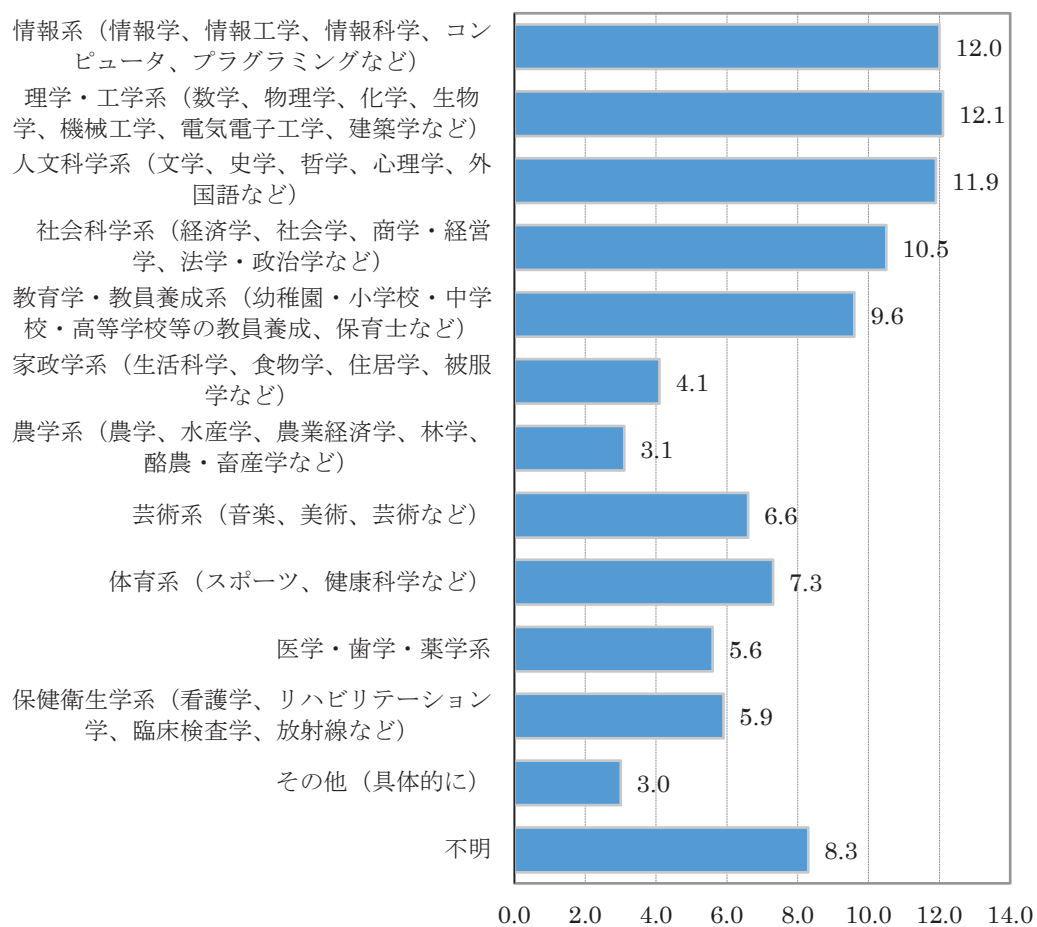
第2希望については、「理学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学など）」が1,403人（12.1%）、「情報系（情報学、情報工学、情報科学、コンピュータ、プログラミングなど）」が1,390人（12.0%）、「人文科学系（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）」が1,375人（11.9%）と続いている。

No.	カテゴリ	第1希望		第2希望	
		件数	%	件数	%
1	情報系（情報学、情報工学、情報科学、コンピュータ、プログラミングなど）	1,369	11.8	1,390	12.0
2	理学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学など）	1,706	14.7	1,403	12.1
3	人文科学系（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）	1,455	12.6	1,375	11.9
4	社会科学系（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学など）	1,556	13.4	1,215	10.5
5	教育学・教員養成系（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）	932	8.0	1,115	9.6
6	家政学系（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	405	3.5	472	4.1
7	農学系（農学、水産学、農業経済学、林学、酪農・畜産学など）	255	2.2	359	3.1
8	芸術系（音楽、美術、芸術など）	727	6.3	770	6.6
9	体育系（スポーツ、健康科学など）	674	5.8	851	7.3
10	医学・歯学・薬学系	647	5.6	645	5.6
11	保健衛生学系（看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、放射線など）	949	8.2	686	5.9
12	その他（具体的に）	768	6.6	351	3.0
	不明	148	1.3	959	8.3
	N（% <sup>^</sup> -s）	11,591	100	11,591	100

問5-1 進学希望分野 第1希望 N=11,591



問5-2 進学希望分野 第2希望 N=11,591



(「12 その他」の回答)

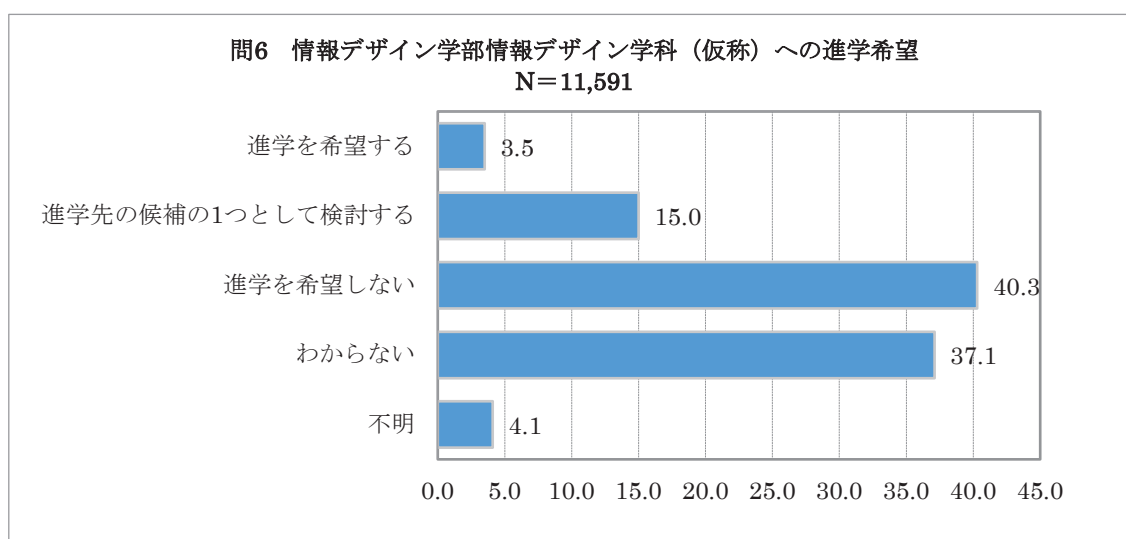
第1希望：(複数件数回答有)		
AD	CA	eスポーツ
アクション俳優	アニメーション	犬の訓練士
異文化コミュニケーション	イラストデザイン	イラストレーター
医療	医療事務	インテリアデザイン
ウェディングプランナー	運輸	エアライン
映画	英語	栄養
エステ	演劇	エンターテイメント
お菓子	音楽	介護
海洋学	カメラマン	環境
観光	韓国語	看護系
企画系	着付け	救急救命科
教養学	グラフィック・デザイン	グランドスタッフ
グランドハンドリング	クルーザー	経済学
警察官	芸能	ゲーム
ゲームCG	ゲームプランナー	化粧品開発
建築学系	航海士	航空
航空整備	交通観光	公務員
公務員(自衛隊)	コーディネイト	語学
国際	国際観光	コミックイラスト
コミュニケーション学科	コンサートイベント系	コンサート関係(マネージャー・コンサート設立・サポート)
サービス	飼育	児童教育学部、専門
自動車	社会福祉学	獣医学
柔道整復学	醸造科	情報医療
消防関係の知識を増やしたい	消防士	照明
食物栄養学	食料品関係	神道文化
心理	水族館	スタイリスト
スポーツ医学	製菓	製パン
生命科学	声優	接客
設備系	脱炭素	食べ物
タレントマネージャー	ダンス	テーマパーク系
デザイン	鉄道	テレビ関係
動画編集	動物看護	動物管理科学
動物飼育	動物美容	動物理学療法士
ドッグトレーナーなど	トリマー	人間科学
ネイル	パティシエ	ハワイインターナショナルカレッジ
ビジネスマネジメントホスピタリティ	美容	美容系(ネイリスト)
美容系(美容学科、トータルビューティー学科)	表現メディア	美容師
ビル管理職	ファッション	ファッション造形等
福祉学	服飾	舞台芸術
舞台もしくはTVの裏方の関係の仕事	仏教学	ブライダル
ブライダル専門学校	ブライダルプランナー	ブライダルメイク
プランナー	ヘアスタイリスト	ヘアスタイル
ヘアメイク	法学	ホスピタリティ
ホテル	ホテルマン	ホテル接客
マスコミ・メディア・本(出版)	マネジメント	まんが科
メイクアップアーティスト	メディア	洋服
理学療法士	リベラルアーツ	理容
料理	異文化理解	衣類
運輸	映像系	栄養
環境	観光	空間デザイン

芸能	国際	雑誌編集
視能訓練士	児童学	政治学
生物系	調理	動物看護学
動物看護師	動物関係	秘書
表現	理学療法士	
第2希望：（複数件数回答有）		
CG関係	TV関係（スタッフ）	アニメ関係
アパレル	ウェディングプランナー	宇宙波動医学
裏方など	エアライン	映像
栄養学	エステティシャン	演劇
エンターテイメント	音楽系	音響
介護	外国語専門	介護士
体の動きを数学的視点から考える	観光	管理栄養士
キャラクター・イラストデザイン	経済	芸能
ゲーム関連	建築学	航空科
公務員	語学	国際
国際観光	国際教養	国際経営
自動車系	社会福祉	社会福祉士
写真関係	獣医学	就職
柔整	消防士	女優
神道	神道文化学	心理学
スイーツ系	スポーツ関係	生物関連
声優	専門学校	総合政策
他大	ダンス	調理
デザイン	鉄道	鉄道サービス学科
テレビ関係の仕事	天文学	動物看護
動物看護師	動物系	都市環境
土木工学科	トリマー	ネイル系
パティシエ	秘書	美容関係
表現力等	美容師	美容専門学校
ファッション	ファッションデザイン	ファッションビジネス科
福祉系	服飾	ブライダル
プログラマー育成	文化構想	ペットショップ
防衛学	ホテル	ホテルブライダル
マンガ	メイク	メイクアップアーティスト
メディア	理容系	歴史
運輸科	映像	警察官
国際	照明	神学
水族館	動物園	舞台表現
留学		

**問 6 あなたは東京情報デザイン専門職大学（仮称）を受験して合格した場合、情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学を希望しますか。**

情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望については、「進学を希望する」が406人（3.5%）、「進学先の候補の1つとして検討する」が1,735人（15.0%）の結果となった。「進学を希望する」と回答した学生に限定しても、入学定員160名に対し、2.5倍をも上回る進学意向は把握することができた。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	進学を希望する	406	3.5
2	進学先の候補の1つとして検討する	1,735	15.0
3	進学を希望しない	4,674	40.3
4	わからない	4,306	37.1
	不明	470	4.1
	N（% <sup>^</sup> -ス）	11,591	100





(問 7 は、問 6 で「1. 進学を希望する」、「2. 進学先の候補の1つとして検討する」のいずれかの回答者 (2,141 人) に対する設問。

**問7 東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）では、卒業後の進路として以下の進路を想定しています。あなたが興味のある進路はどれですか。**

**次の中から第2希望まで選んでください。**

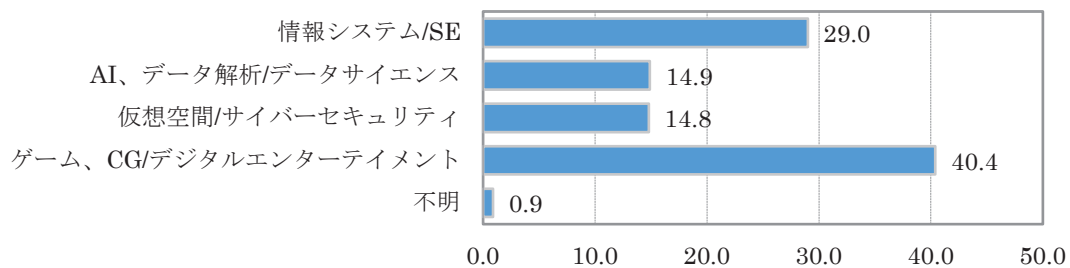
問6で「1. 進学を希望する」「2. 進学先の候補の1つとして検討する」のいずれかを選択した回答者 (2,141 人) のうち、興味を示した専門職大学卒業後の想定進路について希望順位別に集計を行った。

第1希望について「ゲーム、CG/デジタルエンターテインメント」に興味を示した学生が最も多く、865人 (40.4%)、次いで「情報システム/SE」が621人 (29.0%)、「AI、データ解析/データサイエンス」は319人 (14.9%)、「仮想空間/サイバーセキュリティ」が316 (14.8%) と続いている。

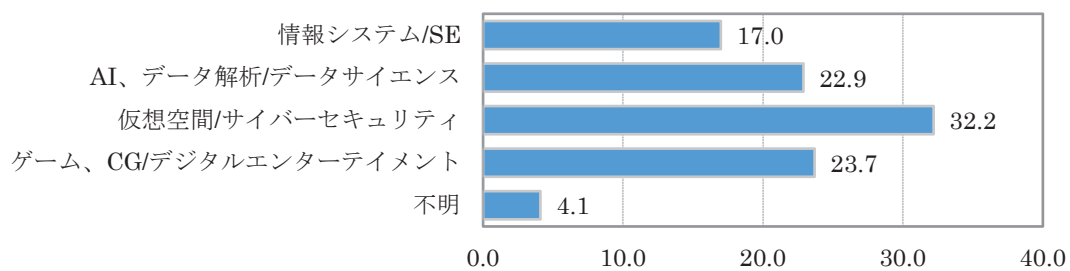
第2希望について、「仮想空間/サイバーセキュリティ」に興味を示した学生が最も多く、690人 (32.2%)、「ゲーム、CG/デジタルエンターテインメント」は、507人 (23.7%)、「AI、データ解析/データサイエンス」は、491人 (22.9%)、「情報システム/SE」は、365人 (17.0) と続いている。

No.	カテゴリ	第一希望		第二希望	
		件数	%	件数	%
1	情報システム/SE	621	29.0	365	17.0
2	AI、データ解析/データサイエンス	319	14.9	491	22.9
3	仮想空間/サイバーセキュリティ	316	14.8	690	32.2
4	ゲーム、CG/デジタルエンターテインメント	865	40.4	507	23.7
	不明	20	0.9	88	4.1
	N (%ベース)	2,141	100	2,141	100

問7-1 卒業後の進路で興味のある進路 第1希望 N=2,141



問7-2 卒業後の進路で興味のある進路 第2希望 N=2,141



○ 問6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望 × 問7 希望進路（第1希望、第2希望）

問6（情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の進学希望）と、問7（卒業後の希望進路）との関連性を把握するため、クロス集計を行った。

問6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望

× 問7-1 卒業後の進路で興味のある進路 第1希望

上段:度数		問7-1 卒業後の進路で興味のある進路 第1希望					
		合計	情報システム/SE	AI、データ解析/データサイエンス	仮想空間/サイバーセキュリティ	ゲーム、CG/デジタルエンターテインメント	不明
下段:%							
問6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望	全体	2,141	621	319	316	865	20
		100.0	29.0	14.9	14.8	40.4	0.9
	進学を希望する	406	184	60	52	100	10
		100.0	45.3	14.8	12.8	24.6	2.5
	進学先の候補の1つとして検討する	1,735	437	259	264	765	10
		100.0	25.2	14.9	15.2	44.1	0.6

問6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望

× 問7-2 卒業後の進路で興味のある進路 第2希望

上段:度数		問7-2 卒業後の進路で興味のある進路 第2希望					
		合計	情報システム/SE	AI、データ解析/データサイエンス	仮想空間/サイバーセキュリティ	ゲーム、CG/デジタルエンターテインメント	不明
下段:%							
問6 情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学希望	全体	2,141	365	491	690	507	88
		100.0	17.0	22.9	32.2	23.7	4.1
	進学を希望する	406	55	136	82	93	40
		100.0	13.5	33.5	20.2	22.9	9.9
	進学先の候補の1つとして検討する	1,735	310	355	608	414	48
		100.0	17.9	20.5	35.0	23.9	2.8

## ○ 問6の情報デザイン学部情報デザイン学科進学意向の高校内訳

次に示すのは、問6において、情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）に「進学を希望する」「進学先の候補の1つとして検討する」と回答した高校ごとの学生数の内訳となる。

	進学を希望する	進学先の候補の 1つとして検討する	合計
全体	406	1,735	2,141
1 大智学園高等学校 東京校（学習センター）	5	14	19
2 あずさ第一高等学校 立川キャンパス	-	5	5
3 淑徳S C 高等部	-	5	5
6 あずさ第一高等学校 野田本校	1	4	5
7 K T C おおぞら高等学院 千葉キャンパス	-	7	7
8 東海大学付属相模高等学校	15	33	48
9 埼玉栄高等学校	-	11	11
10 城西大学附属城西高等学校	-	7	7
11 千葉県立銚子商業高等学校	9	23	32
12 麗澤高等学校	1	3	4
13 昭和第一高等学校	4	11	15
14 安田学園高等学校	1	14	15
15 浦和学院高等学校	3	18	21
16 東京成徳大学高等学校 高等部	3	12	15
17 日出学園高等学校	8	12	20
18 立正大学付属立正高等学校	1	19	20
19 工学院大学附属高等学校	9	62	71
20 京華女子高等学校	5	30	35
21 千葉敬愛高等学校	2	14	16
22 杉並学院高等学校	2	3	5
23 横浜市立東高等学校	2	5	7
24 八千代松陰高等学校	-	9	9
25 足立学園高等学校	9	28	37
26 神奈川県立七里が浜高等学校	3	10	13

	進学を希望する	進学先の候補の 1つとして検討する	合計
27 東京電機大学高等学校	2	20	22
28 二松学舎大学附属高等学校	6	35	41
29 千葉英和高等学校	12	20	32
30 上野学園高等学校	5	28	33
31 中央学院高等学校	1	27	28
32 神田女学園高等学校	2	8	10
33 渋谷教育学園渋谷高等学校	3	18	21
34 向上高等学校	2	16	18
35 潤徳女子高等学校	1	13	14
36 東京都立広尾高等学校	6	19	25
37 浦和実業学園高等学校	5	22	27
38 埼玉県立大宮南高等学校	2	13	15
39 北豊島高等学校	1	13	14
40 敬愛学園高等学校	2	38	40
41 啓明学園高等学校	2	8	10
42 横浜商科大学高等学校	7	40	47
43 京華商業高等学校	14	25	39
44 東京学館高等学校	2	23	25
45 正則学園高等学校	8	19	27
46 神奈川県立荏田高等学校	5	36	41
47 日本体育大学柏高等学校	1	2	3
48 東京都立晴海総合高等学校	4	27	31
49 千葉県立柏の葉高等学校	3	17	20
50 千葉県立君津高等学校	3	29	32
51 鎌倉学園高等学校	2	16	18
52 東京学館浦安高等学校	11	32	43
53 神奈川県立神奈川総合産業高等学校	-	11	11
54 山村国際高等学校	7	26	33
55 千葉経済大学附属高等学校	11	57	68

	進学を希望する	進学先の候補の 1つとして検討する	合計
57 共栄学園高等学校	-	6	6
58 千葉県立松戸高等学校	1	8	9
59 川崎市立川崎総合科学高等学校	7	44	51
60 岩倉高等学校	2	14	16
61 神奈川県立相模原総合高等学校	4	10	14
62 東京学館船橋高等学校	17	27	44
63 拓殖大学紅陵高等学校	15	21	36
64 東京都立足立東高等学校	5	16	21
65 我孫子二階堂高等学校	8	13	21
66 木更津総合高等学校	19	33	52
67 桜林高等学校	4	17	21
68 鴨川令徳高等学校	6	6	12
69 大東学園高等学校	2	5	7
70 千葉県立野田中央高等学校	1	8	9
71 千葉聖心高等学校	2	12	14
72 埼玉県立鷺宮高等学校	3	22	25
73 千葉県立一宮商業高等学校	3	19	22
74 東京都立東高等学校	6	27	33
75 修徳高等学校	7	28	35
76 安部学院高等学校	1	13	14
77 千葉県立船橋古和釜高等学校	3	19	22
78 千葉県立千葉工業高等学校	-	4	4
79 千葉県立木更津東高等学校	-	12	12
80 千葉県立市川工業高等学校	-	11	11
81 埼玉県立浦和工業高等学校	3	26	29
82 江戸川女子高等学校	1	6	7
83 東京表現高等学校 MIICA	-	2	2
84 神奈川県立釜利谷高等学校	6	22	28
85 埼玉県立三郷工業技術高等学校	1	4	5

	進学を希望する	進学先の候補の 1つとして検討する	合計
86 千葉県立成田西陵高等学校	4	13	17
87 柏市立柏高等学校	-	4	4
88 専修大学松戸高等学校	1	7	8
89 東海大学附属浦安高等学校	-	5	5
90 相洋高等学校	3	13	16
91 日本女子体育大学附属二階堂高等学校	6	9	15
92 藤村女子高等学校	3	14	17
93 東京都立飛鳥高等学校	1	4	5
94 東星学園高等学校	-	4	4
95 和光高等学校	1	6	7
96 東京家政学院高等学校	1	5	6
97 和洋九段女子高等学校	-	13	13
98 東京立正高等学校	5	16	21
99 国土館高等学校	3	8	11
100 下北沢成徳高等学校	1	9	10
101 麴町学園女子高等学校	3	27	30
102 東京高等学校	10	33	43
103 関東国際高等学校	9	9	18
104 東洋女子高等学校	3	17	20
105 東京都立向丘高等学校	2	-	2
106 八雲学園高等学校	3	8	11
107 東京都立成瀬高等学校	4	26	30
108 桐朋女子高等学校	3	13	16

<アンケート調査票・リーフレット>



## 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート（無記名式）

学校法人滋慶学園では、令和5年4月に、新たに「東京情報デザイン専門職大学（仮称）」の開設を予定しております。

このアンケートは、無記名式で、高校生の皆さんの高校卒業後の進路などについてお聞きし、新大学設置のための基礎資料とするものです。回答にあたっては、別紙のリーフレット及び以下の「養成する人物像」をご覧ください。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ使い、外部の人に見せたりすることはありません。回答した内容によって、将来の選択について制限されることはございません。

回答は設問の順に該当する番号を回答欄に直接記入してください。一部の設問では回答を直接記入してください。

また、概要については現在構想中であり、変更される場合があります。

◆ 開設予定大学 : 東京情報デザイン専門職大学（仮称）  
情報デザイン学部 情報デザイン学科 （入学定員 160名）

◆ 開設予定時期 : 令和5年4月

◆ 養成する人物像 : 情報・情報技術（IT）によって、ビジネス・社会の仕組みをデザイン（企画・立案・設計）し、新しい価値の創造に貢献できる人材を育成します。

-----以下の設問にお答えください（裏面にも設問があります）-----

問1 あなたの性別についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 男性
- 2 女性

【回答欄】

問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- |        |            |
|--------|------------|
| 1 東京都  | 4 埼玉県      |
| 2 千葉県  | 5 茨城県      |
| 3 神奈川県 | 6 その他（具体的に |

問3 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

- |                          |   |       |      |   |                |
|--------------------------|---|-------|------|---|----------------|
| 1 大学進学<br>(専門職大学を含む)     | } | 問4以下へ | 4 就職 | } | これでアンケートは終了です。 |
| 2 短期大学進学<br>(専門職短期大学を含む) |   |       |      |   |                |
| 3 専門学校進学                 |   |       |      |   |                |

- |       |   |
|-------|---|
| 4 就職  | } |
| 5 その他 |   |

(裏面に続く)

問3で「1, 2, 3」を選択された方は問4に進んでください。「4, 5」を選択された方は、アンケートは終わりになります。】

問4 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から**2つまで**選んでください。

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 学部・学科の専攻分野       | 7 学費（入学金・授業料）     |
| 2 学校の所在地（交通の利便の良さ） | 8 学校の伝統・知名度       |
| 3 資格を取得できる         | 9 入試難易度・入試科目      |
| 4 就職実績             | 10 周囲の意見          |
| 5 設置形態（国・公・私立）     | 11 クラブ活動・学生生活の充実度 |
| 6 校舎・施設・設備等の教育研究環境 | 12 その他（ )         |


問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**第2希望まで**選んでください。

- |   |      |
|---|------|
| 1 情報系（情報学、情報工学、情報科学、コンピュータ、プログラミングなど）     | 第1希望 |
| 2 理学・工学系（数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学など） |      |
| 3 人文科学系（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）               |      |
| 4 社会科学系（経済学、社会学、商学・経営学、法学・政治学など）          | 第2希望 |
| 5 教育学・教員養成系（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など） |      |
| 6 家政学系（生活科学、食物学、住居学、被服学など）                |      |
| 7 農学系（農学、水産学、農業経済学、林学、酪農・畜産学など）           |      |
| 8 芸術系（音楽、美術、芸術など）                         |      |
| 9 体育系（スポーツ、健康科学など）                        |      |
| 10 医学・歯学・薬学系                              |      |
| 11 保健衛生学系（看護学、リハビリテーション学、臨床検査学、放射線など）     |      |
| 12 その他（具体的に )                             |      |


**問6以降は、設置構想中の「東京情報デザイン専門職大学（仮称）」についておたずねします。  
アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。**

問6 あなたは東京情報デザイン専門職大学（仮称）を受験して合格した場合、情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）への進学を希望しますか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- |                    |                                     |
|--------------------|-------------------------------------|
| 1 進学を希望する          | } 問7へお進みください。                       |
| 2 進学先の候補の1つとして検討する |                                     |
| 3 進学を希望しない         | } これでアンケートは終了です。<br>ご協力ありがとうございました。 |
| 4 わからない            |                                     |

--

問7 **問6で「1 進学を希望する」「2 進学先の候補の1つとして検討する」を選択された方におたずねします。**  
東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）では、卒業後の進路として以下の進路を想定しています。あなたが興味のある進路はどれですか。次の中から**第2希望まで**選んでください。

- |                        |      |
|------------------------|------|
| 1 情報システム／SE            | 第1希望 |
| 2 AI、データ解析／データサイエンス    |      |
| 3 仮想空間／サイバーセキュリティ      |      |
| 4 ゲーム、CG／デジタルエンターテイメント | 第2希望 |


\*\*\* 以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 \*\*\*

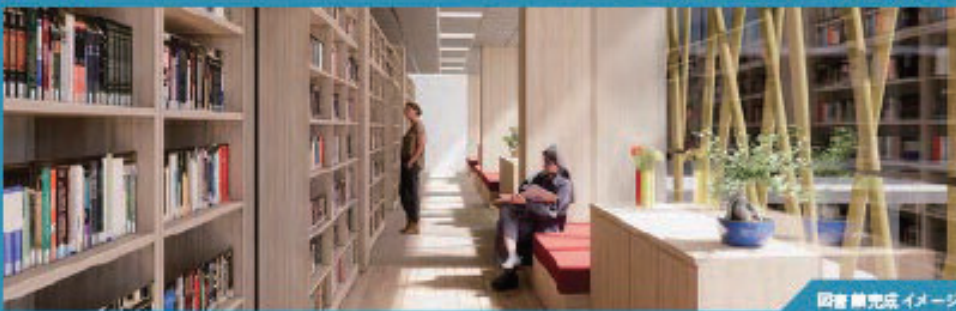
## 専門職大学とは

豊かな創造力と高度な実践力を併せ持つ人材の育成を目的に、  
約55年ぶりに新設された大学制度。

従来の大学が行う学問的色彩の強い教育と、  
専門学校が行う実践的教育の双方を兼ね備えた特徴がある。



校舎完成イメージ



図書館完成イメージ



カフェテリア完成イメージ



開学予定地

学校法人 滋慶学園

## 東京情報デザイン専門職大学

〔開学予定地〕 〒132-0034 東京都 江戸川区 小松川 2-7

〔設立準備室〕 〒134-0088 東京都 江戸川区 西葛西 5-3-13  
東京ホテル・ウェディング&IR専門学校内  
Tel: 03-6808-3201 Mail: tid@jiket.com.jp

# DESIGN A BETTER FUTURE

豊かな創造力とグローバル人材



**TID**

2023年4月開学予定

学校法人 滋慶学園 **東京情報デザイン専門職大学**

(大学名仮称・設置構想中)

**Tokyo Professional University of Information Design**

※設置構想中のため、大学名や掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

情報と情報技術で、新しい価値を創造する

# 東京情報デザイン専門職大学 (大学名称・設置構想中)

[工学] 情報デザイン学部 (仮称) / 情報デザイン学科 (仮称)

【修業年限】4年 【定員】160名

## 地域とともに発展する 江戸川区初の4年制大学が誕生



2023年4月に江戸川区の豊かな環境に、新しい大学の開校が予定されています。  
本学は情報と情報技術によって、事業をデザイン(企画・立案・設計)し、  
ビジネス・産業・社会における新しい価値の創造に貢献できる人材を育成します。

## DX新時代に求められる「情報デザインエンジニア」へ

### 情報デザインエンジニアとは?

情報技術分野での情報の収集・蓄積し、技術の理解・開発と共に、事業に必要な情報技術化を促進し、他領域の情報とも連携させ、新しい産業や社会をデザイン(設計)し、新しい価値の創造をおこなう技術者、工学者のことを意味します。

### 本学の教育モデル

情報・情報技術と  
ビジネスを統合し、  
社会のDX化を  
実現する



### 専門職大学としての教育の特徴

#### 1 実践的で質の高い 職業教育

職業を重視した実践的な教育で、  
理論(学術)と実践(ビジネス)の  
双方をバランスよく学習。  
社会・産業における課題を発見し、  
解決する力を高めます。

#### 2 豊かな創造力を磨ける 環境と校舎

工学系に特化した最先端の分野を、  
充実した設備の心地よい新校舎で  
学ぶことができます。  
一人ひとりの感性が刺激され、  
創造力を養える環境です。

#### 3 企業の現場で働く 「産地実務実習」

本学が定める分野の企業で、  
1人あたり600時間以上の  
インターンシップを行います。  
実施期間は3年次、4年次の  
2回に分けて設定されます。

#### 4 経験豊富な 教授陣の学修サポート

情報・情報技術の分野に精通した  
実務家の教員が、ビジネスへデザイン  
展開できる学びをサポート。  
学生のコミュニケーションスキルも  
磨きます。

### 「情報デザインエンジニア」に求められる力

産業・ビジネスに必要な情報学の知識・技術を  
主体的に獲得する力

情報学の専門性と創造力を活かし、  
ビジネスへの適用を追究する力

自律的なキャリア意識を持ち、  
他の組織や人材と連携・協力で#る力



### 類似する大学及び学費

東京情報デザイン 専門職大学(仮称)	【初年度合計】1,750,000円	東京国際工科専門職大学 情報工学部・情報工学科	【初年度合計】1,740,000円
明治大学 理工学部	【初年度合計】1,806,000円	青山学院大学 理工学部 情報テクノロジー学科	【初年度合計】1,849,000円

※各校ホームページより引用

## DX時代に「情報デザインエンジニア」が必要とされ、活躍が求められる業界例



### 医療 × Information & IT

スマートフォンを利用した健康管理アプリの開発や、過疎地に住む高齢者へのオンライン診療サービスの提供など、先進のメソッドで、人びとの健康に貢献します。



### 農業 × Information & IT

AIアプリが作物の形状や色から成長度合いを解析し、収穫時期を判断。収穫はロボットが行うなどのテクノロジーで、農家の作業の省力・軽労化を実現します。



### 金融 × Information & IT

事業に共感する出資者をWEB上で募るクラウドファンディングなどがビジネスの可能性を拡げ、スマートペイメントや仮想通貨が人間生活の利便性を高めます。



### スポーツ × Information & IT

タイムや距離などの情報をリアルタイムに確認するデバイスが競技者をサポートし、VR等を応用した技術が自宅での臨場感溢れるスポーツ観戦体験を提供します。



### 教育 × Information & IT

タブレットの導入による教科書のデジタル化や、ビッグデータを活用して個々の学生に最適な学習内容を提示するアダプティブラーニングなどが教育を進化させます。



### エンタメ × Information & IT

ARやVRを活用したライブイベント、来場者のアクションに反応するインタラクティブ・ビジュアルコンテンツなどが、エンターテインメントの新たな可能性を拓けます。

## 本学で学び 将来活躍できる職種



### 情報システム/SE

業務のIT化、IoTを使った新しいサービスの企画・設計・開発



### AI、データ解析/ データサイエンス

AIを活用した業務の自動化、業務改善の企画・設計・開発



### 仮想空間 サイバーセキュリティ

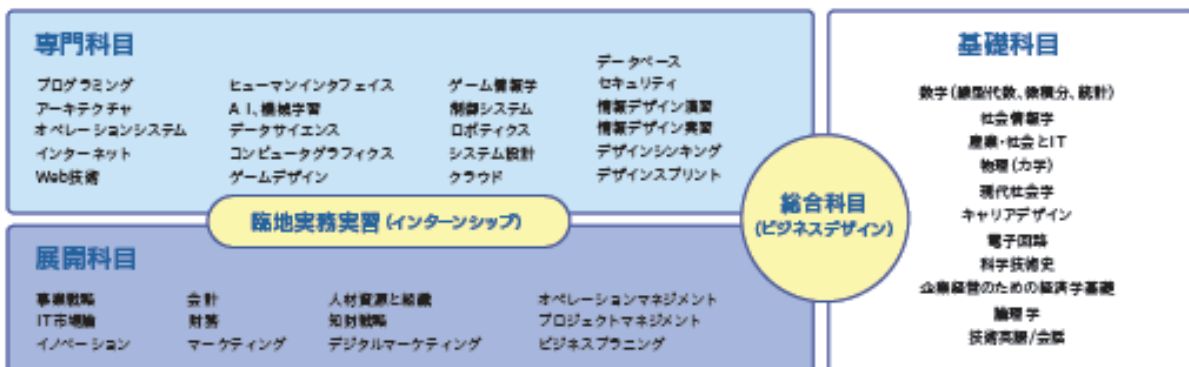
企業や組織の情報を守るセキュリティの企画・設計・開発



### ゲーム、CG/ デジタルエンターテインメント

ゲーム・CG・アート等のプログラミングやデザインの企画・設計・開発

## 情報・情報技術、デザイン、ビジネスの3本柱で、高度な実践力と豊かな創造力を育む



単に「プログラムができる」「ツールが使える」だけではなく、バックボーンとなる基礎科目(数学・物理、回路・通信)や展開科目(ビジネス、サービスと技術の位置づけ)を理解し、活用できる学術と実践をバランス良く学ぶ。

※授業編成中のため、上記掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

# 【資料10】開学に向けた広報スケジュール及び数値目標

東京情報デザイン専門職大学 広報スケジュール

年始めに数字クリア

対策	内容	2021年							2022年			
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
公式サイト	企画・更新内容	運用開始			LP⇒サイトマップ修正	申請書提出の連絡(認可申請中)	建築関係内容更新		2023年度広報開始			
	セッション数/目標(月間)	815	3908	7399	2321	3500	2500	6000	4000	3500	5000	5500
	資料請求				資料請求開始(構想冊子・説明会案内)	協力企業媒体請求開始			Web広告パンフレット制作準備			
	請求数/目標(延べ数)				2	20(22)	50(72)	100(172)	250(250)	400(650)	500(1150)	200(1350)
	オープンキャンパス/説明会				オンライン説明会毎週土曜日開催	オープンキャンパス開始月末日曜日説明会	月末日曜オープンキャンパス土日説明会	月末日曜オープンキャンパス土日説明会	月末日曜オープンキャンパス土日説明会	月末日曜オープンキャンパス土日説明会	春のオープンキャンパス(春休み)土日説明会	月末日曜オープンキャンパス土日説明会
	参加者数/目標(延べ数)				1(1)	5(6)	5(11)	10(21)	25(25)	30(65)	50(105)	20(125)

SNSは延べ数字継続

SNS	Twitter			運用開始	大学生活、大学情報、地域連携、広報関連							
	フォロワー数/目標(延べ数)				4(4)	8(12)	10(22)	15(37)	13(50)	50(100)	50(150)	30(180)
	Instagram			運用開始	大学生活、大学情報、地域連携、広報関連							
	フォロワー数/目標(延べ数)				6(6)	8(12)	10(22)	15(37)	13(50)	50(100)	50(150)	30(180)
	LINE			運用開始	高校生告知関連、高校生相談窓口							
	友だち数/目標(延べ数)				8(8)	21(29)	30(59)	45(104)	56(160)	125(285)	130(415)	90(505)
	YouTube			運用開始 開学予定地動画	開学予定までのアクセス	専門職大学とは 学園理念 大学理念説明	情報学とは デザイン学とは 情報デザインとは	大学カリキュラム IT用語説明	目指す業界の先輩 特集	教授予定者取材 IT用語説明	目指す業界の先輩 特集	江戸川区コラボ 教授予定者取材 IT用語説明
チャンネル登録者数/目標(延べ数)				3(3)	5(8)	10(18)	15(33)	30(63)	25(88)	42(140)	30(170)	

	高校訪問	1都3県 アンケートのお願い	1都4県 アンケートのお願い				アンケートお礼 申請書提出報告			春のオープンキャンパス告知 状況報告		
	訪問数/目標(延べ数)	70(70)	54(124)				50(174)	50(224)		30(30)	30(60)	30(90)
	教員向け学校説明会							専門職大学 本学園、大学説明 (東京)			専門職大学、本学園、 大学説明(東京近郊3県)	
	参加者数/目標(延べ数)							20(20)			30(30)	
対策	内容	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月

2022年								2023年			
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
サイトリニューアル準備			認可後 サイトリニューアル 開学の案内	統合型選抜試験 願書受付開始		推薦型選抜試験 願書受付開始		一般選抜試験 願書受付開始 2024年度広報開始			
6000	6000	5500	7000	3500	4000	4500	6000	4000	3500	5000	
		高校2年生向け資料 請求開始	認可後高校3年生向け 募集要項送付								
300(1650)	400(2050)	600(2650)	250(2900)	150(3050)	200(3250)	150(34000)	100(3500)	300(300)	350(650)	500(1150)	
GWオープンキャンパス 土日説明会	月末日曜オープン キャンパス 土日説明会	夏のオープンキャンパス (夏休み) 土日説明会	夏のオープンキャンパス (夏休み) 土日説明会	月末日曜オープン キャンパス 土日説明会	オープンキャンパス 開始月末日曜 土日説明会	月末日曜オープン キャンパス 土日説明会	月末日曜オープン キャンパス 土日説明会	月末日曜オープン キャンパス 土日説明会	月末日曜オープン キャンパス 土日説明会	春のオープンキャンパス (春休み) 土日説明会	
30(155)	35(190)	40(230)	60(290)	15(305)	20(325)	15(340)	10(350)	30(30)	35(65)	50(115)	
						次年度見直し		SNSは延べ数字継続			
								大学生生活、大学情報、 地域連携、広報関連			
50(230)	50(280)	60(340)	60(400)	30(430)	25(455)	25(480)	20(500)	20(520)	30(550)	50(600)	
						次年度見直し		大学生生活、大学情報、 地域連携、広報関連			
50(230)	50(280)	60(340)	60(400)	30(430)	25(455)	25(480)	20(500)	20(520)	30(550)	50(600)	
						次年度見直し					
120(625)	135(760)	150(910)	150(1060)	90(1210)	70(1280)	40(1320)	30(1350)				
目指す業界の先輩 特集	目指す業界の先輩 特集	本学のDP/CP/AP	出願・入試について (総合型選抜)	活動報告書き方 学修計画書き方 PRシート書き方	出願・入試について (推薦型選抜)	目指す業界の先輩 特集	出願・入試について (一般選抜)	目指す業界の先輩 特集	教授予定者取材 IT用語説明	目指す業界の先輩 特集	
50(220)	50(270)	30(300)	30(330)	30(360)	30(390)	50(440)	30(470)	50(520)	30(550)	50(600)	
	夏のオープンキャンパス 告知 状況報告			認可報告 募集要項配布					春のオープンキャンパス 告知 開学状況報告		
30(120)	40(150)	40(190)		10(200)	30(230)	30(260)	20(280)		30(30)	30(60)	
		専門職大学 本学園、大学説明 (東京、神奈川)	専門職大学 本学園、大学説明 (埼玉、千葉)				専門職大学 本学園、大学説明 (東京)			専門職大学、本学 園、大学説明(東京 近郊3県)	
		30(60)	30(90)				20(110)			30(30)	
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月

開学



## 【資料11】類似する大学の学費

大学	学部	学科	学費
早稲田大学	基幹理工学部	情報通信学科	¥1,706,000
慶応義塾大学	理工学部	情報工学科	¥1,860,000
東京理科大学	工学部	情報科学科	¥1,660,000
明治大学	理工学部	機械情報工学科	¥1,786,000
中央大学	理工学部	情報工学科	¥1,823,000
青山学院大学	理工学部	情報テクノロジー学科	¥1,843,000
工学院大学	情報学部	情報デザイン学科	¥1,640,000
東京電機大学	システムデザイン工 学部	情報システム学科	¥1,651,000
芝浦工業大学	デザイン工学部	デザイン工学科	¥1,762,000
東京工科大学	コンピューターサ イエンス学部		¥1,546,000
日本大学	工学部	情報工学科	¥1,500,000
東洋大学	情報連携学部	情報連携学科	¥1,500,000
創価大学	理工学部	情報システム学科	¥1,500,000
東海大学	情報通信学部	情報メディア学科	¥1,604,000
帝京大学	理工学部	情報電子工学科	¥1,651,000
東京工芸大学	工学部	情報コース	¥1,550,000
情報経営イノベーション 専門職大学	情報経営イノベ ーション学部		¥1,600,000
東京国際工科専門職大学	情報工学部	情報工学科	¥1,740,000

出典:旺文社パスナビ(<https://passnavi.evidus.com/>)より引用

出典:各大学公式ホームページより引用

理想の未来を、テクノロジーで創造する。



2023年4月 開学予定



学校法人 滋慶学園

東京情報デザイン専門職大学

(大学名仮称・設置構想中)

※設置構想中のため、大学名や掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。  
-学生確保(資料)-53-

情報と情報技術で、新しい価値を創造する

# 東京情報デザイン専門職大学 (大学名仮称・設置構想中)

[工学] 情報デザイン学部 (仮称) / 情報デザイン学科 (仮称)

【修業年限】4年 【定員】160名

## 地域とともに発展する 江戸川区初の4年制大学が誕生



2023年4月に江戸川区の小松川地区に、新しい大学の開校をしています。本学は情報と情報技術(IT)によって、ビジネス、社会の仕組みをデザイン(企画・立案・設計)し、新しい価値の創造に貢献できる人材を育成します。

## DX新時代に求められる「情報デザインエンジニア」へ

### 情報デザインエンジニアとは？

情報と情報技術(IT)を駆使してビジネスや社会の仕組みをデザイン(企画・立案・設計)し、新しい価値の創造に貢献する技術者・工学者を意味します。



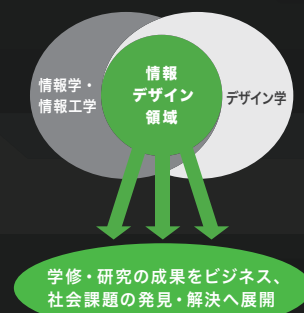
### 「情報デザインエンジニア」に求められる力

1. 産業・ビジネスに必要な情報学の知識・技術を主体的に獲得する力
2. 情報学の専門性と創造力を活かし、ビジネスへの適用を追究する力
3. 自立的なキャリア意識を持ち、他の組織や人材と連携・協力できる力

### 本学の教育モデル

情報学や情報工学と、人間社会におけるモノ・コトの計画～設計を実践する広義のデザイン学を修得。2つの学問領域を融合させ、その成果をビジネス・社会へ幅広く展開できる知識・スキル・コンピテンシーを身につけます。

さまざまな分野で  
新しい価値の創造ができる  
DX人材を育成



## 専門職大学としての教育の特徴

### 1 実践的で質の高い職業教育

職業を重視した実践的な教育で、理論(学術)と実践(ビジネス)の双方をバランスよく学習。社会・産業における課題を発見し、解決する力を高めます。

### 3 企業の現場で働く「臨地実務実習」

本学が定める分野の企業で、1人あたり600時間以上のインターンシップを行います。実施期間は3年次、4年次の2回に分けて設定されます。

### 2 豊かな創造力を磨ける環境と校舎

工学系に特化した最先端の分野を、充実した設備の心地よい新校舎で学ぶことができます。一人ひとりの感性が刺激され、創造力を養える環境です。

### 4 経験豊富な教授陣の学修サポート

情報・情報技術の分野に精通した実務家の教員が、ビジネスへデザイン展開できる学びをサポート。学生のコミュニケーションスキルも磨きます。

### 類似する大学及び学費

#### 東京情報デザイン専門職大学(仮称)

【初年度合計】1,750,000円

東京国際工科専門職大学 情報工学部・情報工学科

【初年度合計】1,740,000円

明治大学 理工学部

【初年度合計】1,806,000円

青山学院大学 理工学部 情報テクノロジー学科

【初年度合計】1,849,000円

# DX時代に「情報デザインエンジニア」が必要とされ、活躍が求められる業界例



## 医療 x Information&IT

スマートフォンを利用した健康管理アプリの開発や、過疎地に住む高齢者へのオンライン診療サービスの提供など。先進のメソッドで、人びとの健康に貢献します。



## 農業 x Information&IT

AIアプリが作物の形状や色から成長度合いを解析し、収穫時期を判断。収穫はロボットが行うなどのテクノロジーで、農家の作業の省力・軽労化を実現します。



## 金融 x Information&IT

事業に共感する出資者をWEB上で募るクラウドファンディングなどがビジネスの可能性を上げ、スマートペイメントや仮想通貨が人間生活の利便性を高めます。



## スポーツ x Information&IT

タイムや距離などの情報をリアルタイムに確認するデバイスが競技者をサポートし、VR等を応用した技術が自宅での臨場感溢れるスポーツ観戦体験を提供します。



## 教育 x Information&IT

タブレットの導入による教科書のデジタル化や、ビッグデータを活用して個々の学生に最適な学習内容を提示するアダプティブラーニングなどが教育を進化させます。



## エンタメ x Information&IT

ARやVRを活用したライブイベント、来場者のアクションに反応するインタラクティブ・ビジュアルコンテンツなどが、エンターテインメントの新たな可能性を上げます。

## 本学で学び 将来活躍できる職種



### 情報システム、ITエンジニア、システムエンジニア、プログラマー

業務のIT化、IoTを使った、新しいサービスの企画・設計・提案



### AI、データ解析、データサイエンス

AIを活用した業務の自動化、業務改善の企画・設計・提案



### 仮想空間、AR、VR、サイバーセキュリティ

企業や組織の情報を守るセキュリティの企画・設計・提案



### ゲーム、CG / デジタルエンターテインメント

ゲーム・CG・アート等のプログラミングやデザインの企画・設計・提案

## 情報・情報技術、デザイン、ビジネスの3本柱で、高度な実践力と豊かな創造力を育む

### 専門科目

プログラミング  
アーキテクチャ  
オペレーションシステム  
インターネット  
Web技術

ヒューマンインタフェイス  
AI、機械学習  
データサイエンス  
コンピュータグラフィクス  
ゲームデザイン

ゲーム情報学  
制御システム  
ロボティクス  
システム設計  
クラウド

データベース  
セキュリティ  
情報デザイン演習  
情報デザイン実習  
デザインシンキング  
デザインスプリント

臨地実務実習 (インターンシップ)

### 展開科目

事業戦略  
IT市場論  
イノベーション

会計  
財務  
マーケティング

人材資源と組織  
知財戦略  
デジタルマーケティング

オペレーションマネジメント  
プロジェクトマネジメント  
ビジネスプランニング

総合科目  
(ビジネスデザイン)

### 基礎科目

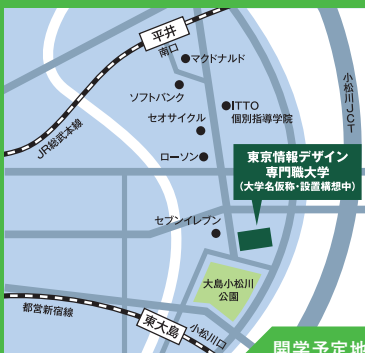
数学 (線型代数、微積分、統計)  
社会情報学  
産業・社会とIT  
物理 (力学)  
現代社会学  
キャリアデザイン  
電子回路  
科学技術史  
企業経営のための経済学基礎  
論理学  
技術英語/会話

単に「プログラムができる」「ツールが使える」だけではなく、バックボーンとなる基礎科目 (数学・物理、回路・通信) や展開科目 (ビジネス、サービスと技術の位置づけ) を理解し、活用できる学術と実践をバランス良く学ぶ。

## 専門職大学とは

豊かな創造力と高度な実践力を併せ持つ人材の育成を目的に、  
約55年ぶりに新設された大学制度。

従来の大学が行う学問的色彩の強い教育と、  
専門学校が行う実践的教育の双方を兼ね備えた特徴がある。



学校法人 滋慶学園

## 東京情報デザイン専門職大学

(大学名仮称・設置構想中)

[開学予定地] 〒132-0034 東京都江戸川区小松川2-7

[設立準備室] 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-3-13

東京ホテル・ウェディング&IR専門学校内

Tel: 03-6808-3201 Mail: tid@jikeicom.jp

# DESIGN A BETTER FUTURE

-学生確保(資料)-56-

## 【資料13】江戸川区と学校法人滋慶学園との包括的連携に関する協定書



### 江戸川区と学校法人滋慶学園との包括的連携に関する協定書

江戸川区（以下「甲」という。）と学校法人滋慶学園（以下「乙」という。）とは、包括的連携に関する基本事項について、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

#### （目的）

第1条 本協定は、甲及び乙が相互に緊密な連携を図り、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進することにより、地域社会の活性化と持続的な発展に寄与することを目的とする。

#### （連携・協力事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的の実現のために、次に掲げる事項について連携し、協力する。

- (1) 教育・研究に関する人的・知的資源の交流に関すること。
- (2) 地域コミュニティ活動の活性化に関すること。
- (3) 災害対応に関すること。
- (4) SDGsの推進に関すること。
- (5) その他、地域社会の持続的な発展に関すること。

#### （守秘義務）

第3条 甲及び乙は、本協定に基づく連携・協力において、相手方から知り得た秘密事項について、本協定の有効期間中及び有効期間終了後を問わず、第三者に対し開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、事前に相手方の承諾を得た場合は、この限りでない。

#### （期間）

第4条 本協定の有効期間は、協定締結の日から5年間とする。ただし、有効期間満了の日の6か月前までに、甲及び乙のいずれからも書面による改廃の申入れがないときは、さらに1年間更新するものとし、その後も同様とする。

#### （協議）

- 第5条 本協定に定める事項に関して、具体的な連携・協力の細目その他の事項については、甲及び乙が協議して別に定めるものとする。
- 2 この協定に定める事項について疑義が生じた場合又はこの協定に定めのない事項について必要がある場合は、甲及び乙が協議して定めるものとする。
  - 3 この協定の内容は、相互の合意により修正される。

上記の合意の証として、本協定書を2通作成し、甲及び乙が署名押印の上、各々1通を保有する。

令和3年3月26日

甲 東京都江戸川区中央一丁目4番1号  
江戸川区長 齊藤 猛



乙 東京都江戸川区東葛西六丁目16番2号  
学校法人滋慶学園  
理事長 浮舟 邦



【資料 14】江戸川区 産業経済部 産業経済課 報告記録

※内部の打ち合わせ議事録のため省略いたします。

【資料15】 「Society 5.0時代を切り拓く人材の育成 ―企業と働き手の成長に向けて―（概要）」 <抜粋>

**Keidanren**  
Policy & Action

## Society 5.0時代を切り拓く人材の育成

― 企業と働き手の成長に向けて ―（概要）

2020年3月17日

一般社団法人 日本経済団体連合会



## はじめに

### ○ いま、企業と働き手を取り巻く環境は大きく変化

- ➡ わが国では、人口減少が急速に進行し、地域経済の停滞や労働力不足の問題が深刻化。また、経済のグローバル化が進展
- ➡ AIやIoT、ビッグデータなどデジタル技術の目覚ましい発展は、既存の産業やビジネスモデルはもとより、社会全体を革新
  - 企業が飛躍的な成長を遂げるためには、デジタル技術を活用しながら、企業や業種の枠を越えて連携し、顧客や社会が求める価値を実現することが不可欠
  - デジタル技術の活用がさらに進むことで、組織や働き方、働き手に求められる役割は大きく変わっていく
  - 個々の業務の遂行方法や必要なスキルは非連続的に変化し、知恵や創造力、コミュニケーション力などがより求められるようになっていく
- ➡ 企業で働く人材のダイバーシティが拡がり、働き手のキャリア観が多様化。また、「人生100年時代」の到来により、職業人生が長期化し、キャリア・トランジションを経験する働き手が増えていくことが見込まれる

### ○ 大きな転換期のビジョンとして、わが国は、Society 5.0のコンセプトを掲げて、その実現に向けた取り組みを推進

- ➡ Society 5.0の実現には、デジタル技術の強みを活かしながら、新しい価値を創出できる人材が重要。しかし、従来の人材育成施策では、経営環境の変化や多様な働き手のニーズに応えられなくなっている面がある
- ➡ 企業は、自社の人材育成施策が環境変化に柔軟に対応できるものになっているかを確認し、働き手の多様性と主体性を活かす施策へと見直していくことが求められる

## 第2章 Society 5.0を実現する人材の育成 — 取組みの3つの柱

### 3. デジタル革新を担える能力開発

- 企業がA Iやビッグデータなどを活用し、新たな価値創造を図っていくためには、**働き手が、ビジネスの知識・経験、デジタルに関するスキル・リテラシーやデザイン思考等を身につけて、従来の枠にとらわれない独創的な構想力を磨いていくことが不可欠**
- **O J Tと連動したO f f - J Tのプログラムを充実させるとともに、社員が自身に必要なプログラムを主体的に選択できるようにすることが重要**

#### (1) デジタル戦略の提示と能力開発支援

➤ 企業は、デジタル革新に向けた自社の経営戦略を明らかにした上で、社員に求められる能力を示し、能力開発を支援するための施策を計画的に実施していくことが必要

- 一般社員については、データ分析等の基礎的な知識・用語を理解し、スペシャリスト社員と円滑にコミュニケーションをとりながら、社内の調整や外部との折衝を行うことができるデジタルスキル・リテラシーを涵養していくことが望まれる
- 若手・中堅層や関心層から、デジタル技術の動向や基礎的なデータ分析・活用等の研修プログラムを実施することが効果的。研修参加者には、職場の指導役としての役割も期待
- ビジネスのデジタル化を中核的に担うスペシャリスト社員については、特に高いスキルが求められることから、大学等と連携して育成プログラムを整備することが考えられる。また、大学や業界団体が実施するプログラムに社員を派遣することも一案

#### (2) 外部機関との連携によるリカレント教育の充実

- 職業人生の長期化を見据えれば、全社員を対象として、学び直すことで新たな知識やスキルを身につけるリカレント教育の充実が重要。特に、A Iと協働する人材には、幅広い知見や経験、洞察力が不可欠
- 人材育成サービス企業との連携のほか、各地域の産学官が連携して、企業や地域産業のニーズに基づいたカリキュラムを開発していくことが有益

#### (3) 中小企業等における取組み

- 中小企業等は、人材や資金に制約がある場合、デジタル革新を担う人材の育成に向けて、政府機関（ポリテクセンター・カレッジ、中小企業大学校等）が実施している研修プログラムの活用を検討することが有効

- Society 5.0は、デジタル化に対応した「人間を中心とした創造社会」。その実現は、企業と働き手が継続的に新しい価値を社会に提供し、成長を積み重ねることで可能となる

企業

▶▶▶ Society 5.0時代を切り拓く人材の育成に向けて、多様性を活力とする組織文化の醸成や自律的なキャリア形成・能力開発への支援など人材育成施策の刷新に着手

働き手

▶▶▶ 企業が用意する環境を自身の成長の場として最大限に活かし、自身のキャリアビジョンの実現と、組織や社会への貢献に取り組むことが求められる

学生・生徒

▶▶▶ 自分の強みを見出し、たゆまず磨き、伸ばしていくとともに、なるべく早い段階から自身の就労観・キャリアビジョンに関心を持ち、その実現に取り組んでいくことを期待

- これまで以上に産学がベクトルをあわせて協同していくことが不可欠であり、経団連は、企業における人材育成の方針や具体的な取組みなどに関する情報を発信・共有していく

## 【資料16】卒業生に対する事業所アンケート

### 【 郵送アンケート調査 】

<事業所対象>

### 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート

学校法人滋慶学園では、令和5年4月に、新たに「東京情報デザイン専門職大学（仮称）」の開設を予定しております。

このアンケートは、事業所の皆様の採用意向などについてお聞きし、新大学設置のための基礎資料とするものです。ご協力をお願いいたします。

**なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。回答によって実際の採用人数をお約束いただくものではありません。**

回答は設問の順に該当する番号を回答欄に直接記入してください。一部の設問では回答を直接記入してください。

また、本アンケートや同封の資料に記載されている新大学に関する情報は全て予定であり、内容が変更される場合があります。

◆養成する人物像：情報システム、ネットワーク、IoT、AI、セキュリティなどでの先端的な情報技術分野での技術開発と共に、情報技術を理解し、事業に必要な情報を収集・蓄積し、事業に必要な情報技術化を促進し、他領域の情報とも連携させ、新しい産業や社会をデザイン（設計）し、新しい価値の創造をおこなう技術者、工学者。

-----以下の設問にお答えください（裏面にも設問があります）-----

問1 貴社の所在地についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。

【回答欄】

- |        |             |
|--------|-------------|
| 1 東京都  | 4 埼玉県       |
| 2 千葉県  | 5 茨城県       |
| 3 神奈川県 | 6 その他（具体的に） |

問2 貴社の主な業種についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 電気通信業          | 7 デザイン業              |
| 2 放送業            | 8 製造業                |
| 3 ソフトウェア業        | 9 広告業                |
| 4 情報処理・提供サービス業   | 10 サービス業（他に分類されないもの） |
| 5 インターネット附随サービス業 | 11 その他（具体的に）         |
| 6 映像・音声・文字情報制作業  |                      |

問3 貴社において、過去3か年に採用された平均的な正規社員数はどのくらいですか。  
人数を回答欄に直接ご記入ください。

過去3か年平均

人

問4 今後の貴社の採用方針について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 毎年、安定的に採用していくと思う。
- 2 ある程度、安定的に採用していくと思う。
- 3 増員が必要になったときに、採用を考える。
- 4 欠員が出た場合に、採用を考える。
- 5 当面、採用は行わないと思う。

**問5以降は、アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。**

問5 本法人が設置を計画している東京情報デザイン専門職大学（仮称）の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 社会的必要性が高い分野である
- 2 一応、社会的必要性を感じる
- 3 あまり必要性を感じない
- 4 必要性はない
- 5 その他（具体的に )

問6 貴社では東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の卒業生の採用を考えますか。次の中から1つだけ選んでください。  
現時点でのご回答者様ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。

- 1 採用したい
  - 2 採用を検討したい
  - 3 採用は考えない
- } 問7以下へお進みください  
 → 問8へお進みください

問7 問6で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。

貴社では東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の卒業生を、毎年何人程度採用したいと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5人以上（具体的に )

問8 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置にあたって、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

■ 回答期限のお願い

アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。

令和3年8月13日（金）までに、同封の返信用封筒で返送頂きますようお願い申し上げます。

東京情報デザイン専門職大学（仮称）への  
採用意向に関するアンケート調査報告書

【 事業所対象 】

令和3年9月

一般財団法人 日本開発構想研究所

## 目 次

<アンケート調査概要> .....	1
<アンケート調査結果要旨> .....	2
<アンケート回収表> .....	5
<アンケート集計結果> .....	11
<アンケート調査票・リーフレット> .....	23

## <アンケート調査概要>

### 1. アンケート調査の目的

本調査は、学校法人滋慶学園において、令和5年4月に開設する東京情報デザイン専門職大学（仮称）に対して、卒業生の採用意向、事業所が期待する教育内容等を的確に把握することを調査目的とし、郵送アンケート調査及び Web アンケート調査を実施した。

### 2. 調査対象

郵送アンケート調査は、事業規模・採用活動の継続性の有無を事前に調査し、主に東京都所在の事業所を選定したうえで、実施した。

Web アンケートは、情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の臨地実務実習先として協力が得られている事業所に対して実施した。（回収表はP.7～P.10 参照）

### 3. 調査実施

令和3年7月～8月

### 4. 調査方法

郵送アンケート調査は、調査票の配布・回収及び集計を一般財団法人日本開発構想研究所が行った。Web アンケートは、Google フォームを活用した。

### 5. 回収状況

回収数：147 件

- ・ 郵送によるアンケート：回収数 112 件（回収状況はP.7 を参照）
- ・ Web によるアンケート：回答数 35 件（回収表はP.10 参照）



## <アンケート調査結果要旨>

### 【問1：回答事業所の所在地】

回答事業所（147 施設）の所在地について、大学が立地予定の「東京都」が 142 事業所（96.6%）と最も多かった。「その他」が 5 事業所（3.4%）の内訳であった。

### 【問2：回答事業所の主な業種】

IT 業界は、事業の範囲が広く、業種が多岐にわたり複雑化している。回答事業所の主な業種についての設問に対しては、「ソフトウェア業」が最も多く、83 事業所（56.5%）、次に「情報処理・提供サービス業」が 40 事業所（27.2%）の結果となった。

### 【問3：過去3年間の採用活動実績（平均採用人数を記載）】

回答事業所における過去3年間の採用実績について、正規社員の採用平均人数を把握した。「6人～10人」と回答した事業所が 37 事業所（25.2%）で最も多く、「11人～20人」が 32 事業所（21.8%）、「31人～50人」が 17 事業所（11.6%）、「21～30人」が 16 事業所（10.9%）と続いている。

### 【問4：回答事業所の採用方針について】

回答事業所の今後の採用方針についての設問は、「毎年、安定的に採用していくと思う」が 100 事業所（68.0%）、「ある程度、安定的に採用していくと思う」が 38 事業所（25.9%）、「増員が必要になったときに、採用を考える」と回答した事業所が 9 事業所（6.1%）となった。

### 【問5：事業所の考える本学の社会的必要性】

東京情報デザイン専門職大学（仮称）の養成する人物像を示し、各事業所の考える社会的必要性について尋ねる設問に対して「社会的必要性が高い分野である」と回答した事業所は、117 事業所（79.6%）で、「一応、社会的必要性を感じる」と回答した事業所は 26 事業所（17.7%）であった。

一方で、「その他」の自由記述欄において、「カリキュラム次第であり何とも言えない」の意見も見られた。

**【 問 6 : 本学卒業生に対する採用意向 】**

回答事業所（147 事業所）に対し、現時点において東京情報デザイン専門職大学（仮称）の卒業生に対する採用意向について確認した。回答事業所のうち、「採用したい」が 52 事業所（35.4%）、「採用を検討したい」が 84 事業所（57.1%）であった。

**【 問 7 は、問 6 で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」を回答した 136 事業所に対する設問 】**

**【 問 7 : 採用想定人数 】**

「1 人」と回答した事業所が 60 事業所で全体の 44.1%を占めた。「2 人」以上の複数人数の採用を検討し、回答した事業所について、それぞれの選択肢ごとの採用想定人数を計算し、卒業生の 1 年間あたりの人材需要の総数を把握した。採用想定人数の総数は 286 名と計算され、入学定員（160 人）の約 1.79 倍となり、入学定員を上回る結果となった。卒業生の進路は、確保できるものと推察する。

	件数	%
1 1 人	60	44.1
2 2 人	32	23.5
3 3 人	16	11.8
4 4 人	2	1.5
5 5 人以上	22	16.2
不明	4	2.9
N (%ベース)	136	100.0

1 年間あたりの採用想定人数
1 人 × 60 事業所 = 60 人
2 人 × 32 事業所 = 64 人
3 人 × 16 事業所 = 48 人
4 人 × 1 事業所 = 4 人
5 人 × 22 事業所 = 110 人
合計 286 人

**【 問 8 : 自由記述欄 】**

147 事業所のうち 37 事業所から自由回答の記述を得ることができた。（P21～22 参照）

<アンケート回収表>

東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート回収表

■ 郵送によるアンケート回収

回収日	ID	企業名
8.10	TID0009	株式会社マークス
8.11	TID0013	株式会社アイセルネットワークス
8.11	TID0028	テー・ピー・エスサービス株式会社
8.10	TID0039	株式会社トランスネット
8.10	TID0045	株式会社東和コンピュータマネジメント
8.10	TID0050	株式会社コスメディア
8.10	TID0053	セントラルソフト株式会社
8.11	TID0066	株式会社ティ・オー・エス
8.10	TID0070	株式会社山一情報システム
8.18	TID0071	株式会社シスプロ
8.16	TID0072	インガルス株式会社
8.10	TID0079	テクノブレイブ株式会社
8.10	TID0081	株式会社アストロステージ
8.10	TID0085	株式会社トレードワークス
8.10	TID0096	株式会社F B S
8.10	TID0111	株式会社日本キャスト
8.10	TID0114	三和電子株式会社
8.11	TID0123	株式会社サポータス
8.06	TID0130	株式会社S I G
8.20	TID0142	株式会社バース情報科学研究所
8.10	TID0148	ソリッドコミュニケーション株式会社
8.10	TID0157	株式会社デザイン・クリエイション
8.06	TID0162	株式会社システム・ユー
8.10	TID0170	株式会社協栄情報
8.10	TID0177	ユアサシステムソリューションズ株式会社
8.12	TID0196	東京コンピュータサービス株式会社
8.10	TID0202	株式会社エムコスミック
8.10	TID0205	株式会社大和システムクリエート
8.17	TID0208	株式会社エムディシステム
8.11	TID0215	デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
8.12	TID0225	サクシード株式会社
8.16	TID0238	株式会社ネットブレインズ
8.10	TID0241	株式会社ウィズ・ワン
8.10	TID0244	株式会社システムフロンティア
8.13	TID0250	株式会社アイエスエイブラン
8.10	TID0290	株式会社ソフタス
8.13	TID0299	株式会社ユニスティ
8.06	TID0300	アイ.エム.サービス株式会社
8.06	TID0306	プロパティデータバンク株式会社
8.10	TID0308	東京ガスiネット株式会社
8.06	TID0313	株式会社エス・ジー
8.10	TID0315	株式会社クレヴァシステムズ
8.10	TID0325	株式会社ビーネックスソリューションズ
8.10	TID0330	キャノン電子テクノロジー株式会社
8.10	TID0332	日本NonStopイノベーション株式会社
8.13	TID0337	株式会社菱友システムズ
8.16	TID0354	株式会社ソルバック
8.10	TID0361	株式会社コスモ・コンピューティングシステム
8.10	TID0368	ピーディーシー株式会社
8.19	TID0381	株式会社テクノモバイル
8.10	TID0391	株式会社ティーエーシー

回収日	ID	企業名
8.06	TID0402	富士インフォックス・ネット株式会社
8.10	TID0407	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
8.11	TID0413	株式会社ランドコンピュータ
8.06	TID0441	スターゼン I T ソリューションズ株式会社
8.12	TID0445	アスノシステム株式会社
8.16	TID0447	株式会社クリエイティブジャパン
8.06	TID0450	一般社団法人しんきん共同センター
8.12	TID0458	株式会社フォーラムエイト
8.10	TID0478	コンピュータ・ハイテック株式会社
8.06	TID0482	日本自動化開発株式会社
8.17	TID0485	システムクリエイト株式会社
8.06	TID0490	株式会社システムハウス. アイエヌジー
8.18	TID0507	ナショナルソフトウェア株式会社
8.10	TID0512	サン情報サービス株式会社
8.13	TID0516	コムコ株式会社
8.06	TID0521	ニューコン株式会社
8.10	TID0525	株式会社 O S K
8.19	TID0527	株式会社ウインライト
8.06	TID0528	日本エクサシステム株式会社
8.12	TID0529	株式会社エスピック
8.10	TID0536	日本ユニカ・システムズ株式会社
8.12	TID0598	株式会社エー・アール・シー
8.10	TID0604	いすゞシステムサービス株式会社
8.10	TID0621	インフォテックス株式会社
8.16	TID0625	カチシステムプロダクツ株式会社
8.10	TID0634	株式会社システムズ
8.10	TID0646	株式会社ビッツ
8.11	TID0649	大宇宙ジャパン株式会社
8.10	TID0661	株式会社オブティマ
8.06	TID0681	ユニインフォメーション株式会社
8.10	TID0684	東横システム株式会社
8.10	TID0687	エム・デー・ビー株式会社
8.10	TID0700	株式会社三岩エンジニアリング
8.10	TID0706	株式会社マイクロウェーブ
8.16	TID0708	株式会社ミクシィ
8.10	TID0733	N S W テクノサービス株式会社
8.10	TID0768	株式会社インテックソリューションパワー
8.30	TID0774	日本事務器株式会社
8.10	TID0779	銀河ソフトウェア株式会社
8.10	TID0784	株式会社オロ
8.12	TID0792	キーウェアサービス株式会社
8.10	TID0799	ハイミン・エンタープライズ株式会社
8.13	TID0807	株式会社エム・ケイ・ソフトサービス
8.10	TID0811	株式会社テクノプラン
8.16	TID0813	株式会社キーマネジメントソリューションズ
8.11	TID0821	株式会社 T E C H T O N E
8.10	TID0836	S E T ソフトウェア株式会社
8.16	TID0843	パイオネット・ソフト株式会社
8.10	TID0850	株式会社アドバンストラフィックシステムズ
8.16	TID0852	ジェット・テクノロジーズ株式会社
8.10	TID0863	アールアイ・ソフトウェア株式会社
8.16	TID0869	方正株式会社
8.10	TID0885	株式会社エデルタ
8.10	TID0896	株式会社ディ・アイ・システム
8.06	TID0906	元気株式会社

回収日	ID	企業名
8.10	TID0908	富士フイルム医療ソリューションズ株式会社
8.12	TID0912	株式会社バルシステム・リレーションズ
8.10	TID0916	コープ情報システム株式会社
8.11	TID0923	アイビスジャパン株式会社
8.10	TID0929	株式会社エムエスデー
8.23	TID0964	日本システム株式会社
計	112件	

#### 回収状況

回収日	回収数	回収日	回収数
8.06	14	8.17	2
8.10	57	8.18	2
8.11	9	8.19	2
8.12	8	8.20	1
8.13	5	8.23	1
8.16	10	8.30	1
		計	112件

■ Web (Google フォーム) によるアンケート回答

ID	企業名
990	株式会社グラフィニカ
991	株式会社ハ・ン・ド
992	株式会社ユークス
993	ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
994	株式会社ビサイド
995	株式会社ファングラテクノロジー
996	株式会社アドグローブ
997	株式会社 VOST
998	株式会社サクセス
999	株式会社データフォーシーズ
1000	JTP 株式会社
1001	日立チャンネルソリューションズ株式会社
1002	あまた株式会社
1003	株式会社オー・エル・エム・デジタルズ
1004	株式会社アンビション
1005	株式会社エイチーム
1006	株式会社ニューロン・エイジ
1007	株式会社ジェットスタジオ
1008	株式会社ハイド
1009	株式会社イルカ
1010	株式会社 S-court
1011	TIS 株式会社
1012	JBCC 株式会社
1013	株式会社ディンプス
1014	シグニフィ株式会社
1015	スフィード株式会社
1016	矢崎総業株式会社
1017	株式会社 Colorkrew
1018	ソニーグローバルソリューションズ株式会社
1019	サイバートラスト株式会社
1020	ユーフォーテーブル有限会社
1021	株式会社 KDStudio
1022	株式会社アピリッツ
1023	BIRD INITIATIVE 株式会社
1024	株式会社 f4samurai
	計 35 件

<アンケート集計結果>



## 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート集計結果

〔有効回答票：147票〕

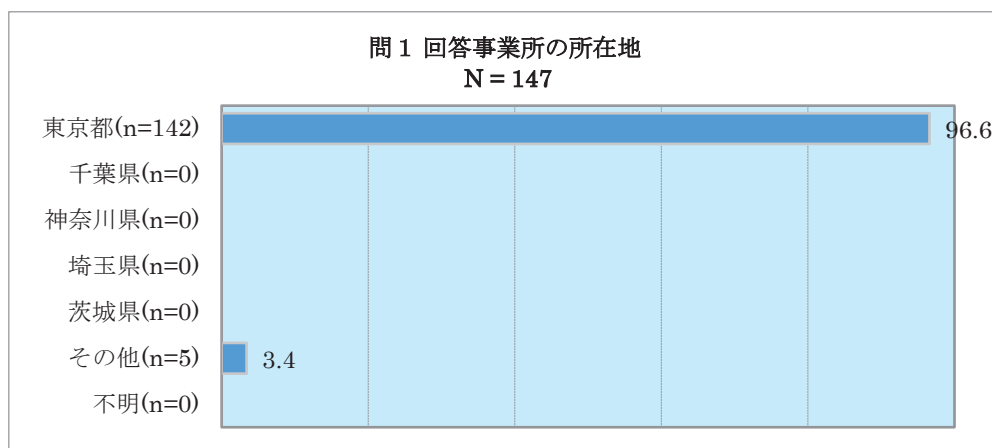
### 問1 貴社の所在地についてお伺いします。

回答事業所（147施設）の所在地について、大学が立地予定の「東京都」が142事業所（96.6%）と最も多かった。「その他」が5事業所（3.4%）の内訳であった。

	件数	%
1 東京都	142	96.6
2 千葉県	0	0.0
3 神奈川県	0	0.0
4 埼玉県	0	0.0
5 茨城県	0	0.0
6 その他	5	3.4
N (%ベース)	147	100.0

（「6 その他」の回答）

大阪府	大阪府	大阪府	静岡県(本社機能)	愛知県（東京、大阪にもオフィスあり）
-----	-----	-----	-----------	--------------------



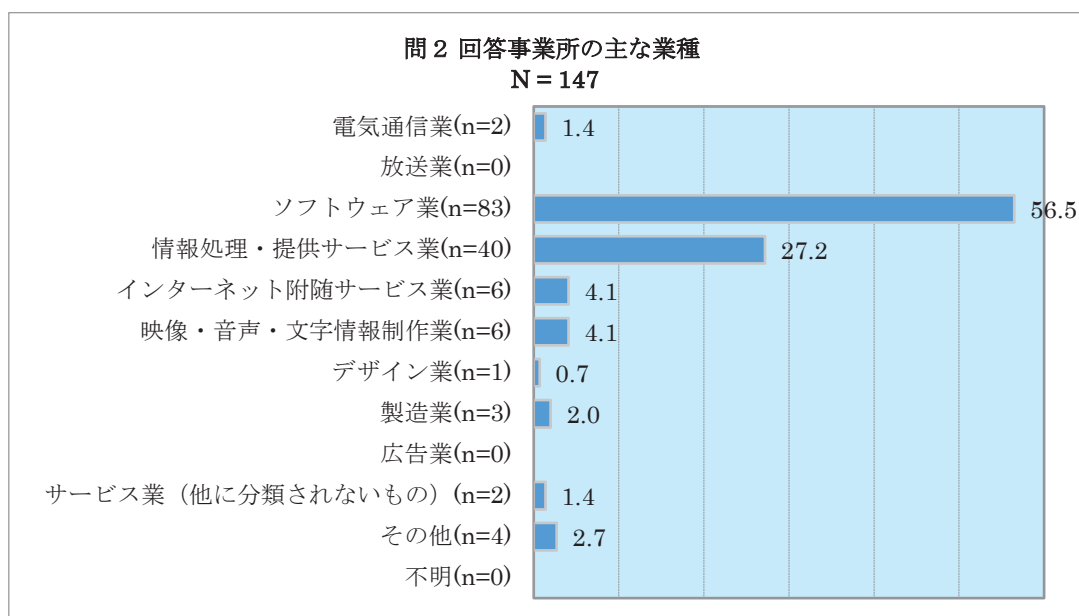
## 問2 貴社の主な業種についてお伺いします。

IT 業界は、事業の範囲が広く、業種が多岐にわたり複雑化している。回答事業所の主な業種についての設問に対しては、「ソフトウェア業」が最も多く 83 事業所（56.5%）、次に「情報処理・提供サービス業」が 40 事業所（27.2%）の結果となった。

	件数	%
1 電気通信業	2	1.4
2 放送業	0	0.0
3 ソフトウェア業	83	56.5
4 情報処理・提供サービス業	40	27.2
5 インターネット附随サービス業	6	4.1
6 映像・音声・文字情報制作業	6	4.1
7 デザイン業	1	0.7
8 製造業	3	2.0
9 広告業	0	0.0
10 サービス業（他に分類されないもの）	2	1.4
11 その他	4	2.7
N（%ベース）	147	100.0

（「11 その他」の回答）

1、4	ゲーム開発業	ゲームメーカー	病院内の情報システム構築
-----	--------	---------	--------------

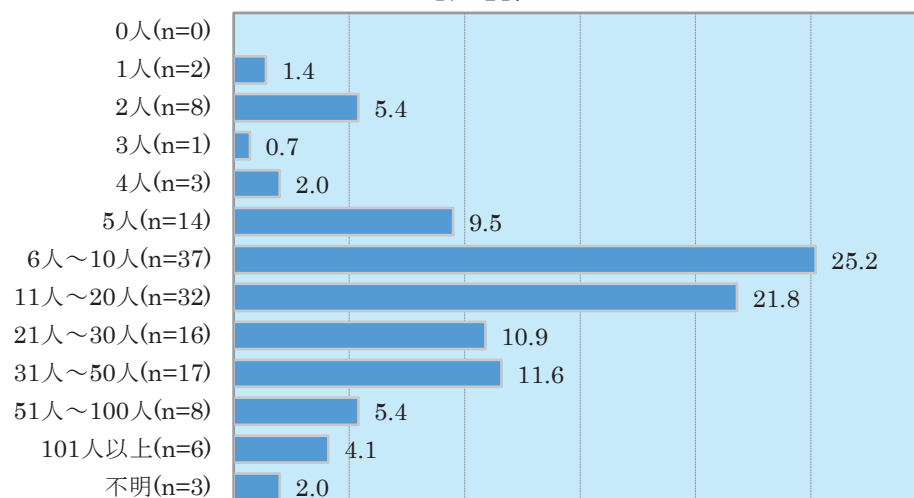


問3 貴社において、過去3か年に採用された平均的な正規社員数はどのくらいですか。

回答事業所における過去3年間の採用実績について、正規社員の採用平均人数を把握した。「6人～10人」と回答した事業所が37事業所(25.2%)で最も多く、「11人～20人」が32事業所(21.8%)、「31人～50人」が17事業所(11.6%)、「21～30人」が16事業所(10.9%)と続いている。

	件数	%
1 0人	0	0.0
2 1人	2	1.4
3 2人	8	5.4
4 3人	1	0.7
5 4人	3	2.0
6 5人	14	9.5
7 6人～10人	37	25.2
8 11人～20人	32	21.8
9 21人～30人	16	10.9
10 31人～50人	17	11.6
11 51人～100人	8	5.4
12 101人以上	6	4.1
不明	3	2.0
N (%ベース)	147	100.0

問3 過去3か年に採用の正規社員数（平均）  
N = 147



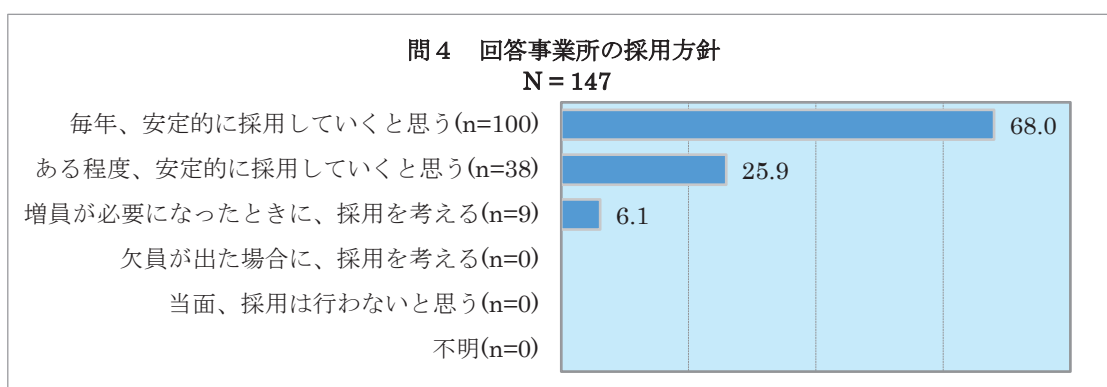
(平均採用社員数 詳細)

採用人数	事業所数	採用人数	事業所数	採用人数	事業所数	採用人数	事業所数
1人	2件	12人	5件	25人	2件	53人	1件
2人	8件	13人	1件	26人	1件	55人	1件
3人	1件	14人	2件	30人	11件	60人	1件
4人	3件	15人	8件	33人	1件	65人	1件
5人	14件	16人	3件	35人	3件	80人	1件
6人	5件	17人	1件	36人	1件	100人	3件
7人	5件	18人	4件	38人	1件	120人	1件
8人	8件	19人	1件	40人	4件	150人	1件
9人	3件	20人	6件	43人	1件	200人	2件
10人	16件	22人	1件	45人	1件	250人	1件
11人	1件	23人	1件	50人	5件	400人	1件
						不明	3件
						計	147件

問4 今後の貴社の採用方針について、どのようにお考えですか。

回答事業所の今後の採用方針についての設問は、「毎年、安定的に採用していくと思う」が100事業所(68.0%)、「ある程度、安定的に採用していくと思う」が38事業所(25.9%)、「増員が必要になったときに、採用を考える」と回答した事業所が9事業所(6.1%)となった。

	件数	%
1 毎年、安定的に採用していくと思う	100	68.0
2 ある程度、安定的に採用していくと思う	38	25.9
3 増員が必要になったときに、採用を考える	9	6.1
4 欠員が出た場合に、採用を考える	0	0.0
5 当面、採用は行わないと思う	0	0.0
N (%ベース)	147	100.0



問5 本法人が設置を計画している東京情報デザイン専門職大学（仮称）の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか。

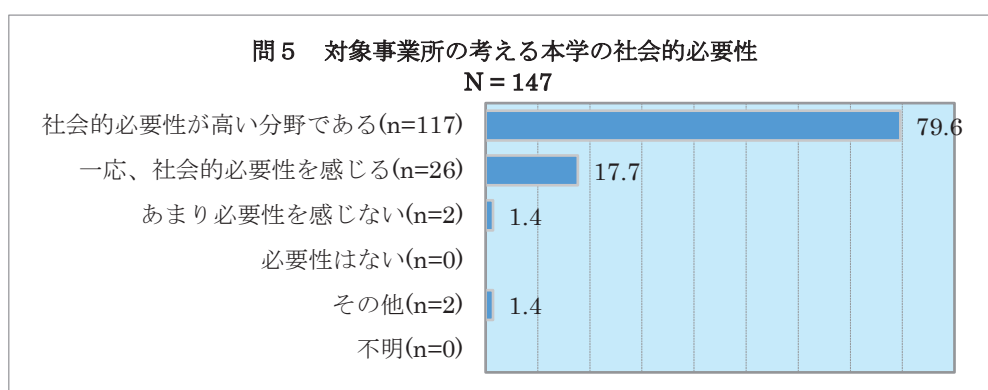
東京情報デザイン専門職大学（仮称）の養成する人物像を示し、各事業所の考える社会的必要性について尋ねる設問に対して「社会的必要性が高い分野である」と回答した事業所は、117 事業所（79.6%）で、「一応、社会的必要性を感じる」と回答した事業所は26 事業所（17.7%）であった。

一方で、「その他」の自由記述欄において、「カリキュラム次第であり何とも言えない」の意見も見られた。

	件数	%
1 社会的必要性が高い分野である	117	79.6
2 一応、社会的必要性を感じる	26	17.7
3 あまり必要性を感じない	2	1.4
4 必要性はない	0	0.0
5 その他	2	1.4
N (% <sup>〆</sup> - <sup>ス</sup> )	147	100.0

（「5 その他」の回答）

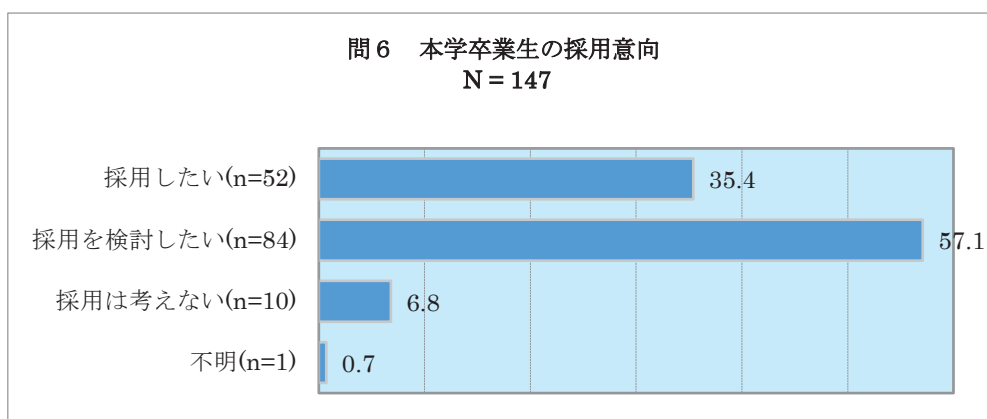
よく分からないです
カリキュラム次第であり何とも言えない



問6 貴社では東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の卒業生の採用を考えますか。現時点でのご回答者様ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。

回答事業所（147 事業所）に対し、現時点において東京情報デザイン専門職大学（仮称）の卒業生に対する採用意向について確認した。回答事業所のうち、「採用したい」が 52 事業所（35.4%）、「採用を検討したい」が 84 事業所（57.1%）であった。

	件数	%
1 採用したい	52	35.4
2 採用を検討したい	84	57.1
3 採用は考えない	10	6.8
不明	1	0.7
N (%ベース)	147	100.0



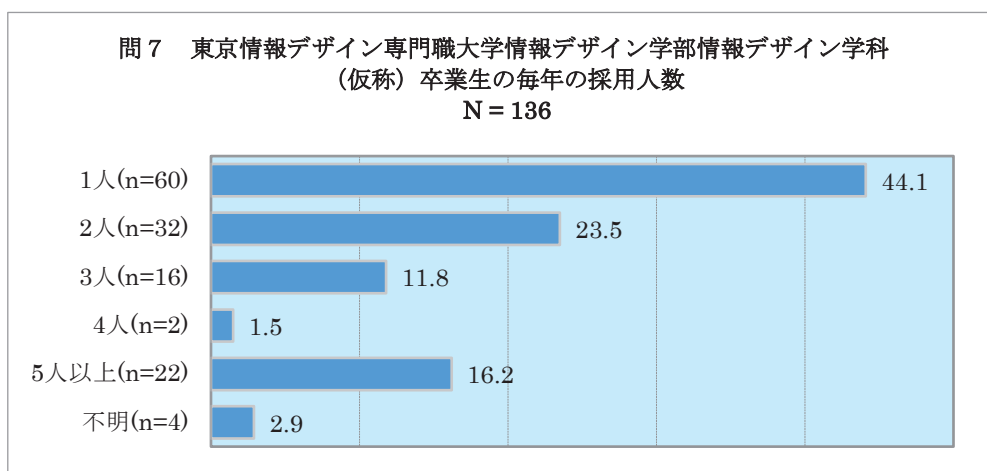
【 問7は、問6で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」を回答した136事業所に対する設問 】

問7 問6で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。貴社では東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の卒業生を、毎年何人程度採用したいと考えますか。

「1人」と回答した事業所が60事業所で44.1%を占めた。「2人」以上の複数人数の採用を検討し、回答した事業所について、それぞれの選択肢ごとの採用想定人数を計算し、卒業生の1年間あたりの人材需要の総数を把握した。採用想定人数の総数は286名と計算され、入学定員（160人）の約1.79倍となり、入学定員を上回る結果となった。卒業生の進路は、確保できるものと推察する。

	件数	%
1 1人	60	44.1
2 2人	32	23.5
3 3人	16	11.8
4 4人	2	1.5
5 5人以上	22	16.2
不明	4	2.9
N (%ベース)	136	100.0

1年間あたりの採用想定人数
1人×60事業所=60人
2人×32事業所=64人
3人×16事業所=48人
4人×1事業所=4人
5人×22事業所=110人
合計 286人





問8 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置にあたって、ご意見・ご要望があら

したらお聞かせください。

147 事業所のうち 37 事業所から自由回答の記述を得ることができた。

意見・要望
採用の時期になりましたらよろしくお願ひします。
優秀な人材を世に輩出して下さい。
専門知識の習得だけでなく、社会貢献、環境問題、SDGS なども取り組む機会があると良いと思う。会社員になるとチームワーク、リーダーシップが求められるのでさまざまな経験を通して人間力を高めて欲しい。
楽しみにしています。
当社の事業内容と御校の教育カリキュラムが一致していると思います。キャンパスプログラムなど学生への教育でもお力になれることもあるかと思ひます。よろしくお願ひします。
専門学校との差別化（本人にとっても、採用側にとっても）を明確にされると良いと思ひます。
情報技術の基本を理解し、感性が豊かで、コミュニケーション力のある人材として育ててほしいと思ひます。ぜひ採用に向けた意見交換をさせていただきたいです。
当社では東京情報大学など情報系に特化した学校からの採用に力を入れております。創設されましたらぜひ求人票の登録などさせていただければと思ひますので、今後とも宜しくお願ひ致します。
プログラムを学ぶだけでは、他の専門学校と変わらなくなってしまうので、専門性の高い知識が身に付いた学生が卒業できると価値が高まりそうです。アルバイトをがんばる学生でなく、ゼミをがんばる学生の輩出を期待します。
当社でもデータサイエンス的業務、ニーズは年々高まっております。是非専門性の高い人材育成をお願ひいたします。
IT 企業のため、プログラミングやソフトウェア開発をしっかり教育して頂けると嬉しく思ひます。
エンジニアに必要なコミュニケーション力（自分の思いや考えを言語化して伝えることができるとか、相手が伝えたいことを読み解く力など）も身に付けられるようなカリキュラムがあると良いと思ひます。Office 特に Excel も使えた方が良いでしょう。
地球環境、動物愛護、健康、治安向上に向けて、意義のある設置であれば、応援したく思っております。
CG、VR のパッケージソフトを活用、応用の学びを構築していただきたい。
情報系の専門科目や基礎科目だけでなく、社会人としての心構えを学べる機会があると、学生にとってうれしいかもしれません。もちろん、受け入れ側にとっても。
プログラミングのコーディング量は多い程、エンジニアの能力に影響すると考えるため、ウェイトを高めていただきたい。
即戦力に近い実務能力を備えさせてほしい。
社会的必要性の高い分野ですが、市場規模が小さいので、企業としてはなかなか事業化しにくい分野です。モノは作れるが、規模が小さいゆえにだれも買えない価格になるというのが現状です。
大学や専門学校との違いが今一つ見えないところがあります。また、採用人数に関しては、他校の学生と同じく適性を見て判断させて頂くので、お約束できるものではありません。よろしくお願ひします。
求人票の提出、学内でのイベント（合説）に関してお知らせがありましたら、お願ひします。今後のお話かとは思ひますが。
詳細が決まりましたらあらためてご連絡ください。
ぜひ、学内企業説明会等、協力して実施させていただきたいと考えています。
期待しています。
専門学校との違いがわからない。
ソフトウェア、ネットワーク等エンジニア志望の生徒様を積極採用したいと考えております。IT 業界を志望されている生徒様向けの説明会等への参加を強く希望いたします。
最新の言語やツールについて若いうちから学んでほしい。実際にシステム、DB を構築するなど実践的なカリキュラムを組んで成長を促す事を期待しています。
問7で1人となりましたが、いい学生さんがいれば何人でも採用したいです。専門科目は絞り込んで頂くとうれしいです（幅広くではなく）。
定期的に採用を御校より致したく存じます。又、採用に伴い会社説明会を開催致したく、ご理解・ご協力の程お願ひ申し上げます。
遅くなりすみません。

意見・要望
良いご縁を定期的に頂戴できるよう、期待しております。
(単に私が地元に住んでいるからなのですが…) 公立大学の図書館のように、貴学の図書館が地元の人間に開かれると嬉しいなあと思いました。(近所に小松川図書館はあるのですが、情報分野に特化しているわけではないので、その手の資料が参照できると嬉しいと思っています。)(これも私が地元に住んでいます)何か地元の子供達と交流の機会…特に子供たちがコンピュータに触れられる機会があると嬉しいなあと思いました。(やはり私が地元に住んでいるからなのですが)私もコンピュータ産業に関わっている人間なのもあって、何か地域交流というか、ボランティアのような形でかかわる機会があるといいなあと思いました。
情報、デザイン、イノベーションの時代に貴校の役割の必要性を感じております。
学生様を受け入れての協力ができず、申し訳ございませんが今後ともよろしく願いたします。
御校の開学を心待ちにしております。
情報技術の習得のみならず、グローバルトレンドと、世界的な課題解決の視点を持ち、各産業のDX推進、次世代のデジタル経営に役立てるソリューションを構築できる思考を養う教育機関となることを期待いたします。
優秀な人材の育成に大いに期待しています。
ご予約されていたかと記憶しておりますが、インターンシップでの学生との協働を経て、実力だけでなく特にマインドを確認したいため「採用を検討したい」とさせて頂きました。人数については、実際に動いている事業化PJの数に依存致しますが、専門性と実践力とマインドが確認できれば1名以上の採用もさせて頂きたいと考えています。

<アンケート調査票・リーフレット>

【 郵送アンケート調査 】

<事業所対象>

東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置に関するアンケート

学校法人滋慶学園では、令和5年4月に、新たに「東京情報デザイン専門職大学（仮称）」の開設を予定しております。

このアンケートは、事業所の皆様の採用意向などについてお聞きし、新大学設置のための基礎資料とするものです。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。回答によって実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

回答は設問の順に該当する番号を回答欄に直接記入してください。一部の設問では回答を直接記入してください。

また、本アンケートや同封の資料に記載されている新大学に関する情報は全て予定であり、内容が変更される場合があります。

◆養成する人物像：情報システム、ネットワーク、IoT、AI、セキュリティなどでの先端的な情報技術分野での技術開発と共に、情報技術を理解し、事業に必要な情報を収集・蓄積し、事業に必要な情報技術化を促進し、他領域の情報とも連携させ、新しい産業や社会をデザイン（設計）し、新しい価値の創造をおこなう技術者、工学者。

-----以下の設問にお答えください（裏面にも設問があります）-----

問1 貴社の所在地についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。

【回答欄】

- |        |             |
|--------|-------------|
| 1 東京都  | 4 埼玉県       |
| 2 千葉県  | 5 茨城県       |
| 3 神奈川県 | 6 その他（具体的に） |

問2 貴社の主な業種についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 電気通信業          | 7 デザイン業              |
| 2 放送業            | 8 製造業                |
| 3 ソフトウェア業        | 9 広告業                |
| 4 情報処理・提供サービス業   | 10 サービス業（他に分類されないもの） |
| 5 インターネット附随サービス業 | 11 その他（具体的に）         |
| 6 映像・音声・文字情報制作業  |                      |

問3 貴社において、過去3か年に採用された平均的な正規社員数はどのくらいですか。  
人数を回答欄に直接ご記入ください。

過去3か年平均

人

問4 今後の貴社の採用方針について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 毎年、安定的に採用していくと思う。
- 2 ある程度、安定的に採用していくと思う。
- 3 増員が必要になったときに、採用を考える。
- 4 欠員が出た場合に、採用を考える。
- 5 当面、採用は行わないと思う。

問5以降は、アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

問5 本法人が設置を計画している東京情報デザイン専門職大学（仮称）の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 社会的必要性が高い分野である
- 2 一応、社会的必要性を感じる
- 3 あまり必要性を感じない
- 4 必要性はない
- 5 その他（具体的に )

問6 貴社では東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の卒業生の採用を考えますか。次の中から1つだけ選んでください。  
現時点でのご回答者様ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。

- 1 採用したい
  - 2 採用を検討したい
  - 3 採用は考えない
- 問7以下へお進みください  
問8へお進みください

問7 問6で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。

貴社では東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の卒業生を、毎年何人程度採用したいと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ この回答は実際の採用人数をお約束いただくものではありません。

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人
- 5 5人以上（具体的に )

問8 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置にあたって、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

■ 回答期限のお願い

アンケートの回答にご協力いただきありがとうございます。

令和3年8月13日（金）までに、同封の返信用封筒で返送頂きますようお願い申し上げます。

## 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の 設置に関するアンケート

学校法人滋慶学園では、令和5年4月に、新たに「東京情報デザイン専門職大学（仮称）」の開設を予定しております。

このアンケートは、事業所の皆様の採用意向などについてお聞きし、新大学設置のための基礎資料とするものです。添付リーフレット（PDF）をご確認いただき、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に該当する選択肢を選んでください。一部の設問では回答を直接記入してください。

また、本アンケートや添付リーフレット（PDF）の資料に記載されている新大学に関する情報は全て予定であり、内容が変更される場合があります。

◆養成する人物像：情報システム、ネットワーク、IoT、AI、セキュリティなどでの先端的な情報技術分野での技術開発と共に、情報技術を理解し、事業に必要な情報を収集・蓄積し、事業に必要な情報技術化を促進し、他領域の情報とも連携させ、新しい産業や社会をデザイン（設計）し、新しい価値の創造をおこなう技術者、工学者。

問1 貴社の所在地についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。\*

- 東京都
- 千葉県
- 神奈川県
- 埼玉県
- 茨城県
- その他: \_\_\_\_\_

問2 貴社の主な業種についてお伺いします。次の中から1つだけ選んでください。\*

- 電気通信業
- 放送業
- ソフトウェア業
- 情報処理・提供サービス業
- インターネット附随サービス業
- 映像・音声・文字情報制作業
- デザイン業
- 製造業
- 広告業
- サービス業（他に分類されないもの）
- その他: \_\_\_\_\_

問3 貴社において、過去3か年に採用された平均的な正規社員数はどのくらいですか。人数を回答欄に直接ご記入ください。

回答を入力

---

問4 今後の貴社の採用方針について、どのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んでください。\*

- 毎年、安定的に採用していくと思う。
- ある程度、安定的に採用していくと思う。
- 増員が必要になったときに、採用を考える。
- 欠員が出た場合に、採用を考える。
- 当面、採用は行わないと思う。

問5以降は、別途添付しているリーフレットをご覧ください。

問5 本法人が設置を計画している東京情報デザイン専門職大学（仮称）の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか。次の中から1つだけ選んでください。\*

- 社会的必要性が高い分野である。
- 一応、社会的必要性を感じる。
- あまり必要性を感じない。
- 必要性はない。
- その他: \_\_\_\_\_

問6 貴社では東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の卒業生の採用を考えますか。次の中から1つだけ選んでください。現時点でのご回答者様ご自身のお考えに最も近いものをご回答ください。\*

- 採用したい。⇒問7へお進みください。
- 採用を検討したい。⇒問7へお進みください。
- 採用は考えない。⇒問7に回答せずに問8へお進みください。

問7 問6で「1 採用したい」「2 採用を検討したい」のいずれかを選んだ方にお尋ねします。貴社では東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部情報デザイン学科（仮称）の卒業生を、毎年何人程度採用したいと考えますか。次の中から1つだけ選んでください。\*

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人(それ以上の人数採用の場合はその他へ記入ください。)
- その他: \_\_\_\_\_

問8 東京情報デザイン専門職大学（仮称）の設置にあたって、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。

回答を入力

---



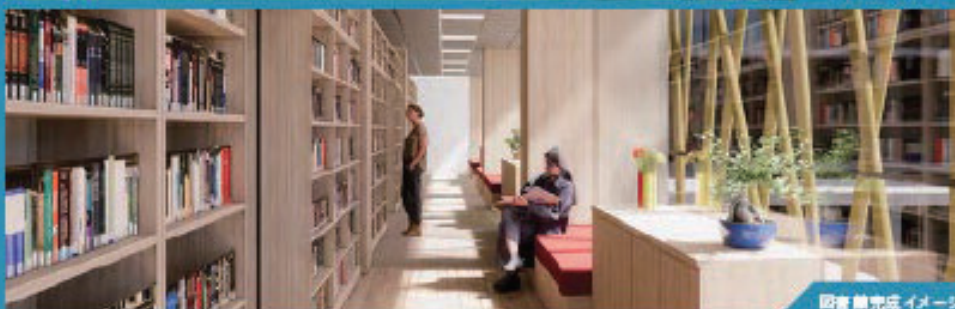
## 専門職大学とは

豊かな創造力と高度な実践力を併せ持つ人材の育成を目的に、  
約55年ぶりに新設された大学制度。

従来の大学が行う学問的色彩の強い教育と、  
専門学校が行う実践的教育の双方を兼ね備えた特徴がある。



校舎完成イメージ



図書館完成イメージ



カフェテリア空間完成イメージ



開学予定地

学校法人 滋慶学園

## 東京情報デザイン専門職大学

〔開学予定地〕 〒132-0034 東京都 江戸川区 小松川 2-7

〔設立準備室〕 〒134-0088 東京都 江戸川区 西葛西 5-3-13  
東京ホテル・ウェディング&IR専門学校内  
Tel: 03-6808-3201 Mail: tid@jikei.com.jp

# DESIGN A BETTER FUTURE

豊かな創造力とグローバル人材



**TID**

2023年4月開学予定

学校法人 滋慶学園 **東京情報デザイン専門職大学**

(大学名仮称・設置構想中)

**Tokyo Professional University of Information Design**

※設置構想中のため、大学名や掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

情報と情報技術で、新しい価値を創造する

# 東京情報デザイン専門職大学 (大学名仮称・設置構想中)

[工学] 情報デザイン学部 (仮称) / 情報デザイン学科 (仮称)

【修業年限】4年 【定員】160名

## 地域とともに発展する江戸川区初の4年制大学が誕生



2023年4月に江戸川区の豊かな環境に、新しい大学の開校が予定されています。  
本学は情報と情報技術によって、事業をデザイン(企画・立案・設計)し、  
ビジネス・産業・社会における新しい価値の創造に貢献できる人材を育成します。

## DX新時代に求められる「情報デザインエンジニア」へ

### 情報デザインエンジニアとは?

情報技術分野での情報の収集・蓄積し、技術の理解・開発と共に、事業に必要な情報技術化を促進し、他領域の情報とも連携させ、新しい産業や社会をデザイン(設計)し、新しい価値の創造をおこなう技術者、工学者のことを意味します。

#### 本学の教育モデル

情報・情報技術と  
ビジネスを統合し、  
社会のDX化を  
実現する



### 専門職大学としての教育の特徴

- 1 実践的で質の高い職業教育**  
職業を重視した実践的な教育で、理論(学術)と実践(ビジネス)の双方をバランスよく学習。社会・産業における課題を先見し、解決する力を高めます。
- 2 豊かな創造力を磨ける環境と校舎**  
工学系に特化した最先端の分野を、充実した設備の心地よい新校舎で学ぶことができます。一人ひとりの感性が刺激され、創造力を養える環境です。
- 3 企業の現場で働く「臨地実務実習」**  
本学が定める分野の企業で、1人あたり600時間以上のインターンシップを行います。実施期間は3年次、4年次の2回に分けて設定されます。
- 4 経験豊富な教授陣の学修サポート**  
情報・情報技術の分野に精通した実務家の教員が、ビジネスへデザイン展開できる学びをサポート。学生のコミュニケーションスキルも磨きます。

### 「情報デザインエンジニア」に求められる力

産業・ビジネスに必要な情報学の知識・技術を主体的に獲得する力

情報学の専門性と創造力を活かし、ビジネスへの適用を追求する力

自律的なキャリア意識を持ち、他の組織や人材と連携・協力で働く力



### 類似する大学及び学費

東京情報デザイン専門職大学(仮称)	【初年度合計】1,750,000円	東京国際工科専門職大学 情報工学部・情報工学科	【初年度合計】1,740,000円
明治大学 理工学部	【初年度合計】1,806,000円	青山学院大学 理工学部 情報テクノロジー学科	【初年度合計】1,849,000円

※各校ホームページより引用

## DX時代に「情報デザインエンジニア」が必要とされ、活躍が求められる業界例



### 医療 × Information & IT

スマートフォンを利用した健康管理アプリの開発や、過疎地に住む高齢者へのオンライン診療サービスの提供など。先進のメソッドで、人びとの健康に貢献します。



### 農業 × Information & IT

AIアプリが作物の形状や色から成長度合いを解析し、収穫時期を判断。収穫はロボットが行うなどのテクノロジーで、農家の作業の省力・軽労化を実現します。



### 金融 × Information & IT

事業に共感する出資者をWEB上で募るクラウドファンディングなどがビジネスの可能性を拡げ、スマートペイメントや仮想通貨が人間生活の利便性を高めます。



### スポーツ × Information & IT

タイムや距離などの情報をリアルタイムに確認するデバイスが競技者をサポートし、VR等を活用した技術が自宅での臨場感溢れるスポーツ観戦体験を提供します。



### 教育 × Information & IT

タブレットの導入による教科書のデジタル化や、ビッグデータを活用して個々の学生に最適な学習内容を提示するアダプティブラーニングなどが教育を進化させます。



### エンタメ × Information & IT

ARやVRを活用したライブイベント、来場者のアクションに反応するインタラクティブ・ビジュアルコンテンツなどが、エンターテインメントの新たな可能性を拡げます。

## 本学で学び 将来活躍できる職種



### 情報システム/SE

業務のIT化、IoTを使った新しいサービスの企画・設計・開発



### AI、データ解析/ データサイエンス

AIを活用した業務の自動化、業務改善の企画・設計・開発



### 仮想空間 サイバーセキュリティ

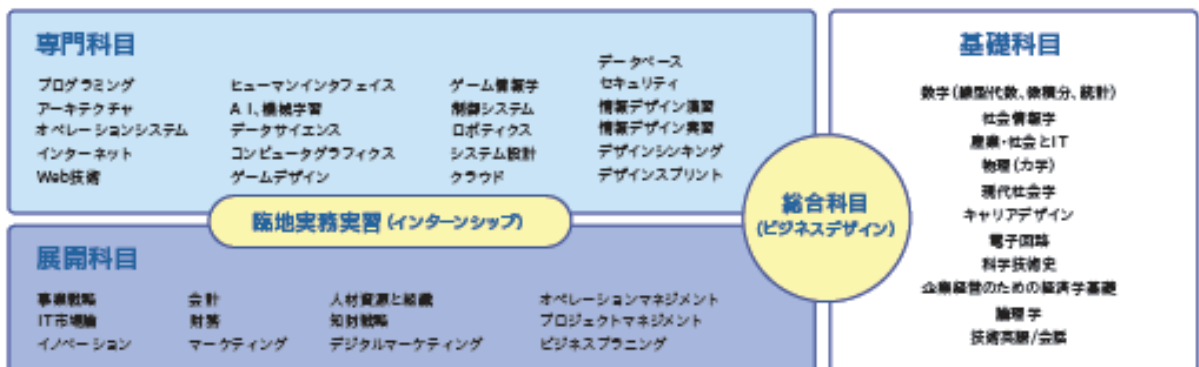
企業や組織の情報を守るセキュリティの企画・設計・開発



### ゲーム、CG/ デジタルエンターテインメント

ゲーム・CG・アート等のプログラミングやデザインの企画・設計・開発

## 情報・情報技術、デザイン、ビジネスの3本柱で、高度な実践力と豊かな創造力を育む



単に「プログラムができる」「ツールが使える」だけではなく、バックボーンとなる基礎科目(数学・物理、回路・通信)や展開科目(ビジネス、サービスと技術の位置づけ)を理解し、活用できる学術と実践をバランス良く学ぶ。

※設置構想中のため、上記掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。